

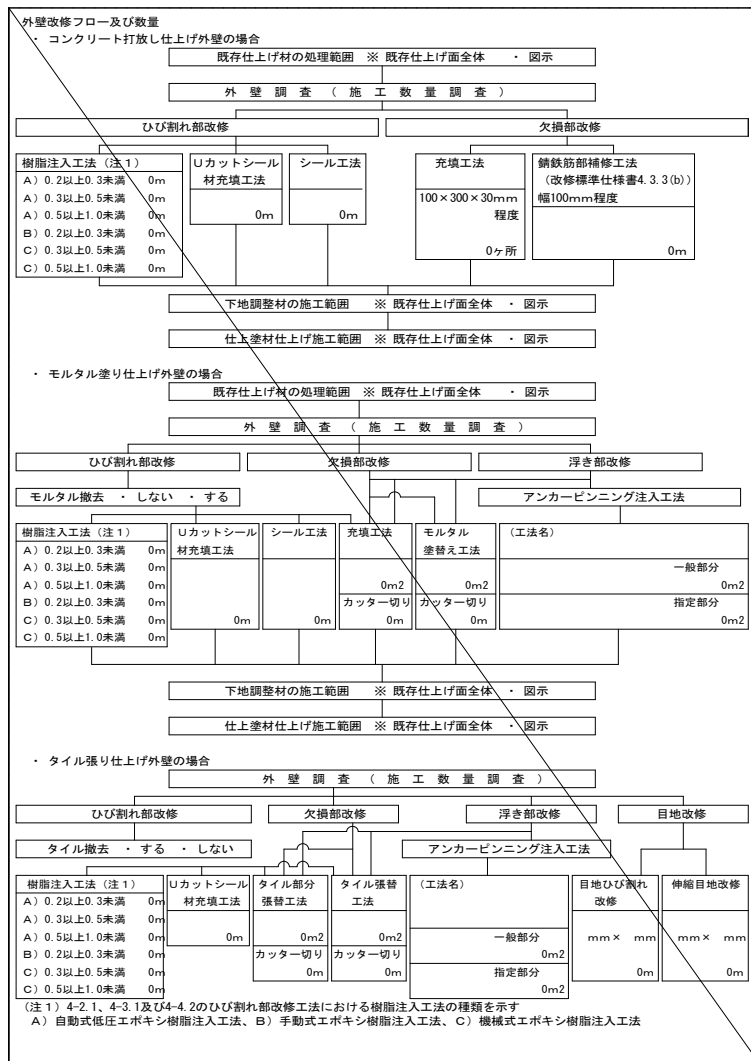
研修宿泊センターグリーンヒルおおあさ改修工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1	A-35	食堂、厨房 展開図(改修前・後)			E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	機械設備工事 特記仕様書 1
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2	A-36	食品庫・倉庫(厨) 展開図(改修前・後)			E-02	高圧受電設備 結線図(改修前・後)	M-02	機械設備工事 特記仕様書 2
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3	A-37	浴室詳細図(改修前)			E-03	分電盤結線図(改修前)	M-03	1階平面図(改修前)
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4	A-38	浴室詳細図(改修後)			E-04	分電盤結線図(改修後)	M-04	1階平面図(改修後)
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5	A-39	浴室詳細図			E-05	幹線・弱電設備 1階平面図(改修前・後)	M-05	2階平面図(改修前)
A-06	建築改修工事 特記仕様書 6	A-40	洗面、トイレ詳細図(改修前・後)			E-06	幹線・弱電設備 2階平面図(改修前・後)	M-06	2階平面図(改修後)
A-07	建築改修工事 特記仕様書 7	A-41	外構平面図			E-07	照明器具参考姿図、凡例	M-07	洗面、トイレ詳細図(改修前・後)
A-08	建築改修工事 特記仕様書 8	A-42	外構詳細図			E-08	電灯コンセント設備 1階平面図(改修前)	M-08	浴室詳細図(改修前・後)
A-09	外壁改修工事 特記仕様書 1	A-43	仮設計画(案)			E-09	電灯コンセント設備 1階平面図(改修後)	M-09	ボイラー室詳細図(改修前・後)
A-10	外壁改修工事 特記仕様書 2					E-10	電灯コンセント設備 2階平面図(改修前)	M-10	厨房平面図(改修前・後)
A-11	外壁改修工事 特記仕様書 3					E-11	電灯コンセント設備 2階平面図(改修後)		
A-12	設計概要、外部仕上表								
A-13	内部仕上表 1(改修前・後)								
A-14	内部仕上表 2(改修前・後)								
A-15	内部仕上表 3(改修前・後)								
A-16	配置図								
A-17	改修概要 1階平面図(改修前)								
A-18	改修概要 1階平面図(改修後)								
A-19	改修概要 2階平面図(改修前)								
A-20	改修概要 2階平面図(改修後)								
A-21	改修概要 屋根伏図								
A-22	立面図 1								
A-23	立面図 2								
A-24	断面詳細図 1								
A-25	断面詳細図 2								
A-26	1階天井伏図(改修前)								
A-27	1階天井伏図(改修後)								
A-28	2階天井伏図(改修前)								
A-29	2階天井伏図(改修後)								
A-30	建具表 1								
A-31	建具表 2								
A-32	建具表 3								
A-33	厨房平面図(改修前・後)、厨房機器表								
A-34	新設厨房機器参考図								



Ⅰ. 工 事 概 要		仕 様 書	① 一般 共通 事項	7	建設発生土	※ 現場説明書の施工条件明示による ・構内指示場所に堆積 ・構内指示場所に敷き均し	① 一般 共通 事項	12	調査のための破壊部分の 補修 【 1 . 6 . 3 】 技能士 【 1 . 7 . 2 】	補修方法 ※図示 補修範囲 ※図示	① 一般 共通 事項	18	電子納品	※電子納品対象工事とする 電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をい う。ここでいう電子データとは、「営繕工事電子納品要領（以下、要領という）」に基づいて作成 されたものを指す 成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特 に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に 疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非は決定する。 また、成果品提出の際には、ウィルス対策を実施したうえで提出すること
1. 工事名称：研修宿泊センターグリーンヒルおおあさ改修工事 2. 工事場所：広島県山県郡広島島町大朝467-6 3. 敷地面積：ー 4. 構造規模：RC造 2階建て 延床面積：ー 5. 工事種目 6. 別途工事 7. 調査協力について 本工事は工事中及び竣工後、次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 （１）公共事業労働費調査…工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） （２）契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内 （３）公共建築物木材利用事例調査票…工事中に実施（調査票の記入提出、発注者の調査実施への協力等）														
8. 公衆災害防止措置 （１）工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること （２）上記について、「建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること 9. 現状復旧 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと 10. 主要資材等 （１）主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称・ 所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする （２）当該工事に使用する砂については、海砂（県外産を含む）を使用しないこと （３）この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として 広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする		⑧	環境への配慮 【 1 . 4 . 1 】		化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、 次の（１）から（４）を満たすものとする （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗 料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材 料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する （２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する （３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含 有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する （４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアル デヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用した ものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次 の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアル デヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づき制定さ れた「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の 範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする	① 一般 共通 事項	14	化学物質の濃度測定 【 1 . 7 . 9 】	測定対象室及び測定箇所数は図示による。 （１）ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃 度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する 測定箇所は仕上表により、施工方法は施工条件明示による パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を 開放し、30分間換気する ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする ③測定 イ ②の状態で5時間まで測定する ロ 測定時間は、原則として2.4時間とする。ただし工程等の都合により、2.4時間測定 が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時 が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること （２）木材の防蟻・防蟻処理剤は、クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノプロパルブを含有しない 薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する （３）保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒドを発生しないか発生量が極めて少ないF ☆☆☆☆等級のものとする （４）塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを 発生しないか、発生量が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする （５）屋内に面して用いる材料は、上記（２）～（４）に適合した上で、揮発性有機化合物の発生が 無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、（１）の規定を満たすこと ※行う（回数及び時期については監督職員の指示による） ・行わない	② 仮設 工事	19	土工中情報共有 システム	（１）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報 共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県土工中情報共有システム運用ガ イドライン」に基づき実施すること （２）本工事で使用する情報共有システムは次とする 広島県土工中情報共有システム（http://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html） （３）監督職員又は受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」と いう）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする （４）受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあつての評価を行 うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければならない	
20. 施工図及び施工計画書 21. 設備工事との取合い 22. 撤去部分 23. 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる 基本風速 地面粗糙度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ⅢⅣ 積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表（ ） 24. 騒音・振動の防止 「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する 25. 施工中の安全確保 ・同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工 事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する ・労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安 全衛生責任者選任届出書」（任意様式）を提出すること 26. 実施工程表 【 1 . 2 . 1 】 27. 工程報告 別紙様式による期間別土工工程報告書を毎月1回1部提出すること 28. 保証書 次の工事について保証書を提出すること 工事区分 材 料 名 保証年数 備 考 ①防水改修工事・アスファルト防水 年 漏水の場合等 ・改質アスファルトシート防水 年 漏水の場合等 ・合成高分子ルーフィング防水 年 漏水の場合等 ②建屋防水 10 年 漏水の場合等 29. コンクリートの試験 (6.9.1～6) ※コンクリートの強度試験 公的機関又はこれに準ずる機関で行う。ただし、調査管理強度の管理試験用及び型枠取外し時期の 決定用については、生コン工場試験室でもよい														
Ⅱ. 建築改修工事仕様		⑨	材料の品質等 【 1 . 4 . 2 】		材料・機材等の品質及び性能 （１）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能 を有するものとする （２）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使 用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法と する （４）本工事に使用する材料のうち、（５）に指定する材料の製造業者等は、次の①～④の事項を 満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出 して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りで はない ①品質及び性能に関する試験データを整備していること ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること ③安定的な供給が可能であること ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （５）製造業者等に関する資料の提出を定める材料 床型枠用鋼製デッキプレート 鉄骨柱下無収縮モルタル 無収縮グラウト材 乾式保線材 既調合モルタル 可動間仕切 既調合目地材 ルーフトレン トイレブース 吸水調整材 錠前類 錠前類 クロージ類 自動扉機構 自閉式上吊り引戸機構 重量シャッター 軽量シャッター	① 一般 共通 事項	15	中間技術検査 【 1 . 8 . 2 】 工事写真等	① 仮設 工事	1	騒音・粉じん等の 対策	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、 防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲		
② 電気保安技術者 【 1 . 3 . 3 】 ③ 工事実績情報の登録 【 1 . 1 . 4 】 ④ 施工条件 【 1 . 3 . 5 】 ⑤ 工事安全計画書 ⑥ 発生材の処理等 【 1 . 3 . 12 】												※公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官庁官		

防水改修工事	1	降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。 〔3.1.4〕	3	防水改修工事
	2	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (M4AS M4ASI M4C M4DI L4X) ・ 行わない	〔3.2.3、4、6〕	
	3	既存下地の処置	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 POS工法及びPOSⅡ工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (g) (9) ①～③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する	〔3.2.6〕	
	4	アスファルト防水	屋根保護防水防水層の種類 〔3.3.2～5〕 工法 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ※ B-2 ・ P1B ・ A-1 ※ A-2 ・ A-3 ・ P1B1 ※ B1-1 ※ B1-2 〔材質〕 JISA9521Iに基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) (mm) ※25・50 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.5から表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能) 分類・規格 寸法 (mm) 厚さ (mm) 幅 (mm) 寸法の許容差 厚さ：+10%、-5%、幅：±1% 出荷時の含水率 出荷時において10%以下 曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) 標準時 550以上 450以上 300以上 凍結融解完了時 (スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) 400以上 (300) 320以上 (200) 250以上 (300) 吸水率 (%) 20以下 20以下 1以下 吸水による長さ変化率 (%) 0.07以下 0.07以下 0.01以下 難燃性 不燃 不燃 表面材は不燃 耐凍結融解性能 3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 2000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 3000サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 耐衝撃性能 質量500 (窯業系パネルⅠ類は1,000) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。 質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。 質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。 剛性 (E×I) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性) ー ー 80,000N・cm2以上	〔3.3.2～5〕	
防水改修工事	5	改質アスファルトシート防水	〔3.4.2、3〕 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率の防水 備考 ・ M4AS ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2 ・ M3AS ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ POAS ・ AS-J1 ・ AS-J3 ・ M3ASI ・ ASI-T1 ・ M4ASI ・ ASI-J1 ・ POASI JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) ※25mm ・ 50mm 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水湿シート ・ 設置する ・ 設置しない	〔3.4.2、3〕	7
	6	合成高分子系ルーフィングシート防水	〔3.5.2～4〕 [表3.5.1～3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率の防水 備考 ・ POS ・ S4S ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S3S ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1 ・ M4S1 改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50 ・ SI-F2 ・ SI-M1 改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50 ・ SI-M2 S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※ 非歩行用 ・ 軽歩行用 S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置 ※ 設置しない ・ 設置する S1-M2の絶縁用シート材種 ※ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法	〔3.5.2～4〕 [表3.5.1～3]	8
防水改修工事	7	塗膜防水	〔3.6.2、3〕 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率の防水 備考 ・ POX ※ X-1 ・ X-2 ・ X-2H ・ X-2T ※2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系 ※主材料の製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ○ 設ける ・ 設けない ・ L4X ※ X-1 ・ X-2 ・ X-2H ・ X-2T ※主材料の製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ P1Y ※ Y-2 ・ 適用する 保護層 ・ 設ける ・ 設けない ・ P2Y ※ Y-2 ・ 適用する 保護層 ・ 設ける ・ 設けない X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)	〔3.6.2、3〕	9
	8	シーリング	〔3.7.2、3、3.7.7〕 シーリング改修工法の種類 ○ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 掘削シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブリーダー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による ・ 打継目地 シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 との材料 ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類) ルーフドレン 種別 施工箇所 ・ ろく (屋根用 (ー 縦型 ー 横型) ・ バルコニー用 ・ バルコニー中継用	〔3.7.2、3、3.7.7〕	10
	9	とい	〔3.8.2、3〕		
	10				



5

建具改修工事

改修工法

建具の種類

・ アルミ製建具

・ 樹脂製建具

・ 鋼製建具

・ 外部

・ 内部

・ 鋼製軽量建具

・ ステンレス製建具

かぎせ工法

・

・

・

・

・

・

・

撤去工法

・

・

・

・

・

・

・

適用箇所

※ 建具表による

※ 建具表による

※ 建具表による

※ 建具表による

※ 建具表による

※ 建具表による

※ 建具表による

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方 ※ 図示

新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示

2

防火戸

・ 適用する 指定箇所 (※ 建具表による)

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

※連動させる 適用箇所 (・ 建具表による)

・ 連動させない

[5. 1. 4]

3

見本の製作等

建具見本の製作 ・ 行う (建具符号 :) ・ 行わない

特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号 :) ・ 行わない

[5. 1. 5]

4

防犯建物部品

・ 適用する 適用箇所 (※ 建具表による)

[5. 1. 7]

5

アルミニウム製建具

性能値等

・ 耐風圧性の等級 () 、気密性の等級 () 、水密性の等級 ()

※ 改修標準仕様書表5.2.1によるレベル

外部に面する建具の種類

・ A種 (建具符号 :) ・ 全て

・ B種 (建具符号 :) ・ 全て

・ C種 (建具符号 :) ・ 全て

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級 ()

(建具符号 :) ・ 建具表による

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級 ()

(建具符号 :) ・ 建具表による

[5. 2. 2 ~ 5] [表 5. 2. 2]

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS304J1L又はSUS443J1

形状及び仕上げ

枠の見込み寸法 ※ 建具表による

表面処理

外部に面する建具

種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種

色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()

屋内の建具

種類 ・ BC-1種 ・ BC-2種

色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()

結露水の処理方法 ※ 図示

取付工法

水切り板、ぜん板 ※ 図示

木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する

⑥

⑧

⑨

⑩

⑪

建具改修工事

網戸等

樹脂製建具

鋼製建具

鋼製軽量建具

ステンレス製建具

建具用金物

		[5.2.3][5.3.3]	
種類	材質	線径	網目
○ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18メッシュ ・
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
		[5.2.2][5.3.2～5]	
性能値等			
・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()			
※ 改修標準仕様書表5.3.1による種別			
外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)			
・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)			
・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)			
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・			
(建具符号: ・ 建具表による ・)			
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8			
(建具符号: ・ 建具表による ・)			
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・			
形状及び仕上げ			
枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・			
表面色 ※標準色 ・ 特注色			
取付工法			
水切り板、ぜんば ※ 図示 ・			
木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する			
ガラス ※ 複層ガラス ・			
		[5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2]	
性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)			
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3			
水密性の等級 ・ W-1			
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4			
・ S-5			
・ S-6			
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()			
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()			
耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()			
耐震性能			
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による			
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・			
形状及び仕上げ			
鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.4.2による ・			
使用箇所 ()			
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による [5.2.2][5.5.2～4]			
性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)			
簡易気密型ドアセット ・ 適用する			
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()			
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()			
耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()			
耐震性能			
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による			
鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板			
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・			
形状及び仕上げ			
鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.5.1による ・			
使用箇所 ()			
召合せ、縦小口包み材の材質 ※ 鋼板 ・			
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]			
性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)			
簡易気密型ドアセット ・ 適用する			
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4			
・ S-5			
・ S-6			
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()			
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()			
耐震ドア 面内変形追従性の等級 ()			
耐震性能			
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による			
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・			
くつずりの仕上げ			
ステンレス鋼板を用いる場合 ※ H L以上			
形状及び仕上げ			
表面仕上げ ※ H L ・ 鏡面仕上げ ・			
工法			
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)			
金物の種類及び見え掛り部材の材質等			
※ 改修標準仕様書表5.7.1及び適用は建具表による ・			
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.2による ・			
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.3による ・			
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.4による ・			
木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書表5.8.5による ・			
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による ・			
錠前類			
【シリンダ錠錠及びシリンダ棒組み錠】			
(品質)			
デッドボルトの寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。			
(性能)			
<使用頻度による性能>			
1) (シリンダ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。			
2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。 (シリンダ本総引き錠のみ) シリンダ単体の施錠解錠繰り返し試験は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。			
3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。			
4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。 また、未使用の金錠でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。 (キーに加えるトルクは、150N・cmとする)			
<外力に対する性能>			
1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は2mm以上であること。			
2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。			
3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。			
4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.5J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。			
5) (シリンダ本総引き錠がグレーD3以上の形造錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコウは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体構造とする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。			
<使用原の質量に対する性能 (シリンダ錠のみ)>			
1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルの操作及びラッチ			

建築改修工事

2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

3) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

4) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

<鍵>

1) かけ(鍵)数は、1.5以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かけ(鍵)連い数とみなさないものとする。

2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般 第1部：試験方法) による。

【レバーハンドル】

(性能)

<ねじり強度>

レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

<引張り強度>

ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

<垂直荷重強度>

ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般 第1部：試験方法) による。

クローザー類

(品質・性能)

区分		① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ		
性能試験項目						
初期値	閉じ力及び効力を示す区間	Grade2番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)
		1	5以上	30以上	5以上	30以上
		2	10以上	30以上	10以上	30以上
		3	15以上	35以上	15以上	35以上
		4	25以上	40以上	25以上	40以上
		5	35以上	45以上	35以上	45以上
		6	45以上	45以上	45以上	45以上
	閉じ速度(秒)		常温(5～35℃) 無風状態において、開閉(70°)から全開(0°)までの時間を5～8秒に調整できるること。			
			経油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。			
		ストッパー入力	60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下	
		ストッパー解放力	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上	
耐久性	バックチェック性能(秒)		ドア開閉方向に荷重60N/2mを開閉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70～85°)から更に20°まで開く際の時間は0.8秒以上としていること。	□	□	□
	ディレードアクション性能(秒)		ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	□	□	□
	ディレードアクション解除角度(60～75°)(ディレードアクション機能を有する機種のみ適用)					
	戸の閉鎖位置(中心吊り込み間自由のみに適用)		□	□		±3mm以内
	繰返し閉鎖後の閉じモーメント(N・m)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し閉鎖後の効率(%)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し閉鎖後の閉じ速度(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。			
	繰返し閉鎖後のバックチェック性能(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	□	□	□
	繰返し閉鎖後のディレードアクション性能(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	□	□	□
	繰返し閉鎖後の戸閉鎖位置(mm)		□			耐久試験後±6mm以内
耐久性の試験回数(繰返し閉鎖回数)		Grade2	20万回	10万回		30万回

注1.パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。

注2.コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。

Grade1を選定する場合は、図示による。

(試験方法)

1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法 第3部：フロアヒンジ、ドアクローザー及びヒンジクローザー) に規定する試験方法による。

2) 試験ドアの質量は、1番手は25k、2番手は40k、3番手は60k、4番手は80k、5番手は100k、6番手は120kとする。

12錠

マスターキー

錠の製作本数

錠箱

※ 製作する (組) ・ 製作しない ・ 既存に絡込む

※ 各室3本1組 (室名札付き) ・

・ 設ける (個用 組) ・ 設けない

13自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置

性能値

・

・

・ ※ 改修標準仕様書5.8.1による

種類 ・ SSDL-1 ・ SSDL-2 ・ DSDL-1 ・ DSDL-2

5. 8. 4

5. 9. 2. 3

⑤
建具
改修
工事

多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置
性能値
・
※ 改修標準仕様書表5.9.2による
引き戸用検出装置の種類は、多機能トイレスイッチとする

引き戸用検出装置
性能値
・
※ 改修標準仕様書表5.9.3による
種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー
・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ
戸の開閉方式 ※ 建具表による
防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

14
自閉式上吊り引戸
装置

性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による
（試験方法）
（1）耐久性（開閉繰り返し）試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。開試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10分以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。
（2）耐衝撃性試験
落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。
耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。
適用戸総質量の区分毎に試験を行う。
（3）気密性試験
JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

[5.10.3]

15
重量シャッター

シャッターの種類 ・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
安全装置
急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所
※ 「防火区画」に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
・
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ※ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）
めっきの付着量 ※ Z12又はI12を満足するもの
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1

[5.11.2.3]

16
軽量シャッター

開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/m²
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示
スラットの材質の種類
※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※ Z06 又は F06 を満足するもの）
・ JIS G 3312（塗装溶融5～5%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※ A290 を満足するもの）
スラットの形状 ※ インターロックング形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない
ガイドレール（中柱共）の材質 ※ ステンレス鋼板（SUS304） 厚さ1.0mm
・
座板の材質（屋外の場合） ※ ステンレス製既製品

[5.12.2～4]

17
オーバーヘッドドア

セクション材料による区分	耐風圧性能	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 175 ・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイルフト形 ・ パーチカル形	※ 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示

[5.13.2.3]

⑧
木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A 種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
○ フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標準仕様書表16.7.2(2)(イ)による
表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考
・ 普通合板 表面の樹種
生地、透明塗料塗り
（※ ラワン合板程度）
不透明塗料塗り
（※ しな合板程度）
板面の品質（・ 広葉樹1等）
接着の程度（・ 1類 ・ 2類）
・ 天然化粧合板 樹種名（）
接着の程度（・ 1類 ・ 2類）
○ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法
（・ オーバーレイ ○ プリント ・ 塗装）
表面性能（ ）タイプ
接着の程度（・ 1類 ・ 2類）
・ ミディアムデンシティ
ファイバーボード
（MDF） 表面裏の状態による区分（）
曲げ強さによる区分（）
接着剤による区分（）
難燃性による区分（）
表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.7.6による
引戸の目合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない
・ かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※ 建具表による

[5.7.2～4]

⑤	建具 改修工事	19	ガラス	・ ふすま 張りの種別（ ・ Ⅰ型 ・ Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 緑仕上げ ・ 塗緑 ・ 生地緑（素地） ・ 生地緑（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※ 建具表による ・ ・ 戸ふすま 見込み寸法 ※ 建具表による ・ ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による ・ 枠の材料 ※ 木製枠（6章内装改修工事による） ・ 鋼製枠（※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板） くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製（3、7、5、13、2～4）（図5、14、1） 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による ・ 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による ・ <table><tr><td colspan="2">材料板ガラスの種類、組合せ</td><td>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</td></tr><tr><td rowspan="2">・ フロート板、フロート板合わせガラス</td><td rowspan="2"></td><td>・ Ⅰ類 ・ Ⅱ-Ⅰ類</td></tr><tr><td>・ Ⅱ-2類 ・ Ⅲ類</td></tr></table> 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による ・ <table><tr><td>材料板ガラスによる種類による名称</td><td>材料板ガラス</td><td>破片の状態及びにショットバック衝撃特性による種類</td></tr><tr><td>・ フロート強化ガラス</td><td>・ フロート板ガラス</td><td>・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による ・ <table><tr><td>材料板ガラスによる種類</td><td>性能による種類</td><td>色 調</td></tr><tr><td>・ 熱線吸収フロート板ガラス</td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td>・ グリーン ・</td></tr><tr><td>・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス</td><td></td><td></td></tr></table> 複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による ・ <table><tr><td colspan="2">断熱性による区分</td><td>乾燥気体の種類</td></tr><tr><td colspan="2">・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</td><td>・ 空気 ・ アルゴン ・</td></tr></table> 日射取得性、日射遮蔽性による区分 <table><tr><td colspan="2">乾燥気体の種類</td></tr><tr><td colspan="2">・ G ・ S</td><td>・ 空気 ・ アルゴン ・</td></tr></table> 熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による ・ <table><tr><td>材料板ガラスによる種類</td><td>日射熱遮蔽性による区分</td><td>耐久性による区分</td></tr><tr><td rowspan="2">色 調（ ・ ブルー ・ グレー ・ ）</td><td>・ 1 種</td><td>A 類</td></tr><tr><td>・ 2 種</td><td>・ A 類 ・ B 類</td></tr><tr><td></td><td>・ 3 種</td><td>B 類</td></tr></table> 反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う ガラスの留め材及び溝の大きさ <table><tr><td>建具の種類</td><td>ガラス留め材</td><td>ガラス溝の大きさ（mm）</td></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・</td><td>※ 建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※ シーリング材 ・</td><td>※ 建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※ シーリング材 ・</td><td>※ 建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・</td><td>※ 建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [6、14、5] <table><tr><td>表面形状</td><td>呼び寸法（mm）</td><td>厚さ（mm）</td><td>色 調</td><td>目地幅（mm）</td><td>伸縮調整目地位置（mm）</td><td>防火性能</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 正方形</td><td rowspan="2">・ 160×160</td><td rowspan="2">・ 95 ・ 125</td><td rowspan="2">クリア 乳白</td><td rowspan="2">※8～15</td><td rowspan="2">外側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・</td><td rowspan="2">・ 無し ・ 有り</td></tr><tr></tr><tr><td></td><td>・ 200×200</td><td>・ 95 ・ 125</td><td>・</td><td></td><td>内側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・</td><td></td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示 ・ 力骨 材質 ※ ステンレス鋼（SUS304） ・ 寸法 ※ 径5.5mm ・ 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） シーリングの種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 ・ 形状 ※ 図示 ・ 工法 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示 ・	材料板ガラスの種類、組合せ		落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類	・ フロート板、フロート板合わせガラス		・ Ⅰ類 ・ Ⅱ-Ⅰ類	・ Ⅱ-2類 ・ Ⅲ類	材料板ガラスによる種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びにショットバック衝撃特性による種類	・ フロート強化ガラス	・ フロート板ガラス	・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類	・	・	・	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色 調	・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1 種 ・ 2 種	・ グリーン ・	・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス			断熱性による区分		乾燥気体の種類	・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6		・ 空気 ・ アルゴン ・	乾燥気体の種類		・ G ・ S		・ 空気 ・ アルゴン ・	材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	色 調（ ・ ブルー ・ グレー ・ ）	・ 1 種	A 類	・ 2 種	・ A 類 ・ B 類		・ 3 種	B 類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）	アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・	表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色 調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能	・ 正方形	・ 160×160	・ 95 ・ 125	クリア 乳白	※8～15	外側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・	・ 無し ・ 有り		・ 200×200	・ 95 ・ 125	・		内側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・		⑥	内装 改修工事	14	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6、6、2～4] 屋外（ ※ 25形 ・ ） 屋内（ ※ 19形 ・ 25形） ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法 野縁受、つりボルト及びインサートの開隔 図示 ・ 周辺部の端からの開隔 図示 ・ 野縁の開隔 図示 ・ 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う（試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該階において3箇所 ・ ） （確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1) (イ) による ・ ） ・ 行わない ・ つりボルトの開隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井のふところりが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 ・ 図示 ・ 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第3項第2号に適合させる。 ・ 図示 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
				材料板ガラスの種類、組合せ		落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																						
・ フロート板、フロート板合わせガラス		・ Ⅰ類 ・ Ⅱ-Ⅰ類																																																																																										
		・ Ⅱ-2類 ・ Ⅲ類																																																																																										
材料板ガラスによる種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																										
・ フロート強化ガラス	・ フロート板ガラス	・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類																																																																																										
・	・	・																																																																																										
材料板ガラスによる種類	性能による種類	色 調																																																																																										
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1 種 ・ 2 種	・ グリーン ・																																																																																										
・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス																																																																																												
断熱性による区分		乾燥気体の種類																																																																																										
・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6		・ 空気 ・ アルゴン ・																																																																																										
乾燥気体の種類																																																																																												
・ G ・ S		・ 空気 ・ アルゴン ・																																																																																										
材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																										
色 調（ ・ ブルー ・ グレー ・ ）	・ 1 種	A 類																																																																																										
	・ 2 種	・ A 類 ・ B 類																																																																																										
	・ 3 種	B 類																																																																																										
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）																																																																																										
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・																																																																																										
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・																																																																																										
ステンレス製	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・																																																																																										
樹脂製	※ シーリング材 ・ ガスケッ ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・																																																																																										
表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色 調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能																																																																																						
・ 正方形	・ 160×160	・ 95 ・ 125	クリア 乳白	※8～15	外側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・	・ 無し ・ 有り																																																																																						
	・ 200×200	・ 95 ・ 125	・		内側 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・																																																																																							
15	軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 [6、7、3、4] [表6、7、1] ※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6.7.4 (5) による ・																																																																																										
⑥	内装 改修工事	16	ビニル床シート	[6、8、2、3]			<table><tr><td>種類の記号</td><td>色 柄</td><td>特殊機能</td><td>厚さ（mm）</td><td>備考</td></tr><tr><td>※ F S</td><td>・ 無地 ・ マーブル柄 ○ 柄物</td><td>・ 帯電防止 ※ 2.0 ○ 耐動荷重性 ○ 防滑性</td><td>※ 2.0 ○ 2.5</td><td></td></tr></table> ※ 目地処理（工法 ※ 熱溶接工法 ・ ） ・ 突付け（施工箇所： ） 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷～1×10¹⁰Ω程度	種類の記号	色 柄	特殊機能	厚さ（mm）	備考	※ F S	・ 無地 ・ マーブル柄 ○ 柄物	・ 帯電防止 ※ 2.0 ○ 耐動荷重性 ○ 防滑性	※ 2.0 ○ 2.5																																																																												
				種類の記号	色 柄	特殊機能	厚さ（mm）	備考																																																																																				
※ F S	・ 無地 ・ マーブル柄 ○ 柄物	・ 帯電防止 ※ 2.0 ○ 耐動荷重性 ○ 防滑性	※ 2.0 ○ 2.5																																																																																									
⑧	接合具等	17	ビニル床タイル	[6、8、2]			<table><tr><td>種類の記号</td><td>色 柄</td><td>寸 法</td><td>特殊機能</td><td>厚 さ（mm）</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※ K T</td><td>・ 無地</td><td>・ 300×300</td><td>・ 帯電防止</td><td>※ 2.0</td><td></td></tr><tr><td>・ T T ・ F T</td><td>・ 柄物</td><td>・ 450×450</td><td>・ 防滑性</td><td>・ 2.5</td><td></td></tr><tr><td>・ F O A ・ F O B</td><td></td><td>・ 500×500</td><td></td><td>・ 3.0</td><td></td></tr></table> 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷～1×10¹⁰Ω程度 [6、5、3、4] [6、8、2] [6、9、3] [6、11、4、5] 接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示 ・	種類の記号	色 柄	寸 法	特殊機能	厚 さ（mm）	備 考	※ K T	・ 無地	・ 300×300	・ 帯電防止	※ 2.0		・ T T ・ F T	・ 柄物	・ 450×450	・ 防滑性	・ 2.5		・ F O A ・ F O B		・ 500×500		・ 3.0																																																														
				種類の記号	色 柄	寸 法	特殊機能	厚 さ（mm）	備 考																																																																																			
※ K T	・ 無地	・ 300×300	・ 帯電防止	※ 2.0																																																																																								
・ T T ・ F T	・ 柄物	・ 450×450	・ 防滑性	・ 2.5																																																																																								
・ F O A ・ F O B		・ 500×500		・ 3.0																																																																																								
⑨	防 腐 ・ 防 蟻 処 理	20	ゴム床タイル	[6、8、2]			材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ（mm） ※ 60 ○ 75 ・ 100 厚さ（mm） ※ 1.5以上 ・																																																																																					
				[6、8、2]			種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色 柄（ ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 ） 厚さ（mm） 寸法（mm）（ ・ ）																																																																																					
⑪	内部間仕切り輪及び床組み	10	窓、出入口その他	[6、5、6]																																																																																								
				[6、5、7]			・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名（製材を用いる場合） ※ 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松																																																																																					
⑫	床板張り	12	壁及び天井下地	[6、5、8]			・ 縁昇板及び上がりこまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※ ひのき																																																																																					
				[6、5、9]			・ 壁脚縁、野縁受縁、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※ 杉又は松																																																																																					

内装改修工事	23	防じん用塗床	[6. 1 0. 2. 3]		内装改修工事	27	壁紙張り	・ 化粧バーティクルボード		内装改修工事	29	天井張り	・ 化粧バーティクルボード		内装改修工事	30	セルフレベリング材塗り	[7. 1. 2. 3]		内装改修工事	31	材料	[7. 1. 3]		内装改修工事	32	下地調整、素地ごしらえ	[7. 2. 1 ~ 7]		内装改修工事	33	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	34	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	35	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	36	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	37	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	38	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	39	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	40	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	41	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	42	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	43	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	44	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	45	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	46	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	47	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	48	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	49	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	50	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	51	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	52	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	53	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	54	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	55	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	56	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	57	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	58	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	59	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	60	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	61	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	62	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	63	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	64	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	65	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	66	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	67	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	68	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	69	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]		内装改修工事	70	防じん用塗床	[7. 4. 2. 3]
--------	----	--------	------------------	--	--------	----	------	---------------	--	--------	----	------	---------------	--	--------	----	-------------	----------------	--	--------	----	----	-------------	--	--------	----	-------------	-----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------	--	--------	----	--------	----------------

環境配慮 改修工事	測定方法 ・ 自動測定器による測定	測定名称	測定方法		
		・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定（ ）	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		
		・ JIS K 3850-11に基づいた測定			
		測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）
		・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定（ ） ・ 測定（ ） ・ 測定（ ）	25 47 47	5 10 10	30 120 240
		石綿含有建材の処理			
		・ 石綿含有吹付け材の除去			
		除去対象範囲 ※ 図示			
		除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7) による			
		除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化			
除去した石綿含有吹付け材等の処分					
・ 埋立処分（管理型最終処分場）					
・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）					
・ 石綿含有保温材等の除去					
除去対象範囲 ※ 図示					
除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去					
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化					
除去した石綿含有保温材等の処分					
・ 埋立処分（管理型最終処分場）					
・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）					
○ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去					
除去対象範囲 ※ 図示					
除去した石綿含有成形板の処分					
・ 石綿含有石こうボード					
※ 埋立処分（管理型最終処分場）					
○ 石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板					
・ 埋立処分（安定型最終処分場）					
・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）					
・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去					
除去対象範囲 ※ 図示					
養生方法					
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分					
・ 埋立処分（安定型最終処分場）					
・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）					
・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去					
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による除去工法					
※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法					
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法					
・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）					
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）					
・ 超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）					
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法					
・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）					
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）					
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法					
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法					
除去対象範囲 ※ 図示					
作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う					
試験施工 ※ 行わない ・ 行う					
除去した石綿含有仕上塗材の処分					
・ 埋立処分（安定型最終処分場）					
・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）					
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分					
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による					
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(h)及び(ハ)による					
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示					

2	外断熱改修工事	断熱材	[9 . 2 . 1 ～ 4]			
断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm）						
施工箇所 ※ 図示						
ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆						
外装材						
種類	防火性能	備考				
・						
既存外壁の処置						
既存外壁仕上材の撤去						
・ あり ・ なし						
下地面の清掃						
・ 行う ・ 行わない						
欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による						
工法						
1章適用区分による風圧力（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法						
不陸等の下地調整						
・ 図示						
通気層の有無						
・ あり（ mm） ・ なし						
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け						
※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による						
3	断熱・防露改修工事	[9 . 3 . 2 ～ 4]				
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆						
・ 断熱材打込み工法						
種類	厚さ（mm）	施工箇所				
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・				
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※ 2種bA	※ 25				
	※ 3種bA	※ 25				
	・	※ スラブ				
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・				
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・				
施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による						
・ 断熱材現場発泡工法						
断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H						
吹付け厚さ（mm） 25 ・ 30						
施工箇所 ※ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所						
・ 図示						
現場発泡断熱材（品質・性能）						
項目	品質・性能					
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。					
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。					
(試験方法)						
(1) 原液試験（原液粘度試験）						
JIS K 7117-1「プラスチック―液状、乳濁状又は分散状の樹脂―ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。						
(2) 発泡品試験						
1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。						
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。						
3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。						
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。						
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。						
6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。						
7) 透過率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。						
(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。						
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。						
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。						
・ 断熱材後張り工法						
断熱材の種類（ ）						
断熱材の厚さ（ mm）						
・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル（材質 厚さ mm）						
・ 張り付け工法						
断熱材の張り付け工法						
断熱材へのボードの張り付け工法						
植栽基盤及び材料						
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない						
芝及び地被類の種類等 ※ 図示						
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示						
(品質・性能等)						
項目	品質・性能					
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)					
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。					
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。					
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m²・h以上					
耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度）	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10³ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。					
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。					
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。					
(試験方法)						
(1) 排水基盤の耐荷重性能						
(イ) 3×10³ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み（%）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。）						
(ロ）試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。						
加圧速度は10mm/min以下とする。						
1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法						
かん水装置 ・ 設置する（種類 ）						
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない						
新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年						
5	透水性アスファルト舗装改修工事	[9 . 5 . 2 ～ 5、9]				
下記以外は、10章その他による						
既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示						
フリーアクセスフロア	(2.0.2.2)					
構造	・ 直敷式	・ 支柱調整式				
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N				
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6				
パネル寸法（mm）						
高さ（mm）						
表面仕上材	※ タイルカーベット	※ タイルカーベット				
	・ 帯電防止床タイル	・ 帯電防止床タイル				
施工箇所	※ 図示	※ 図示				
寸法精度						
※ 標準仕様書20.2.2(2) (4) (a)～(c)による						
スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示						
配線用取り出しパネル						
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20～30パーセント						
配線取り出し開口						
※ 製造所の仕様による						
・ パネル板につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上						
空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・ なし ・ あり（形式、施工箇所： ※ 図示 ）						
(性能)						
(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下						
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと						
(3) ローリングロード性能						
所定荷重1,000N（5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意）による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下						
(4) 耐震性能						
イ）固定台試験による耐震性能						
項目	性能					
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上					
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上					
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下					
＜適用地震時水平力＞						
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 〔(m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数〕×0.6						
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 〔(m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数〕×1.0						
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 〔(m2当り自重+5,000N) /m2当りの支柱本数〕×0.6						
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 〔(m2当り自重+5,000N) /m2当りの支柱本数〕×1.0						
ロ）振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300mmの場合のみ）						
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。						
(5) 耐燃性能						
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒						
(6) 帯電防止性能評価値（U）						
0.6以上						
(7) 感電防止性能						
漏えい抵抗(R) ≧1×10⁶Ω						
(8) 歩行感						
通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない						
(9) メンテナンス性						
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。						
(試験方法)						
(1) 耐震性能						
1) 設計床高さ≦300mmの場合						
試験体ユニット1000mm×2500mm程度						
所定の重りの質量 3000N：200k 5000N：350k						
加振 0.6：所定加速度600cm/s² 1.0：所定加速度1000cm/s²						
2) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合						
①固定台による耐震性能試験						
イ、支柱調整式―支柱分体型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法―1又は、試験方法―2による。						
ロ、原則として、試験方法―1はパネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法―2はパネル連結設置（Bタイプ）に適用するものとする。						
②試験方法―1						
イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。						
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。						
③試験方法―2						
イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。						
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N（3,000N/1m²相当）を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。						
④零点補正及び測定記録						
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。						
3) 共通事項						
試験に使用する表面仕上げ材						
種類：タイルカーベット	繊維素材：ナイロン100 級					
バイル携帯：ループバイル						
バイル長：3.0mm～4.0mm	パッキング素材：塩化ビニル樹脂					
全厚：6.0mm～7.0mm	単位質量：4.0k/m²～6.0k/m²					
人体耐電圧：2KV以下						
2	表示	(2.0.2.1.1)				
案内用図記号はJIS Z 8210Iによる。						
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・						
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示 ・						
(2.0.2.1.4)						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックス・レールの材質	幅・高さ・取付箇所
・ 横形	※ 手動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 □	※ 25	※ 鋼製	※ 図示
	・ 電動	―	―	―	―	―
・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示
	・ 電動	―	―	―	―	―
アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ						
クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工						
(2.0.2.1.5)						
材質	操作方式	遮光性能	寸法（mm）	取付箇所	備考	
・ ガラス繊維製	・ 電動式	・ 1級	※ 図示	※ 図示		
・ 合成・天然繊維製	・ スプリング式	・ 2級	・	・		
・ 木製	・ チェーン式	・ 3級	・	・		
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料						
※ 製造所の仕様 ・						
(2.0.2.1.6)						
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示		
					(暗幕)	
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上 ・						
(2.0.2.1.6)						
材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材						
・ ステンレス製						
強さによる区分 ※ 10-90						
仕上げ ※ アルマイト						
形状 ※ 角形						
溝幅×深さ（mm）						
・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示						
材質						
・ 集成材（仕上げ： ）						
・ アルミニウム製 押出し型材（市販品）						
表面処理						
・ BC-1 ・ BC-2（※標準色（ ））						
・ 鋼製（仕上げ： ）						
材質	寸法（mm）	形式		外枠	内枠	
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一般形	・ 屋内外用	※ 額縁タイプ	※ 額縁タイプ	
・	・	・ 気密形	※ 屋内用	・ 目地タイプ	・ 目地タイプ	
(品質・性能)						
内外枠の材質 アルミニウム製						
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの						
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(A6) 又は同等の性能を有するもの						
(外部に用いる場合は、JIS H 8602の8種又は同等以上の性能を有するもの)						
内枠及び外枠のコーナースペース						
鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの						
外枠の取付け金物						
鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの						
内枠の仕上げ材留付金物						
アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、垂鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの						
耐久性能（繰り返し開閉試験）						
(1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。						
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。						
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内						
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内						
(試験方法)						
内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験						
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。						
吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付け方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14第4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。						
(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。						
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。						


⑩
その他

⑨

床点検口

材種	寸法 (mm)	形式	備考	
○アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	○450×450 ※ 600×600 ・	○一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ○ 屋内用	
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				
部材名	材質	屋内外用	屋内用	
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	
	鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		
目地材	その他	塩化ビニル樹脂製等		
	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		
底板材コーナー ピース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430JIL、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被覆 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—	
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの			
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの			
取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P≦1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。			
10 手すり	受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。			
	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	
	○集成材	○クリアラッカー	○35 ・ 45	
	・ ステンレスパイプ	・ HL程度	・	
	・ 鋼製パイプ	・ SOP	・ EP-G	
	・ ビニル製ハンドレール			
	11 天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品		
		(11. 2. 2、19. 2. 2)		
		施工箇所	種類	寸法 (mm)
		屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300
・ セラミックタイル			※ 300×300	・
・ レジンコンクリート製			※ 300×300	・
・ コンクリート製				
屋外		・ セラミックタイル	※ 300×300	・
		・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・
		・ コンクリート製		
	突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による			
⑬ 鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 1) (表5. 2. 1)			
	種類の記号	呼び名	備考	
	※ SD295A	※ D16以下		
	※ SD345	※ D19以上		
	(5. 2. 1) (表5. 2. 1)			
	⑭ 溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 2)		
		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考
		※ 溶接金網		
		・ 鉄筋格子		
(5. 2. 2)				
⑮ 鉄筋の継手及び定着		8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 3. 4)		
		鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 種類		
		図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定		

⑩
その他

⑬

コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

設計基準強度 (Fc) [N/mm2]	スランプ (cm)	適用箇所
※ 24 ・	※ 標準仕様書表6.2.2による ・	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く) ・

⑬ セメント

⑬ 型枠

⑬ 無筋コンクリート

20 床コンクリート直均し仕上げ

⑮ あと施工アンカー

⑮ トイレブース

表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

(品質・性能)
(1) パネル

項目	品質・性能
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、垂れめつきエッジ材
処理を施した材料とする。	
小口	防水処理を施す。

(2) 構造金物

項目	品質・性能
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430JIL、(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。

(3) 付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。
ラッチセット	
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。

(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b) による。

(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能	
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかけ性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。	—
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかけ性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	

(試験方法)

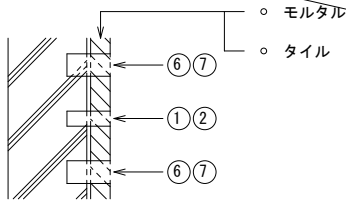
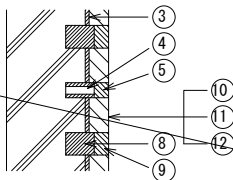
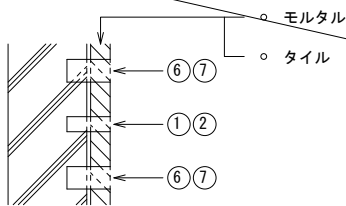
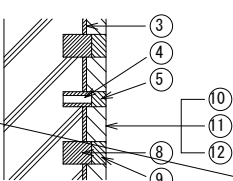
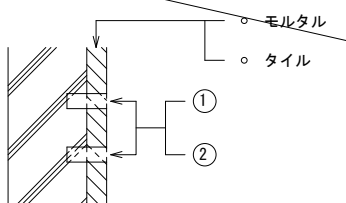
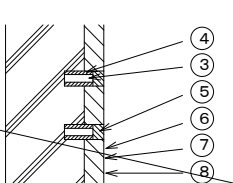
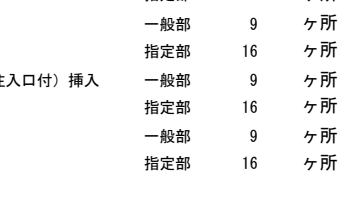
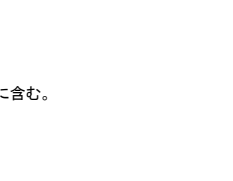
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。

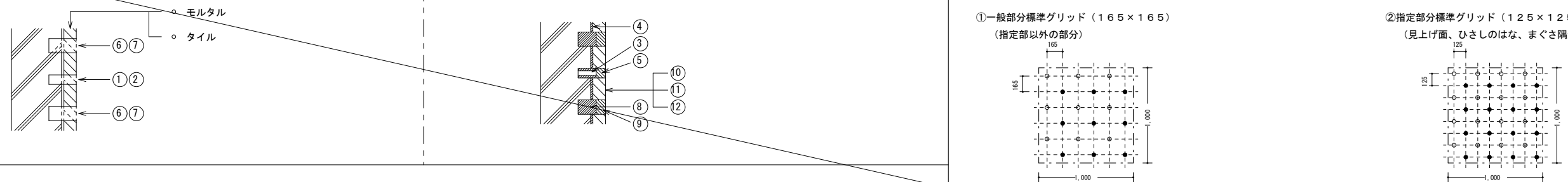
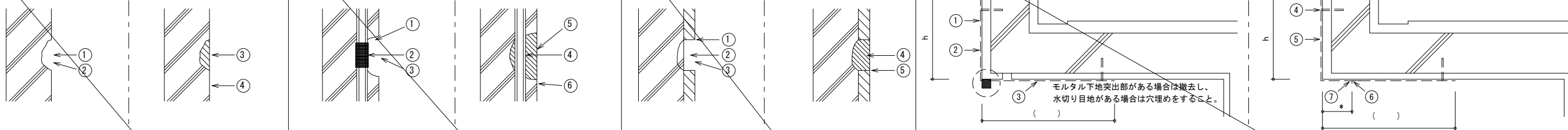
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上



名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm	
改修前	改修後						
工 程		①既存仕上り材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 参考数量：外壁：㎡		①既存仕上り材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量：	
名 称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理			
記号・仕様		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B-6 モルタル面Uカットシーリング材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上	
改修前	改修後						
工 程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シーリング ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シーリング ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量：	
名 称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理			
記号・仕様		C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]	
改修前	改修後						
工 程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①穿孔 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄（150～200kg／c㎡） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分：内部：洗面 タイル： 20.0㎡ ②指定部分： ③狭幅部：	
						①一般部分標準グリッド（250×250） ③狭幅部 （指定部以外の部分） （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ● アンカーピン固定部 ②指定部分標準グリッド（200×200） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） 	

名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]									
改修前	改修後										
		①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 13 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 12 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) 指定部 20 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]									
改修前	改修後										
		①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所 ③ポリマーセメントスラリー注入 一般部 13 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 12 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 12 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) 指定部 20 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]									
改修前	改修後										
		①穿孔 一般部 9 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) 指定部 16 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 16 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]									
改修前	改修後										
		①穿孔 一般部 9 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) 指定部 16 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 16 ケ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：									

名 称		D 浮き部処理																			
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]																			
改修前	改修後																				
		①一般部分標準グリッド（165×165） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（125×125） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口																			
工 程		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む												
名 称		D 浮き部処理																			
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ																			
改修前	改修後																				
		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] 参考数量：																			
工 程		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む														
名 称		E 欠損部処理																			
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]	F 外壁複合改修工法 F 外壁複合改修工法																
改修前	改修後																				
		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：																			
工 程		①欠損部・鉄筋周辺はつり等での整形	②錆落とし	③高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ）	④防錆処理	⑤欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル]	⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①カッター縁切り	②欠損部はつり等での整形	③高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ）	④欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル]	⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） （鉄筋の露出部がある場合はE-2による）	下地補修後	① プライマー下塗り	② ポリマーペースト中塗り	③ 三軸ネット張り	④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み	⑤ ポリマーペースト中塗り	⑥ アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450）	⑦ シーリング打設（MS-2）	
												参考数量		ネット張り	㎡						
														水切		m					

計 画 概 要		凡 例			防 火 性 能 認 定 番 号		特 記 事 項				
建物概要		一 般	C M E M C B S L G S W S G P V P V U V B G L A s R D S F T B C B S B L B	: コンクリート : モルタル : エポキシ樹脂系モルタル : コンクリートブロック : 鉄骨 : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼) : 木組下地 : 配管用炭素鋼鋼管 : 硬質塩化ビニル管(一般管) : 硬質塩化ビニル管(薄肉管) : バイブレーション仕上(ステンレス) : カラーガルバリウム鋼板 : アスファルト : ルーフドレン : 鋼製床組 : トイレブース : カーテンボックス : スクリーンボックス : ライトボックス	左 官	R E : 可とう形改修塗材 R E 外薄塗材 E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 複層塗材 E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材		G B－R 厚9.5 : 準不燃 Q M－9828 G B－R 厚12.5～15.0 : 不燃 N M－8619 G B－F 厚9.5～25.0 : 不燃 N M－8615 G B－R H 厚9.5 : 不燃 N M－8645 G B－N C 厚9.5 : 不燃 N M－8613 G B－S 厚9.5～16.0 : 準不燃 Q M－9826 G B－D 厚9.5 : 準不燃 Q M－9824 G B－D 厚12.5～15.0 : 不燃 N M－8614 D R 厚9.0 : 不燃 N M－8599 G W－F : 不燃 N M－8600 G W－B : 不燃 N M－8600 ケイカル板 厚5～12.0 : 不燃 N M－8576		1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の下地欄（ ）は既設部分を示す。 3. 御影石の表面仕上げは水磨きとする。 4. 御影石、分電盤等の受注生産品、は納期に留意して発注すること。 5. 6. 7. 8.	
施設名称 建物用途 面積						G R I N : グリーンヒルおおさ 「G H O」 建築基準法：宿泊施設 消防用途：(5)項イ 旅館 建築面積：683.63㎡ 延床面積：875.28㎡(1階：601.89㎡、2階：273.39㎡)		S O P : 合成樹脂調合ペイント塗 O P : 油性調合ペイント塗 V E : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 C L : クリヤラッカー F E : フタル酸樹脂エナメル塗 N A D : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 A E : アクリル樹脂エナメル D P : 耐候性塗料塗 E P－G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗 E P : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 E P－T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗 U C : ウレタン樹脂ワニス塗 M R : マスチック塗材塗 O S : オイルステイン塗 W P : 木材保護塗料塗 E P－A B : 吹付け水性高機能環境配慮型塗料		石綿含有建材 レベル3 : ソフト巾木、ビニルクロス レベル3(みなし)：ビニル床タイル厚2.0、ビニル床シート、石綿板厚6.0、バスリブ厚9.0、G B－D厚9 石綿事前調査者：A K建築設計事務所 小泉満(修了番号：2306220711、講習機関名：S A T株式会社)	
構造 建物高さ 建蔽率 容積率 その他					ボ ー ド 類	G B－R : 石膏ボード G B－F : 強化石膏ボード G B－R H : 普通硬質石膏ボード G B－P : 吸音用穴孔石膏ボード G B－S : シーリング石膏ボード G B－D : 化粧石膏ボード G B－W : 化粧石膏ボード(木目) ケイカル : けい酸カルシウム板 スレート : セメントスレート板 F : フレキシブル板 D R : ロックウール化粧吸音板	塗 装	S R－1 : シリコーン系 S R－2 : シリコーン系 M S－2 : 変成シリコーン系 P U－2 : ポリウレタン系 P S－2 : ポリサルファイド系	参 考 品 番		
工事概要									床 壁 天井 外構		磁器質モザイクタイル：L I X I L サーマタイル ミルキーD X II SUSグレーチング細目：中部コーポレーション 一般溝ecoタイプ ローレット加工 SUS排水溝：ダイクレ ビット用みぞふたプレートタイプ NPD-B-10、P2(受枠) メラミン不燃化粧板：アイカ セラールウィルテクト 磁器質タイル：L I X I L アルコディU バスリブ：フクビ 親水バスパネル B T j オーニング：リクシル 彩風L型 手動式 ボックスタイプ
外 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)											
部 位	改 修 前		改 修 後		部 位	改 修 前		改 修 後			
屋根	和型瓦葺き、雪止め、瓦桟木 既設のまま アスファルトルーフィング22kg下置き スカイM厚40下地 既設のまま 棟瓦：がんぶり瓦、のし瓦4段 既設のまま				外 構	庭石一部 撤去 楠木一部 撤去 樋込立上り：C厚150 一部撤去 樋込 一部撤去 A s厚50 路盤 一部撤去		樋込立上り：複層塗材 E C打放し 一部新設 階段：浸透性吸水防止材塗 C直均し 新設、砕石埋戻し 段鼻：ノンスリップ金コテ押え 新設 オーニング 新設			
軒裏	外薄塗材 E C打放し 既設のまま										
外壁	外薄塗材 E C打放し 既設のまま、一部水洗い(デッキブラシ) アプローチ廻り：一部磁器質タイル M下地 既設のまま										
根廻り	C打放し 既設のまま										
バルコニー	床：防水M金コテ 既設のまま 鼻：外薄塗材 E C打放し 既設のまま アルミ製手すり 既設のまま										
屋外階段	鉄骨現し 既設のまま										
ポーチ	床：磁器質タイル M下地 既設のまま										
樋	軒樋：フッ素銅板厚0.4加工 既設のまま、一部水洗い(デッキブラシ) 壁樋：S O P塗 S G P－80A 既設のまま		外壁、樋取合い部ウレタン塗膜防水(X－2)補修 一部カラーV P100新設(壁樋延長)								



内 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
1 階	風除室	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L G S	アルミルーバー 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L G S)	(アルミルーバー)	塩ビ製 既設	-	
	乾燥室	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0		C＋M	タイル 既設のまま ガラスブロック 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0		(C＋M)	(タイル) (ガラスブロック)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(室名札)
	玄関	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(下足箱)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(下足箱)
	ホール・階段	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 一部撤去 外部側：ビニルクロス 一部撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(防煙垂れ壁、C B)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(防煙垂れ壁、C B) (天井点検口φ450)新設
	廊下	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 G B－R厚12 既設のまま	0	L G S	ビニルクロス 撤去 G B－R厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス G B－R厚12)	0	(L G S)	ビニルクロス 新設 (G B－R厚9)	塩ビ製 既設	-	(天井点検口φ450)新設
	事務室	改修前	C＋M	畳敷き厚55 既設のまま 踏込み：ビニル床タイル 既設のまま	55	畳寄せ 既設のまま 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス G B－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	和風化粧合板目透し 既設のまま	木製 既設	-	(C B、室名札)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(畳敷き厚55) 踏込み：(ビニル床タイル)	55	(畳寄せ) (木製H55)	(C)	(ビニルクロス G B－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(和風化粧合板目透し)	(木製)	-	(C B、室名札)
	宿泊室1、2	改修前	C＋M	畳敷き厚55 既設のまま 踏込み：カーペット敷き 既設のまま	55	畳寄せ 既設のまま 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま ビニルクロス G B－R厚12 既設のまま	0	L G S	和風化粧合板目透し G B－R厚9捨て張り 既設のまま	木製 既設	-	(室名札、洋服入、床の間)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(畳敷き厚55) 踏込み：(カーペット敷き)	55	(畳寄せ) (木製H55)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス G B－R厚12)	0	(L G S)	(和風化粧合板目透し G B－R厚9捨て張り)	(木製)	-	(室名札、洋服入、床の間)
	食堂	改修前	C＋M	ビニル床タイル 撤去	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 撤去 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(C B、室名札、T Vハンガー)既設のまま
		改修後	(C＋M)	ビニル床タイル 新設 下地調整共	0	ソフト巾木H75 新設	(C)	ビニルクロス 新設 外部側：ビニルクロス 新設 下地調整共(普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(C B、室名札、T Vハンガー) (天井点検口φ450)新設
	厨房	改修前	C＋M	エポキシ系塗床 塗膜撤去	-100		C＋M	100角タイル 撤去 (M下地残置)	0	L G S	V P 塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、カウンター)既設のまま、(グレーチング)撤去
		改修後	C＋M	C浸透性表面強化材塗 新設 下地調正共	-100		(C＋M)	メラミン化粧合板厚3.0 新設 下地調整共(M) 床取合いシーリング 新設	0	(L G S)	E P－G塗替え (石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、カウンター)、(SUSグレーチング)新設
	倉庫(厨)	改修前	C＋M	ビニル床タイル 撤去	0	木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス 撤去	0	L G S	G B－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま、(棚)撤去
		改修後	(C＋M)	C浸透性表面強化材塗 新設 下地調正共	0	(木製H55)	C	C素地調整	0	(L G S)	E P 塗 新設 (G B－D厚9)	(塩ビ製)	-	(室名札)
	食品庫	改修前		C金コテ 既設のまま	0			C打放し 既設のまま	0	L G S	E P 塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(棚)撤去
		改修後		C浸透性表面強化材塗 新設 下地調正共	0			(C打放し)	0	(L G S)	E P 塗替え (石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	
	脱衣室1、2	改修前	C＋M	ビニル床シート 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	E P 塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(格子仕切、脱衣棚)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(ビニル床シート)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(E P 塗 石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(格子仕切、脱衣棚)
	浴室1、2	改修前	C＋M 一部撤去	モザイクタイル 撤去	-50		C＋M	100角タイル 撤去	0	L G S	バスリブ厚9 撤去	塩ビ製 撤去	-	(室名札)既設のまま、(面台)一部撤去
		改修後	(C＋M) C 一部 新設	磁器質モザイクタイル 新設 下地調整共	-50		(C＋M)	磁器質100角タイル 新設	0	(L G S)	バスリブ厚9、防湿シート 新設	アルミ製 新設	-	(室名札)、(面台、桶台、隔て壁)新設

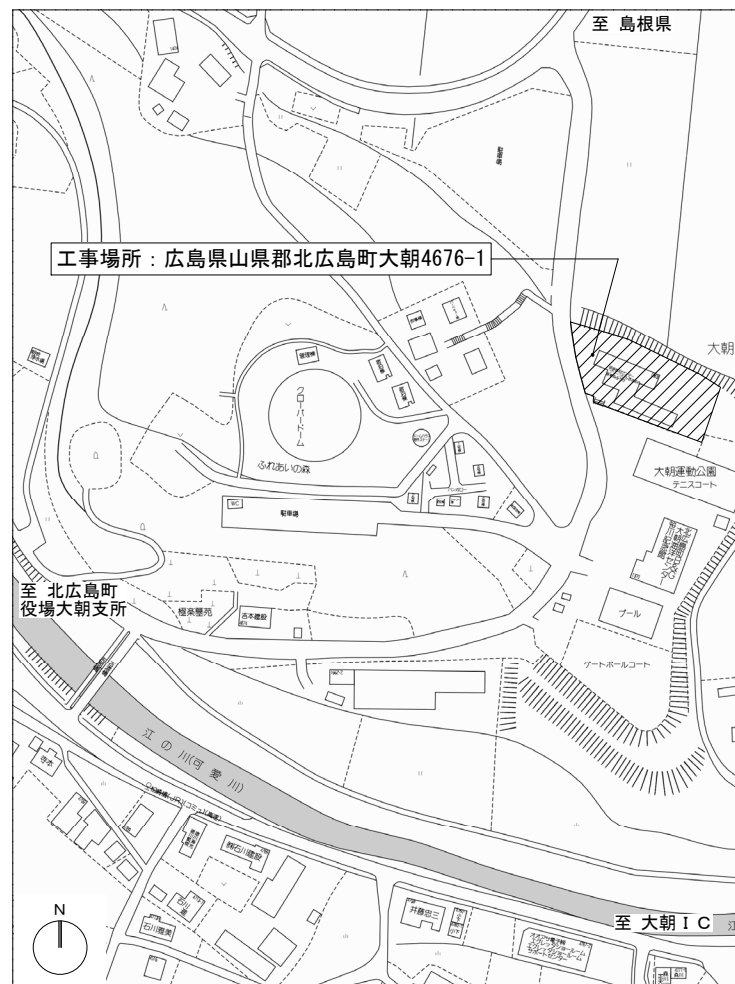


内 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
1 階	多目的トイレ	改修前	C＋M	モザイクタイル 既設のまま	-100	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま	
		改修後	(C＋M)	(モザイクタイル)	-100	(C＋M)	(磁器質タイル)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(室名札)	
	研修室	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(C.B、室名札)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	0	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(C.B、室名札)
	ステージ	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	200	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(C.B)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	200	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(C.B)
	控室1、2	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	200	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(C.B)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	200	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(C.B)
	倉庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0			C打放し 既設のまま	0		C打放し 既設のまま		-	
		改修後	(C)	(M金コテ)	0			(C打放し)	0		(C打放し)		-	
	洗面(共通)	改修前	C＋M 一部撤去	ビニル床シート 一部撤去	0		C＋M	100角タイル 一部撤去	0	L.G.S	GB－D厚9 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま (乾燥機架台)撤去
		改修後	(C＋M) C 一部新設	ビニル床シート 一部新設	0		(C＋M)	100角タイル 一部新設	0	(L.G.S)	GB－D厚9 一部新設	(塩ビ製)	-	(室名札) (乾燥機架台、洗濯機、乾燥機)新設
	男子トイレ(共通)	改修前	C＋M	モザイクタイル 一部撤去	-100		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(室名札、T.B)既設のまま
		改修後	(C＋M)	モザイクタイル 一部新設	-100		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L.G.S)	GB－D厚9 一部新設	(塩ビ製)	-	(室名札、T.B)
女子トイレ(共通)	改修前	C＋M	モザイクタイル 一部撤去	-100		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(室名札、T.B)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	モザイクタイル 一部新設	-100		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L.G.S)	GB－D厚9 一部新設	(塩ビ製)	-	(室名札、T.B)	
物入、押入(共通)	改修前	W	普通合板厚9 既設のまま	0		W	普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	普通合板厚4.0 既設のまま	木製 既設	-		
	改修後	(W)	(普通合板厚9)	0		(W)	(普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(普通合板厚4.0)	(木製)	-		
2 階	廊下	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 GB－R厚12 既設のまま	0	L.G.S	ビニルクロス 撤去 GB－R厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	ソフト巾木H75 新設	(C)	ビニルクロス 新設 ビニルクロス 新設 (GB－R厚12)	0	(L.G.S)	(ビニルクロス 新設 (GB－R厚9)	(塩ビ製)	-	
	宿泊室1～6	改修前	W 撤去	畳敷き厚55 撤去 踏み込みカーペット敷き 既設のまま 広縁：複合フローリング 撤去	55	畳寄せ 撤去 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス GB－R厚12 一部撤去 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	和風化粧合板目透し GB－R厚9捨て張り 撤去	木製 一部撤去	-	(室名札)既設のまま (洋服入、床の間)撤去
		改修後	W床組 新設	無垢桧フローリング厚15(塗装品) 耐水合板厚12 新設 乾式二重床 新設 縁無し畳厚30、構造用合板厚24 新設 踏み込み：カーペット敷き	55	WP塗 桧巾木H60 新設 (木製H55)	(C) L.G.S	ビニルクロス 新設 ビニルクロス GB－R厚12.5 一部新設 外部側：ビニルクロス新設 (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	ビニルクロス GB－R厚9.5 新設	木製 一部新設	-	(室名札) (棚、手すり)新設
	宿泊室7	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	O.S.C.L塗 木製H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま ビニルクロス GB－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(C.B、室名札、2段ベッド、ロッカー)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	(O.S.C.L塗 木製H75)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス GB－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(C.B、室名札、2段ベッド、ロッカー)
宿泊室8	改修前	C＋M	カーペット敷き、複合フローリング 既設のまま 上り框 既設のまま 畳敷き厚55 撤去	55	O.S.C.L塗 木製H75 既設のまま	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 GB－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(C.B、室名札)既設のまま (冷蔵庫、収納棚)取外し (流し台、コンロ台、レンジフード)撤去	
	改修後	(C＋M)	(カーペット敷き、複合フローリング) (上り框) 畳敷き厚55 新設	55	(O.S.C.L塗 木製H75)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス GB－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(C.B、室名札) (冷蔵庫、収納棚)再取付	



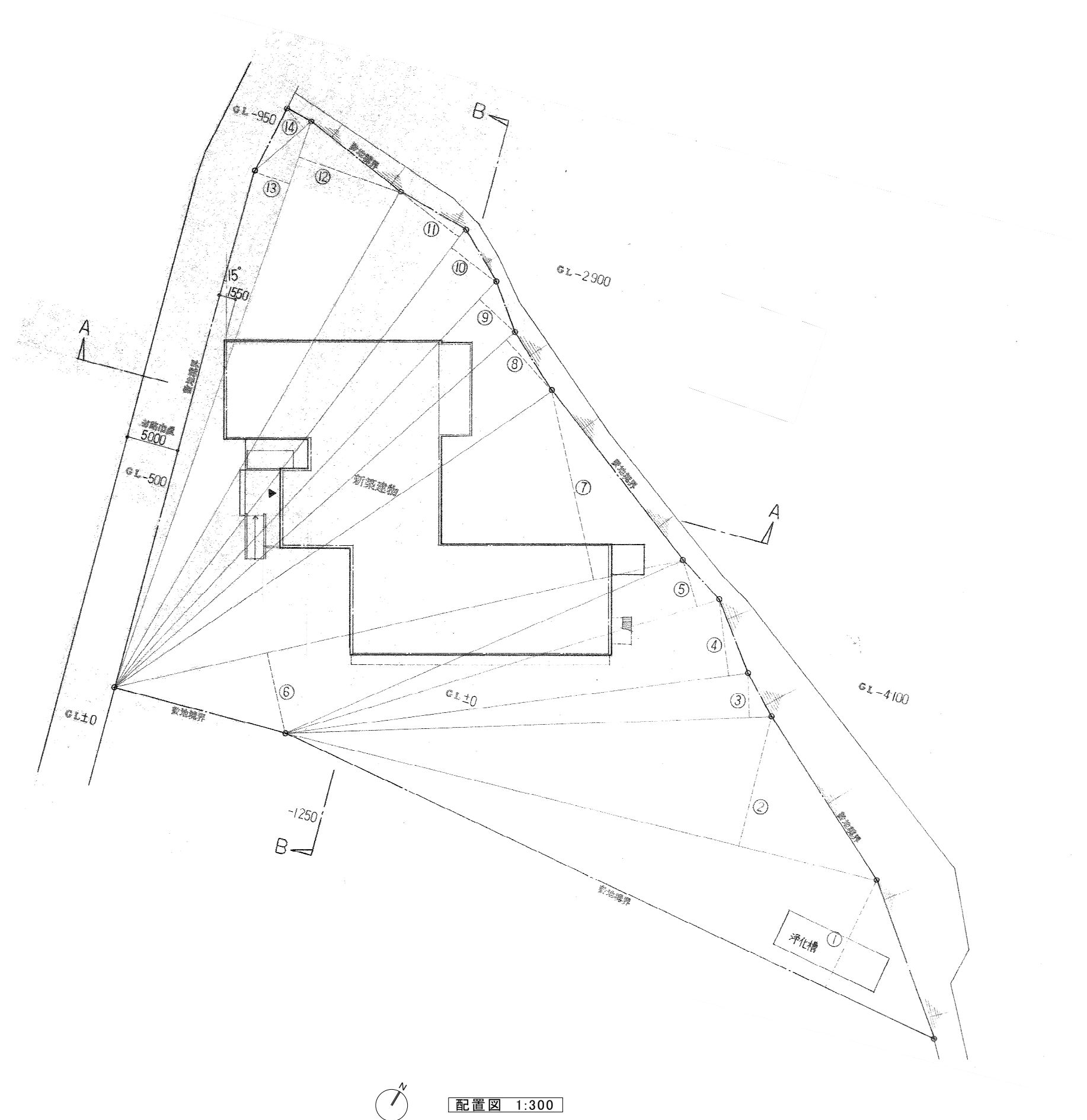
内 部 仕 上 表 （ 改 修 前 ・ 後 ）														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
2 階	収納	改修前	W	普通合板厚9 既設のまま	0	雑巾摺 既設のまま	W	普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	普通合板厚5.5 既設のまま	木製 既設	-	中段 既設のまま
		改修後	(W)	(普通合板厚9)	0	(雑巾摺)	(W)	(普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(普通合板厚5.5)	(木製)	-	(中段)
	リネン庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	C打放し 既設のまま 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、棚)既設のまま
		改修後	(C)	(M金コテ)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(C打放し) (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、棚)
	倉庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	C打放し 既設のまま 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、棚)既設のまま
		改修後	(C)	(M金コテ)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(C打放し) (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、棚)



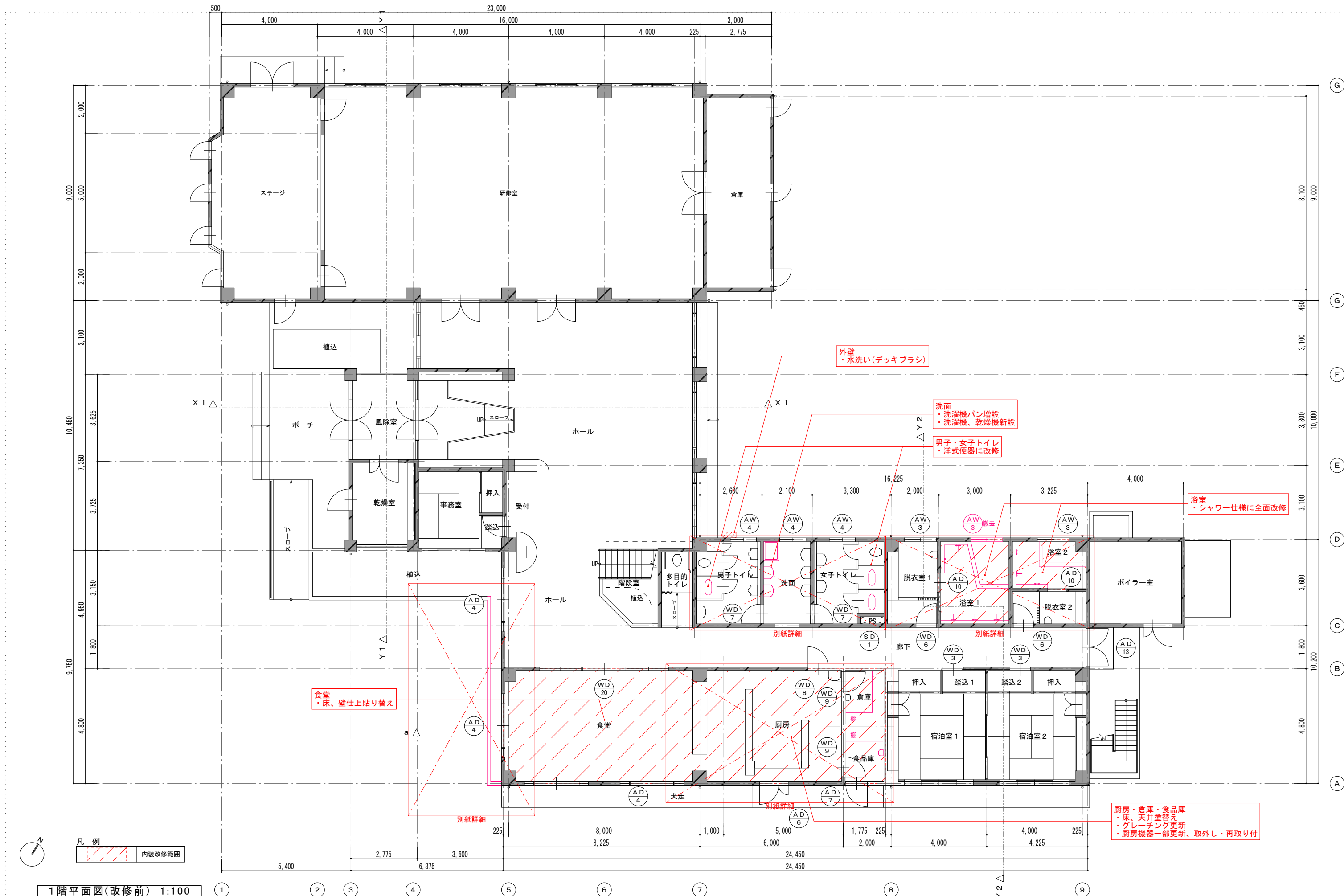


付近見取図

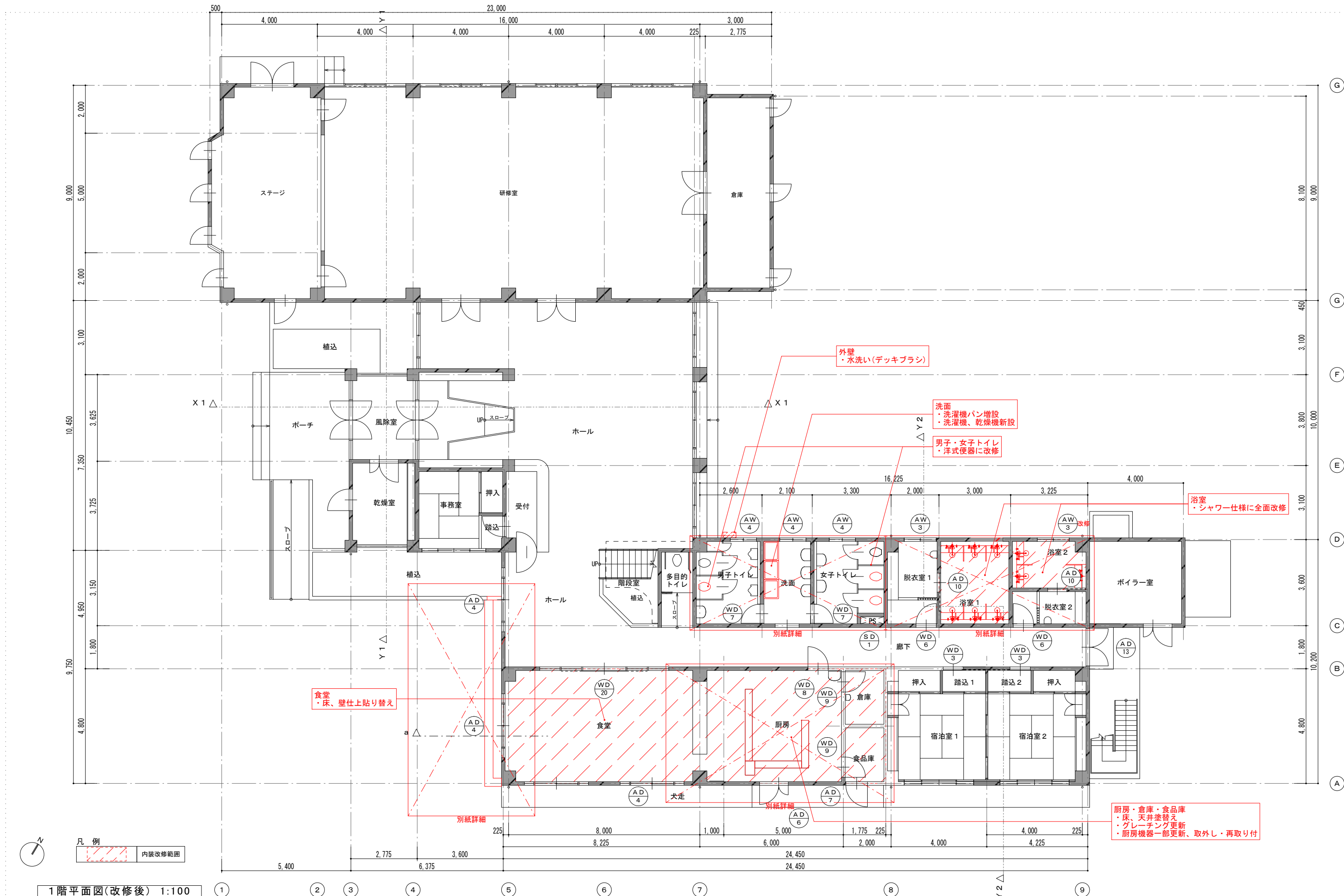
2025年2月15日現在
 地籍図・航空写真・地形図より



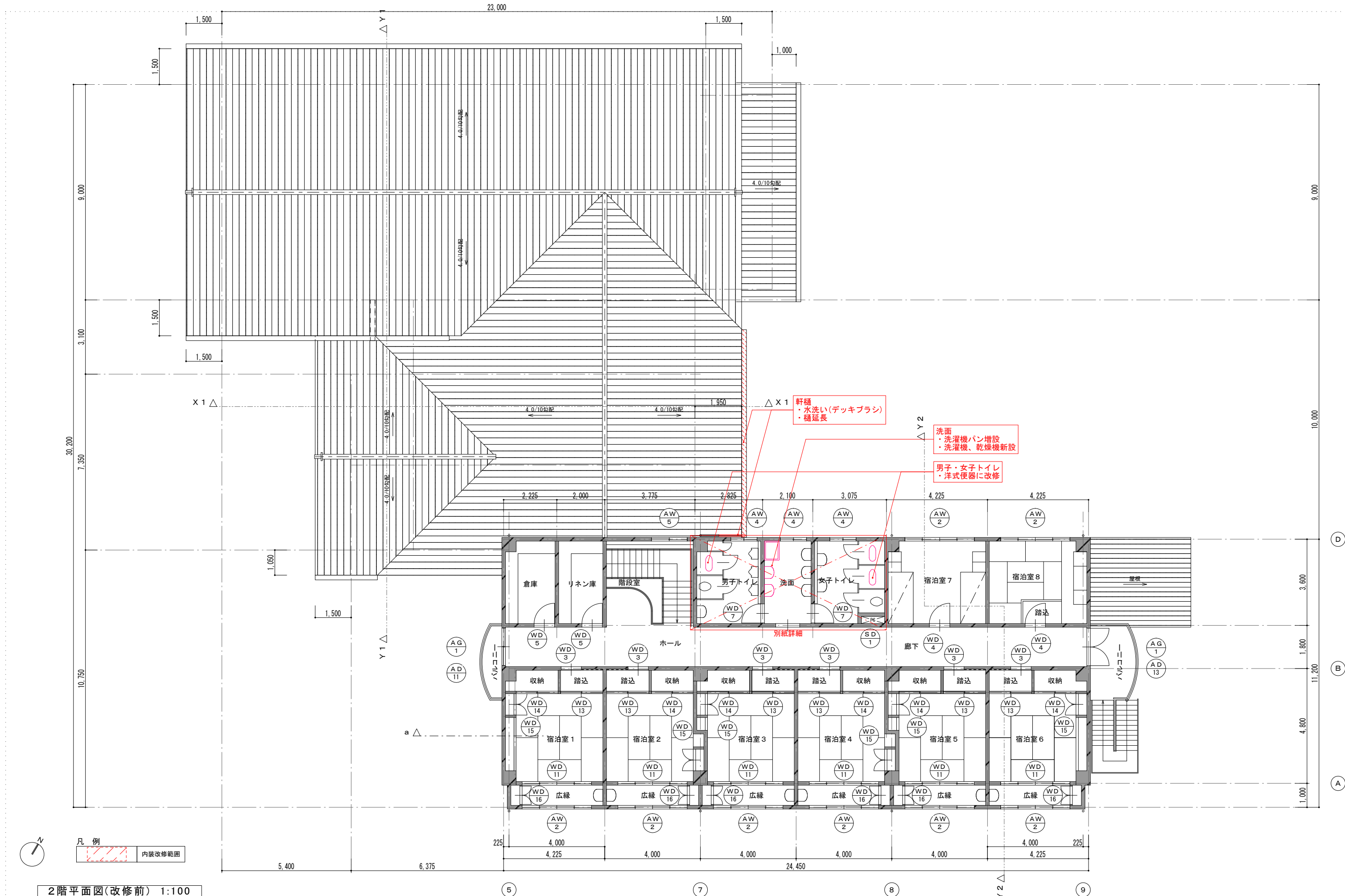
配置図 1:300

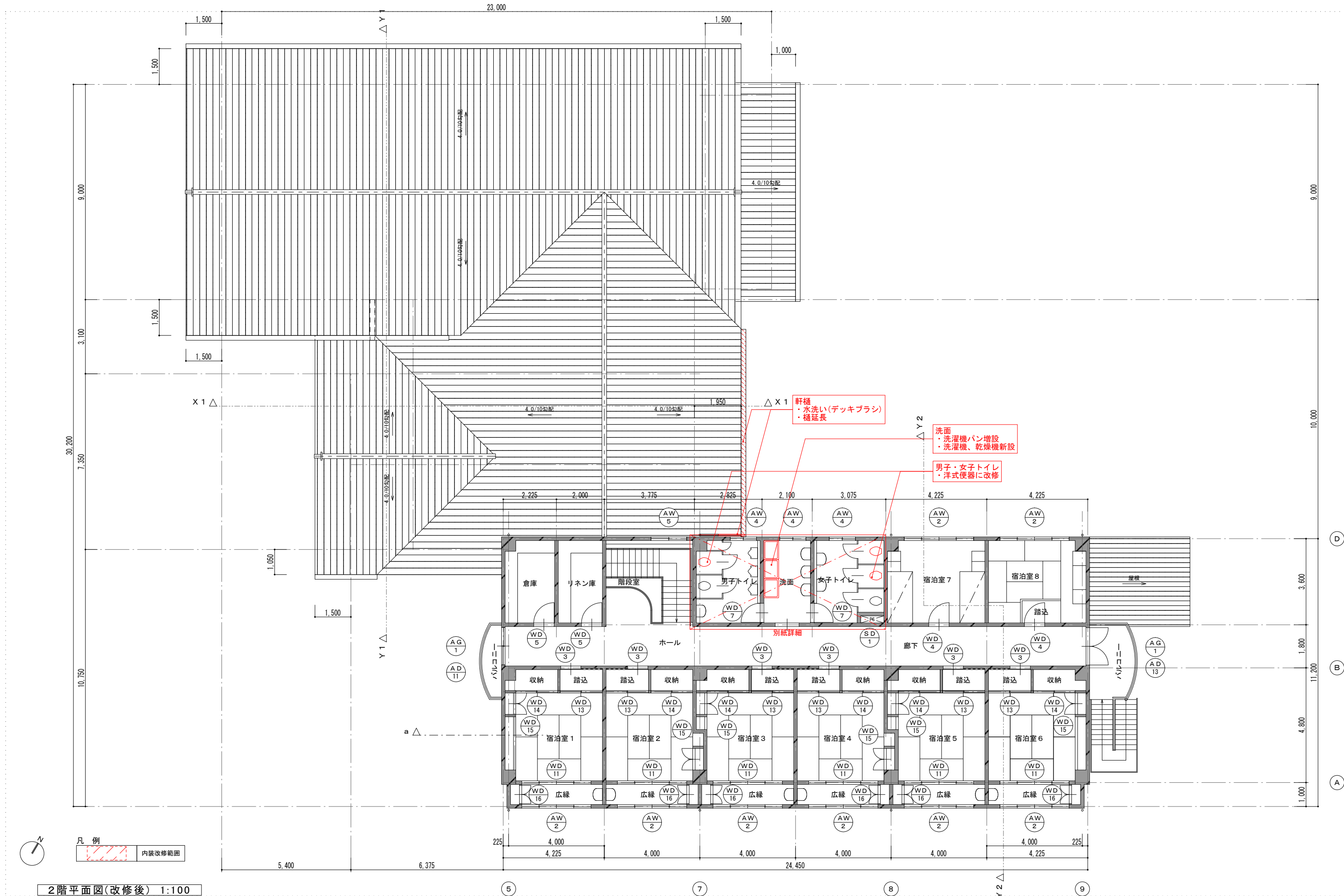


1階平面図(改修前) 1:100



1階平面図(改修後) 1:100

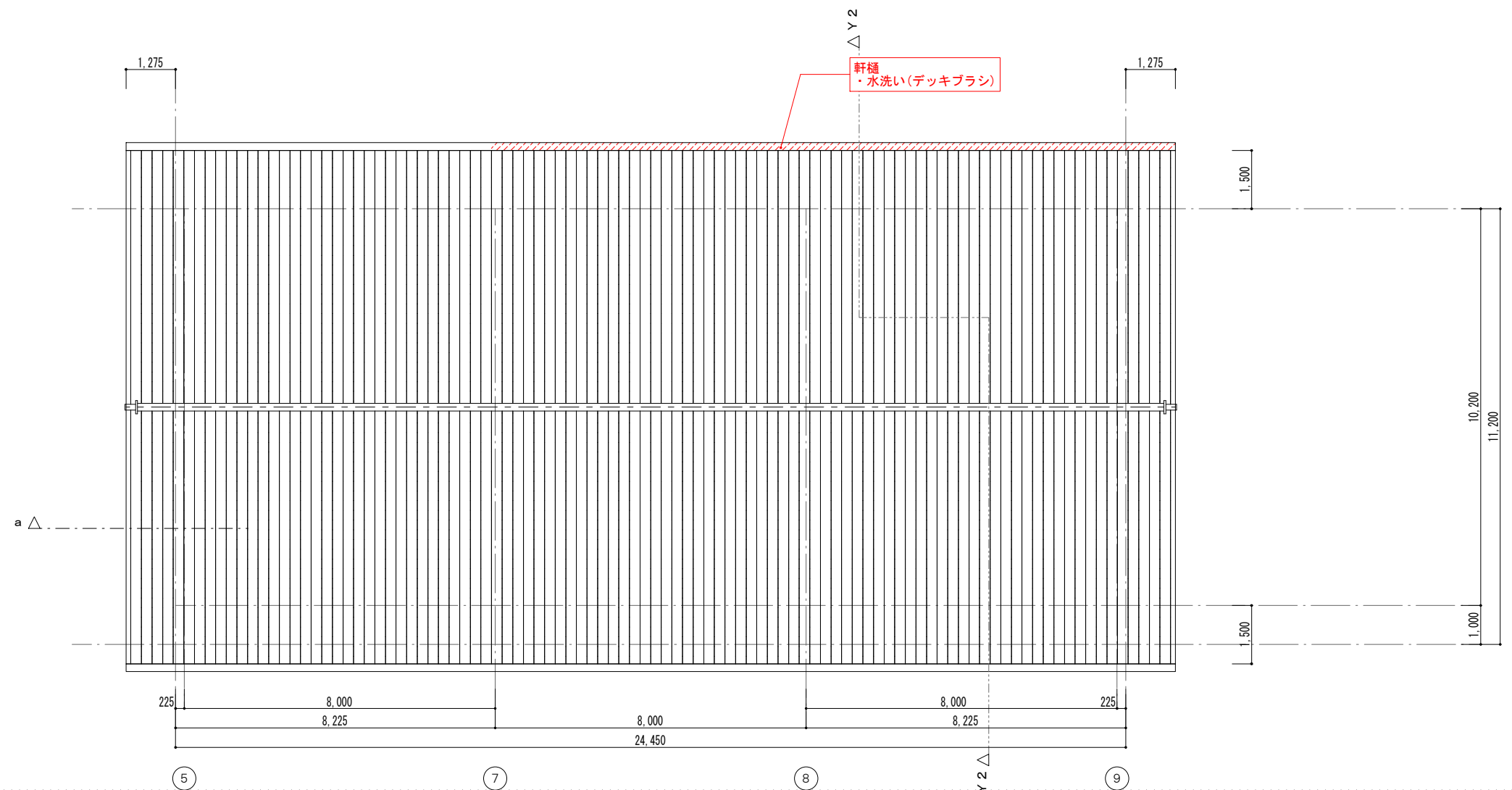


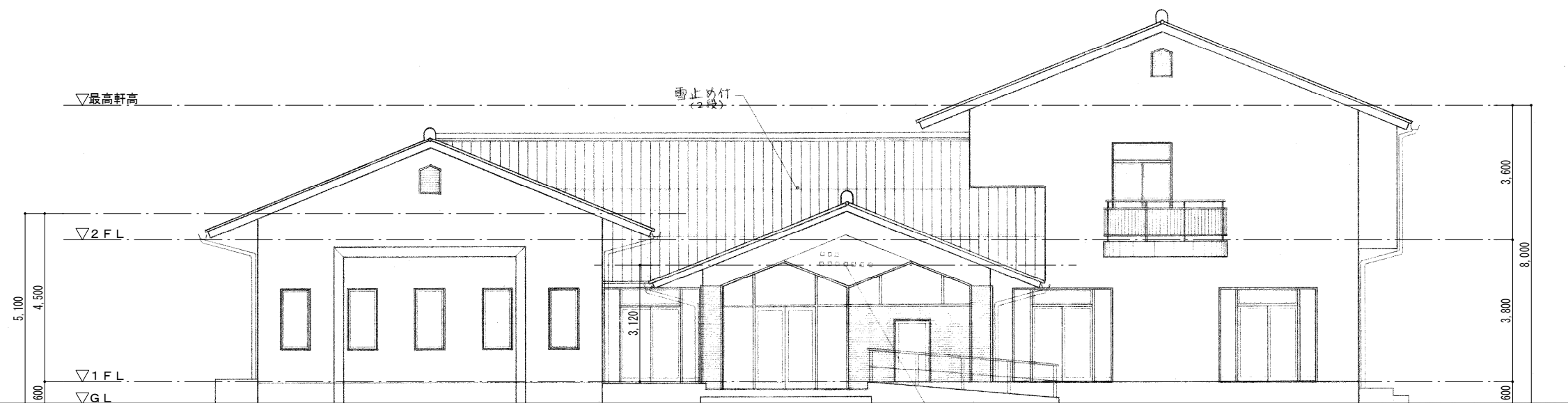


2階平面図(改修後) 1:100

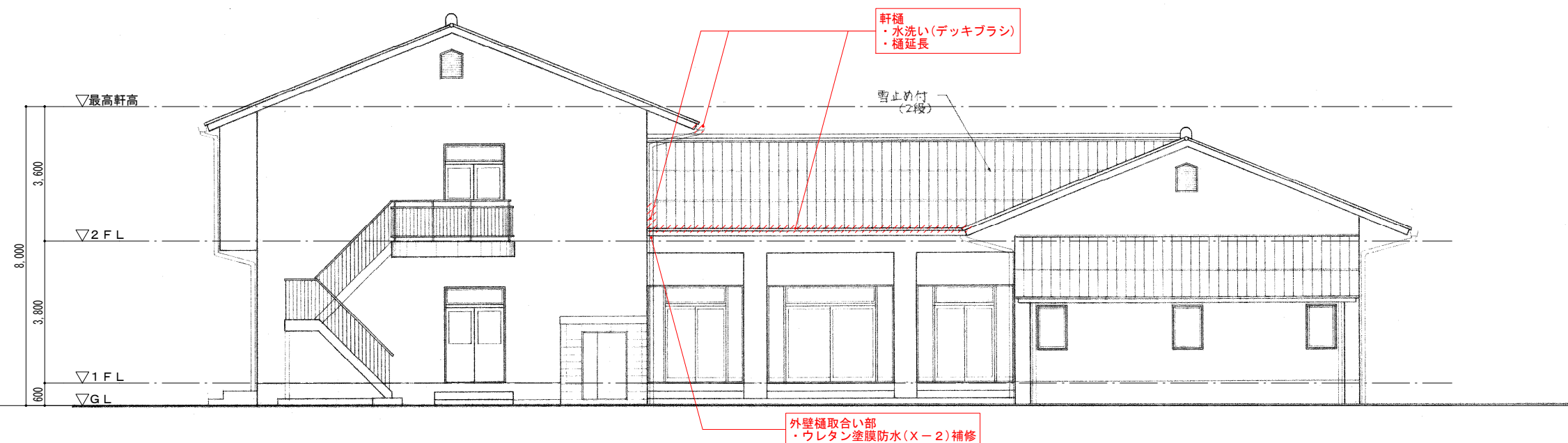


屋根伏図(改修前) 1:100

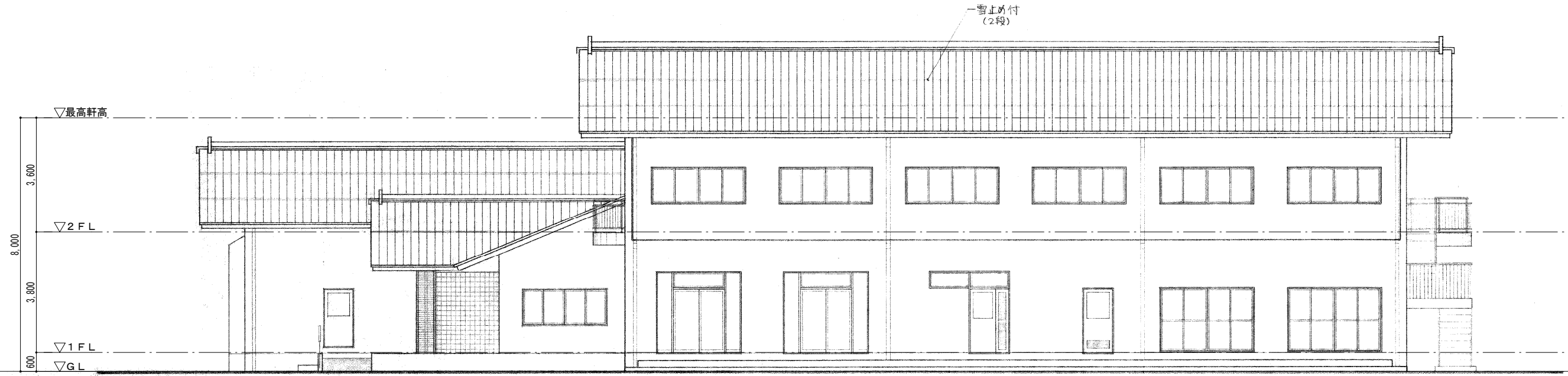




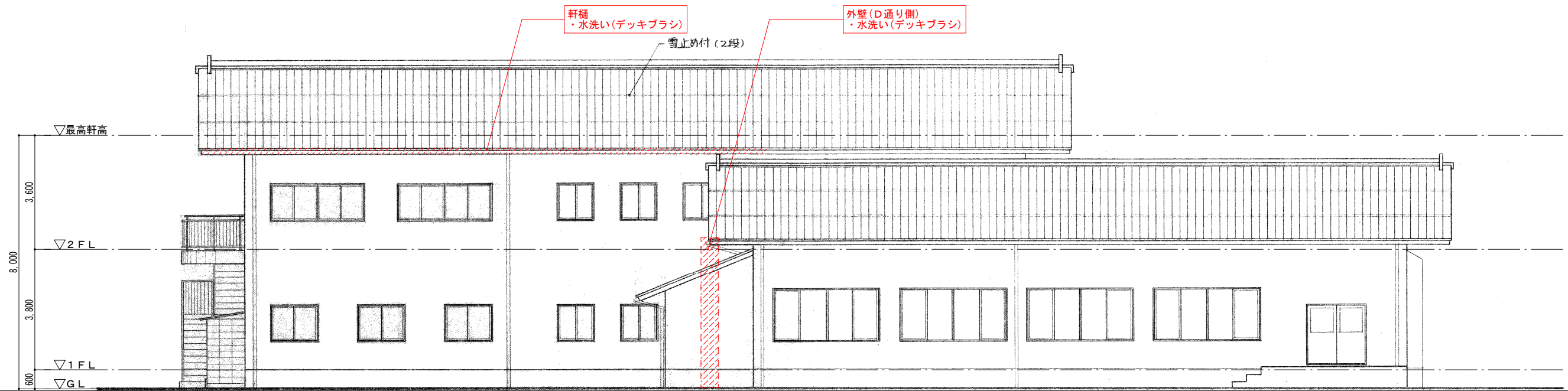
西側立面図 1:100



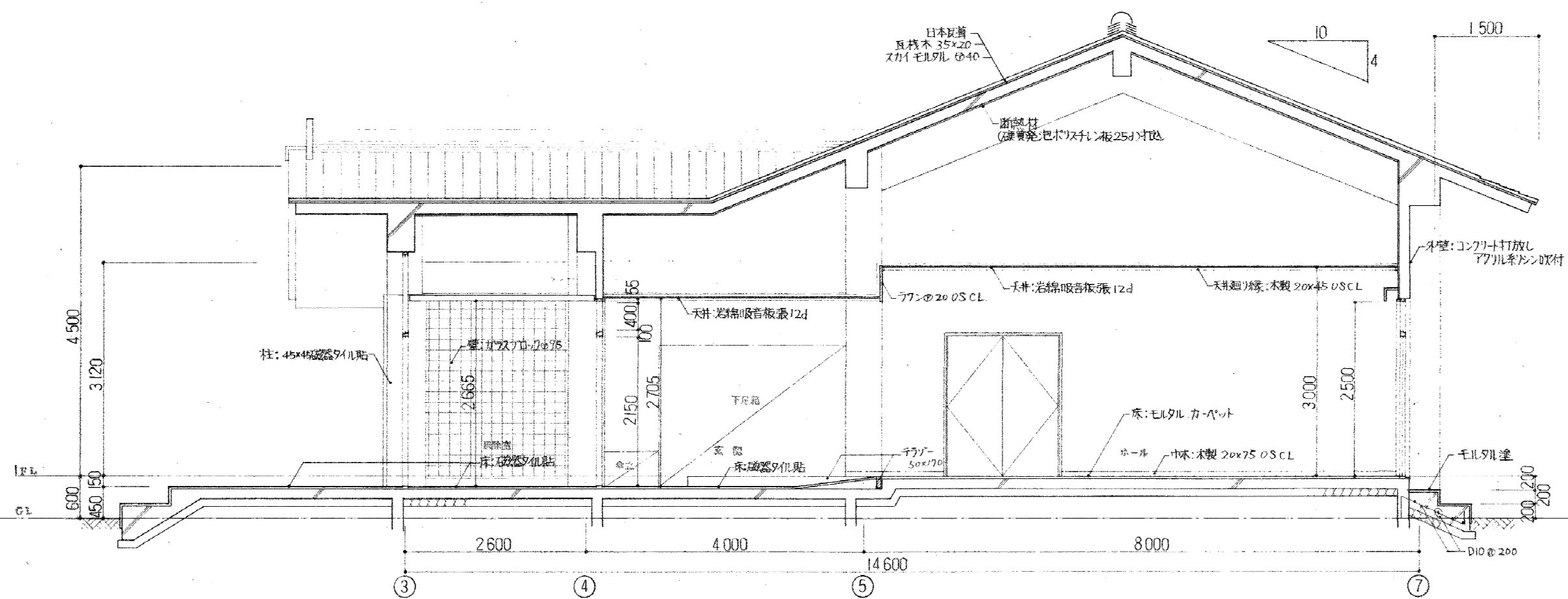
東側立面図 1:100



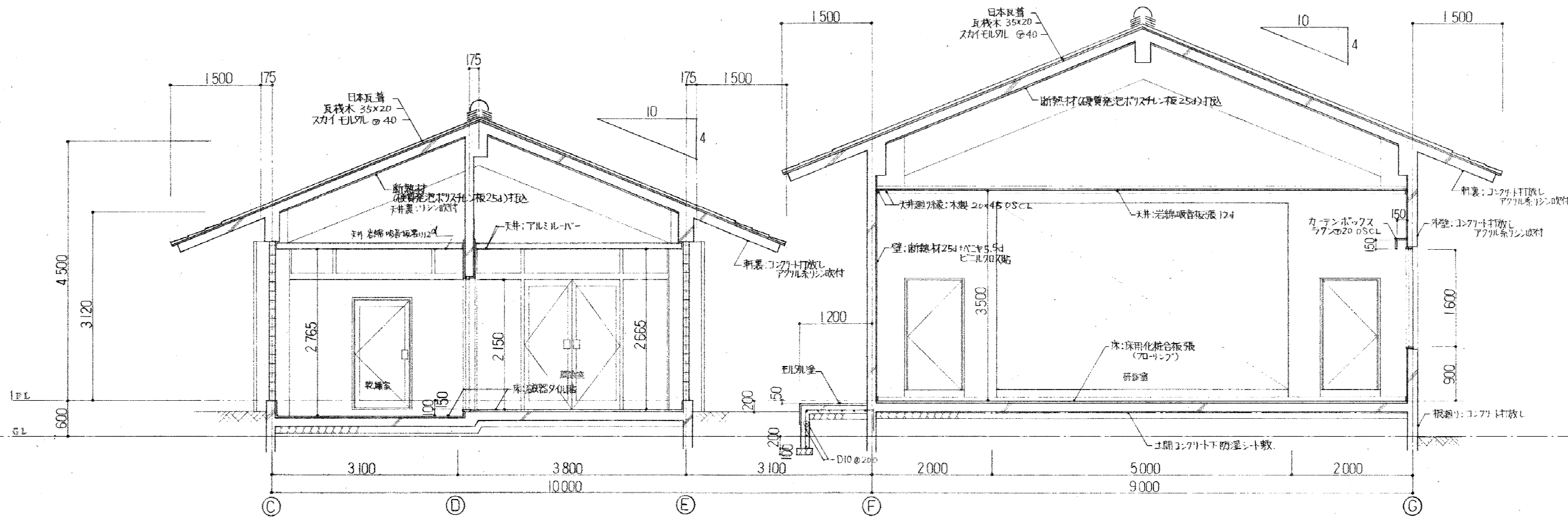
南側立面図 1:100



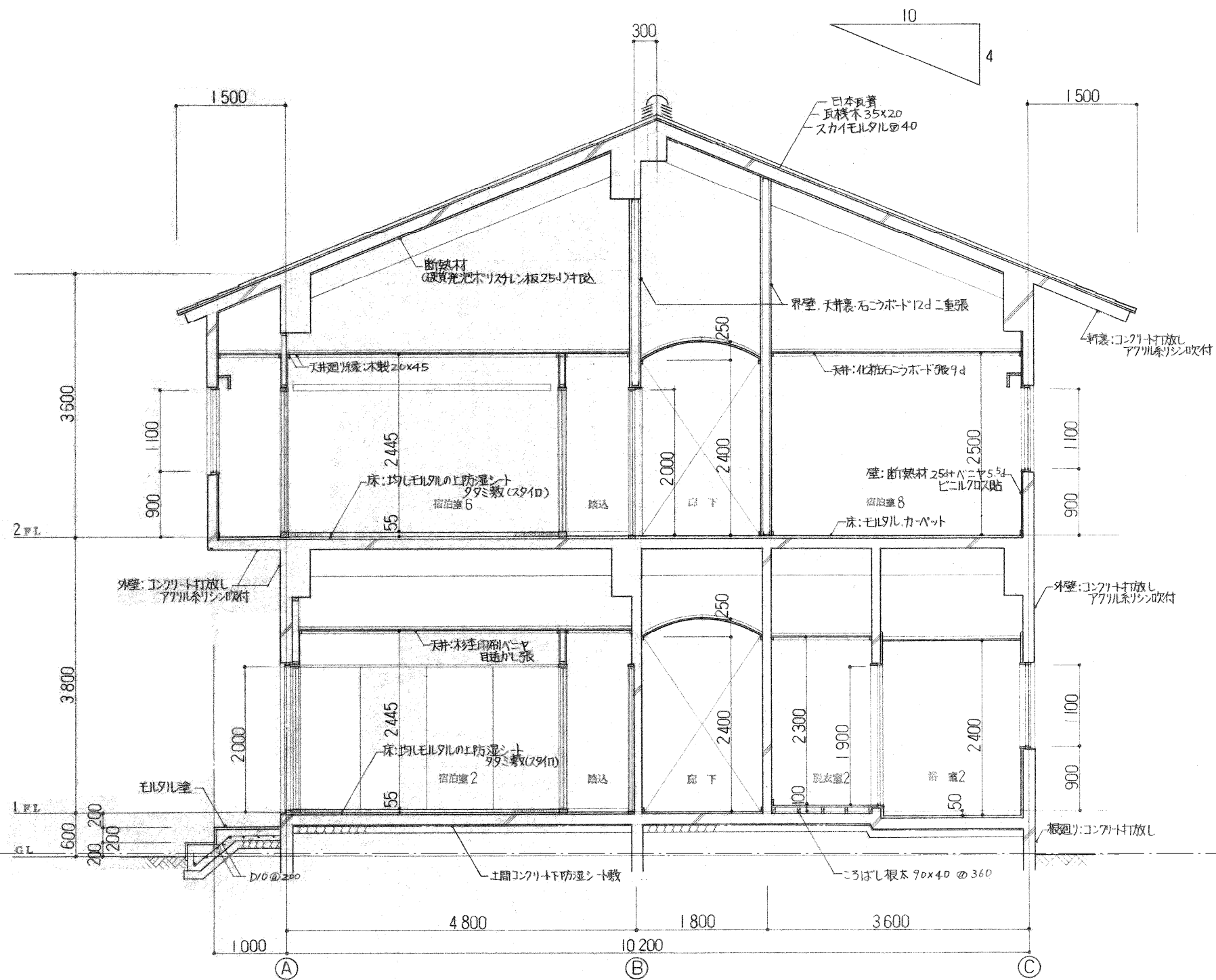
北側立面図 1:100



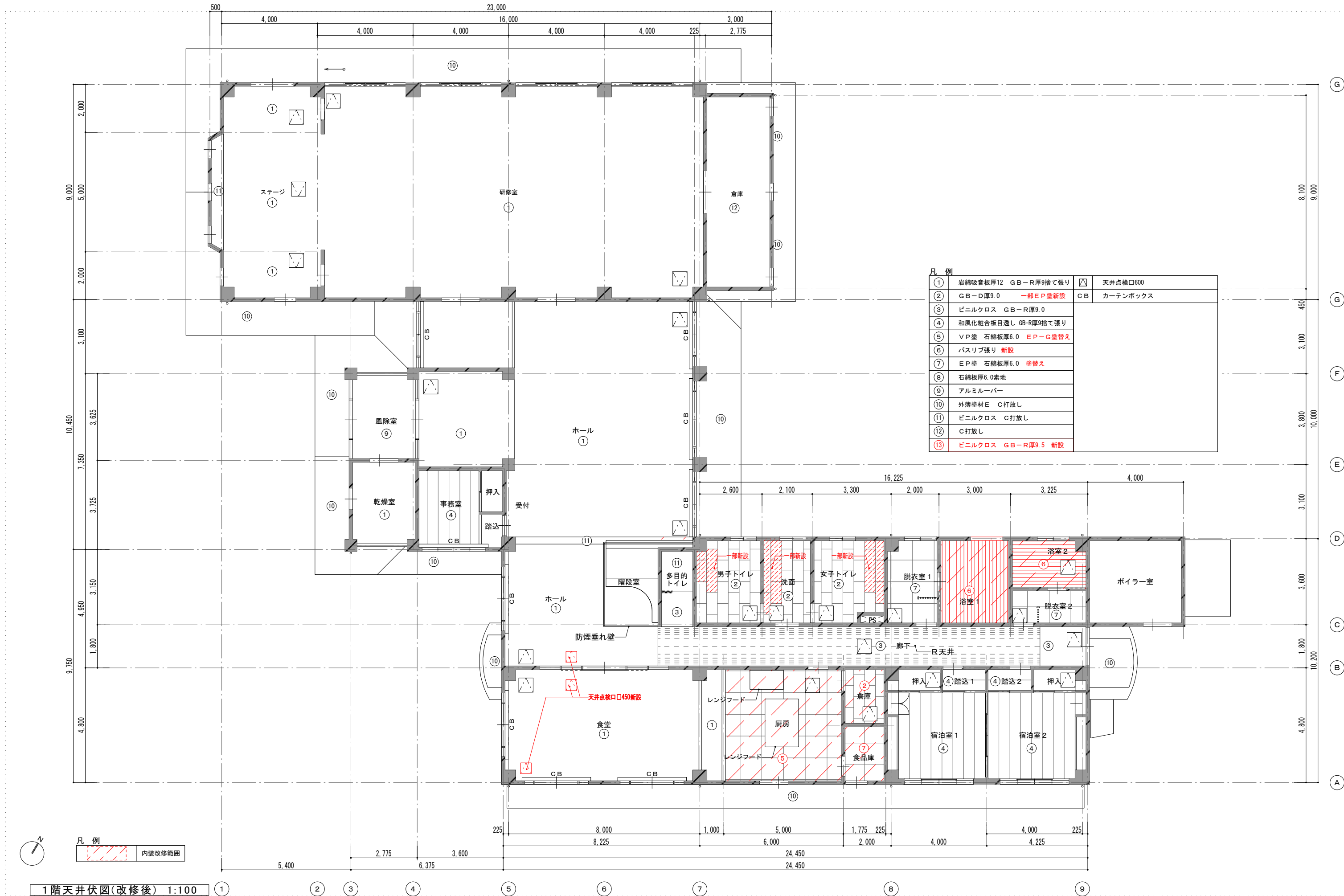
X1断面詳細図 1:50



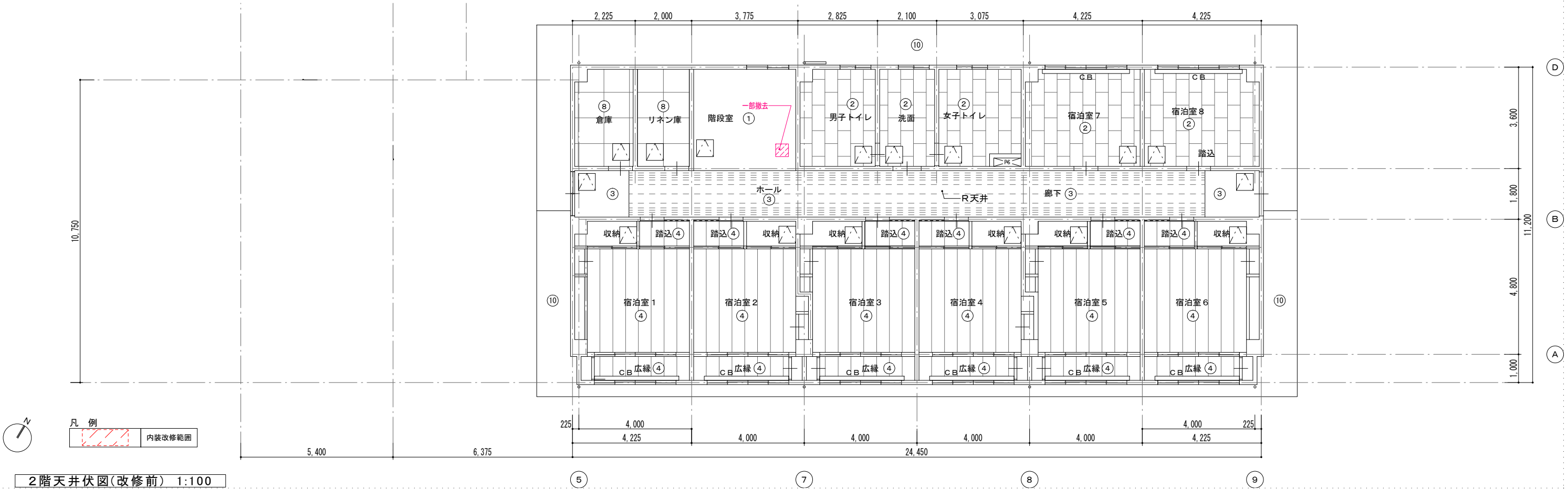
Y1断面詳細図 1:50



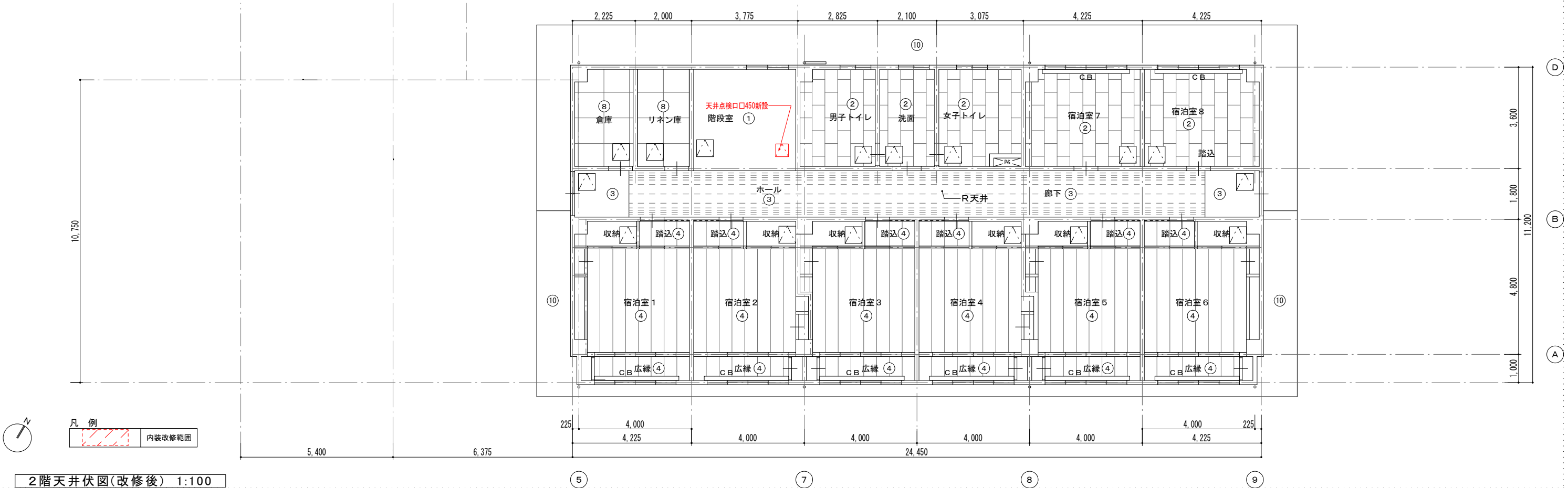




凡 例		
①	岩綿吸音板厚12 GB-R厚9捨て張り	天井点検口600
②	GB-D厚9.0 一部EP塗新設	カーテンボックス
③	ビニルクロス GB-R厚9.0	
④	和風化粧合板目透し GB-R厚9捨て張り	
⑤	VP塗 石綿板厚6.0 EP-G塗替え	
⑥	バスリブ張り 新設	
⑦	EP塗 石綿板厚6.0 塗替え	
⑧	石綿板厚6.0素地	
⑨	アルミルーバー	
⑩	外薄塗材E C打放し	
⑪	ビニルクロス C打放し	
⑫	C打放し	
⑬	ビニルクロス GB-R厚9.5 新設	



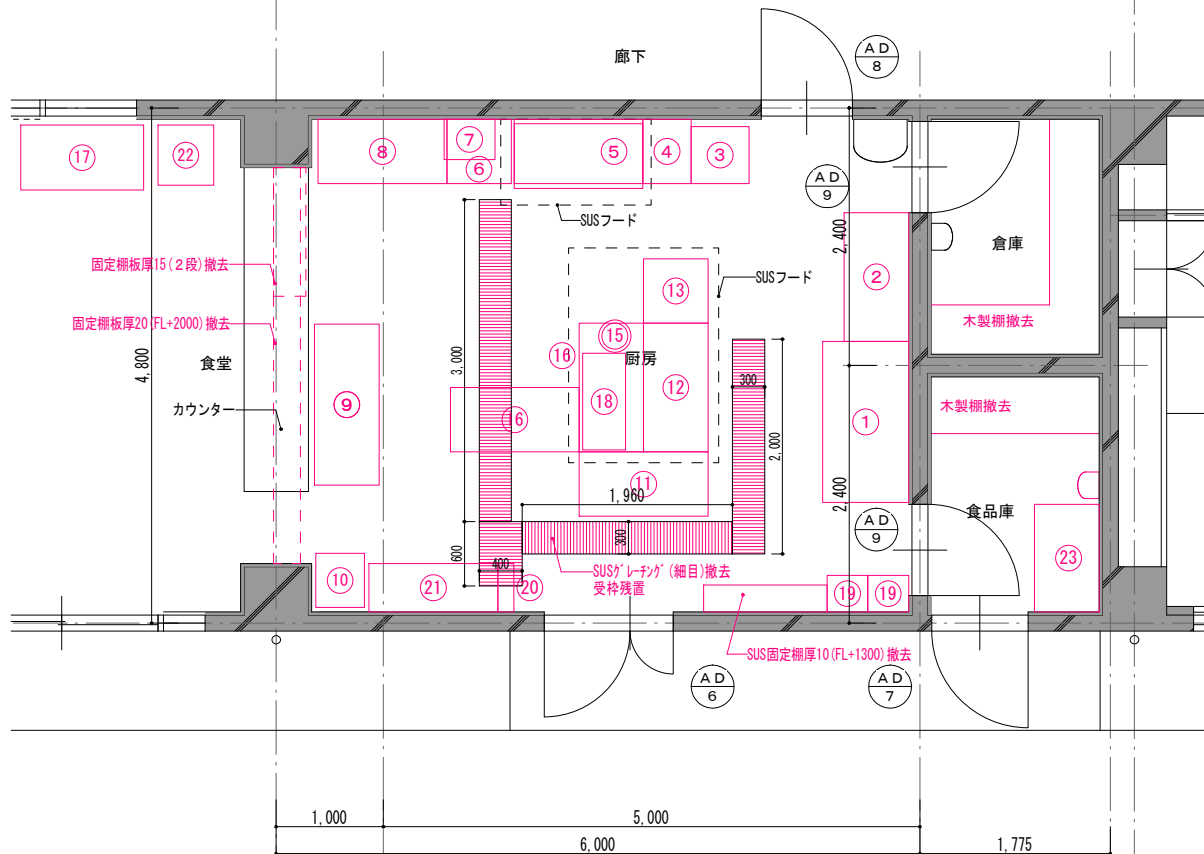
凡 例		
①	岩綿吸音板厚12 GB-R厚9捨て張り	▽ 天井点検口600
②	GB-D厚9.0 一部EP塗新設	CB カーテンボックス
③	ビニルクロス GB-R厚9.0	
④	和風化粧合板目透し GB-R厚9捨て張り	
⑤	VP塗 石綿板厚6.0 EP-G塗替え	
⑥	バスリブ張り 新設	
⑦	EP塗 石綿板厚6.0 塗替え	
⑧	石綿板厚6.0素地	
⑨	アルミルーバー	
⑩	外薄塗材E C打放し	
⑪	ビニルクロス C打放し	
⑫	C打放し	
⑬	ビニルクロス GB-R厚9.5 新設	



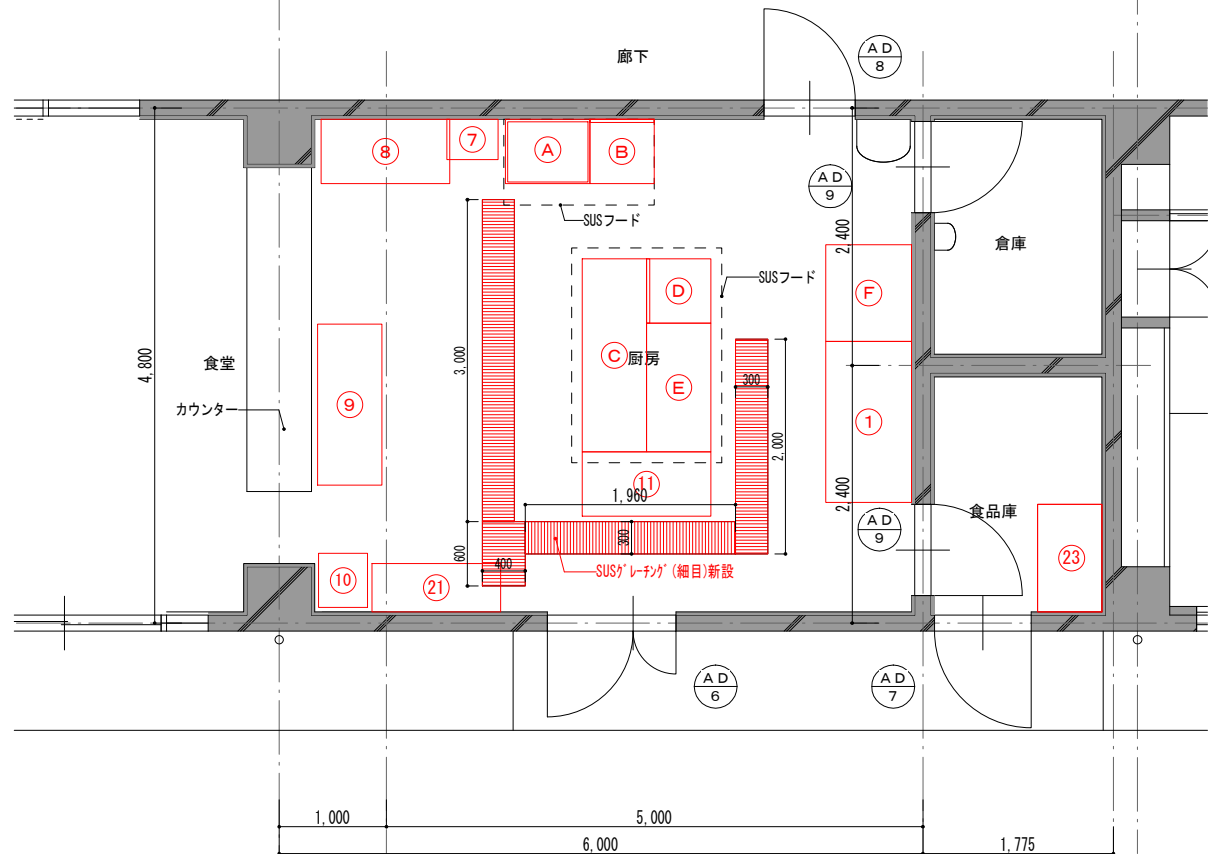
姿	図	記号	寸法		ガラリ寸法		枠見込 建具見込	建具位置：数量										合計	ガラス	附属金物	備考
			W	H	W	H		1階	2階												
		1 SD	600	1 000			100	1	1									2		丁番, ケースハットル, 本締錠	SoP塗
		1 AD	6 445	3 160			70	1										1	扉：70+5d ラマ：70+3dガラス	フロアヒンジ, 揚落とし金物, 押板, ピンタンプラ-本締錠 回転式ストッパー	ステンレス省摺
		2 AD	3 210	2 650			70	1										1	70+5d	押板, ピンタンプラ-本締錠 フロアヒンジ, 揚落とし金物 回転式ストッパー	
		3 AD	3 200	2 500			70	1										1	70+5d	附属金物一式	排煙用フック棒 (手動式) 網戸付
		4 AD	2 675	2 500			70	7										7	70+5d	——〃——	排煙用フック棒 (手動式) 網戸付
		5 AD	2 900	1 945			70	2										2	70+5d	——〃——	網戸付
		6 AD	2 450	2 500	200	1 750	70	1										1	扉：型4d ラマ：70+3d	シンダー-振込錠, ドアチェック	排煙用フック棒 (手動式)
		7 AD	900	2 000	800	250	70	1										1	型4d	——〃——, ——〃——	
		8 AD	900	1 800			70	1										1	70+5d	押板, ピンタンプラ-本締錠 ドアチェック (ストッパー付)	ステンレス省摺
		9 AD	1 800	1 800			70	1										1	型4d	シンダー-振込錠, アムストッパー	
		10 AD	800	1 900			70	2										2	型4d	附属金物一式	
		11 AD	1 565	2 500			70		1									1	上：70+5d 下：型4d	——〃——	排煙用フック棒 (手動式)
		12 AD	1 100	1 800			70	1										1		シンダー-振込錠, アムストッパー	
		13 AD	1 565	2 500			70	1	1									2	70+3d	——〃——, ——〃——	排煙用フック棒 (手動式)
		14 AD	900	1 800			70	1										1	型4d	——〃——, ——〃——	
		15 AD	1 200	2 150			70	1										1	型6d	押板, ピンタンプラ-本締錠 ドアチェック (ストッパー付)	
		1 AG	450	700				2	2									4		附属金物一式	

姿	図	記 号	寸 法		ガラリ寸法		枠見込 建具見込	建具位置：数量										合 計	ガ ラ ス	附 属 金 物	備 考
			W	H	W	H		1階	2階												
AW-1 AW-2,7 AW-3,4,5 AW-6,8	1	AW	3 300	1 600			70	4									4	70-15d	附属金物一式	網戸付	
	2	AW	2 900	1 100			70		8									8	70-13d	— " —	— " —
	3	AW	1 340	1 100			70	3										3	70-13d	— " —	— " —
	4	AW	1 100	1 100			70	3	3									6	70-13d	— " —	— " —
	5	AW	1 500	660			70		1									1	70-13d	— " —	
	6	AW	750	1 600			70	5										5	70-15d	— " —	
	7	AW	2 675	1 100			70	1										1	70-13d	— " —	網戸付
	8	AW	750	1 100			70	3										3	型4d	— " —	

姿	図	記 号	寸 法		ガラリ寸法		枠見込 建具見込	建 具 位 置 : 数 量												合 計	ガ ラ ス	附 属 金 物	備 考
			W	H	W	H		1階	2階														
WD-9 WD-10 WD-11 WD-12 WD-13 WD-14 WD-15 WD-16 WD-17.22 WD-18 WD-19 WD-20 WD-21 ※ 木部見え掛りはOP塗（但し、WD-3及び障子・フスマは除く）		9 WD	850	2 000	650	200		36	2									2		丁番(ステンレス), 戸当り 錠	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)		
		10 WD	850	2 000				36	1										1		丁番(ステンレス), 戸当り シリンダー錠(内部, サムターン)	ビニルクロス貼(——)	
		11 WD	2 930	1 945				21	2	6									8		引手	障子	
		12 WD	3 535	1 945				27	1										1		——	フスマ	
		13 WD	1 800	1 945				36	2	6									8		——	フスマ 片面: ポリ化粧合板貼	
		14 WD	1 710	1 945				27	2	6									8		——	フスマ	
		15 WD	860	1 245				27	2	6									8		把手, 丁番(ステンレス)	フスマ	
		16 WD	760	1 245				36		6									6		把手, 丁番(ステンレス) 片面: シナ合板	ビニルクロス貼(フラッシュ) 片面: シナ合板	
		17 WD	600	1 850				33	5	5									10		丁番(ステンレス), 戸当り 握玉, 表示器付掛金物	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)	
		18 WD	1 685	2 400				27	1										1		引手	フスマ	
		19 WD	850	700				36	1										1		自由丁番(ステンレス)	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)	
		20 WD	5 400	2 000				36	1										1	70-13d	引分け用錠, 戸車	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)	
		21 WD	1 800	2 000	700	200		36	1										1		丁番(ステンレス) 片面: シナ合板	—— (——) 片面: シナ合板	
		22 WD	370	1 850				33	1	1									2		丁番(ステンレス), 握玉	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)	



厨房 平面図(改修前) 1:50

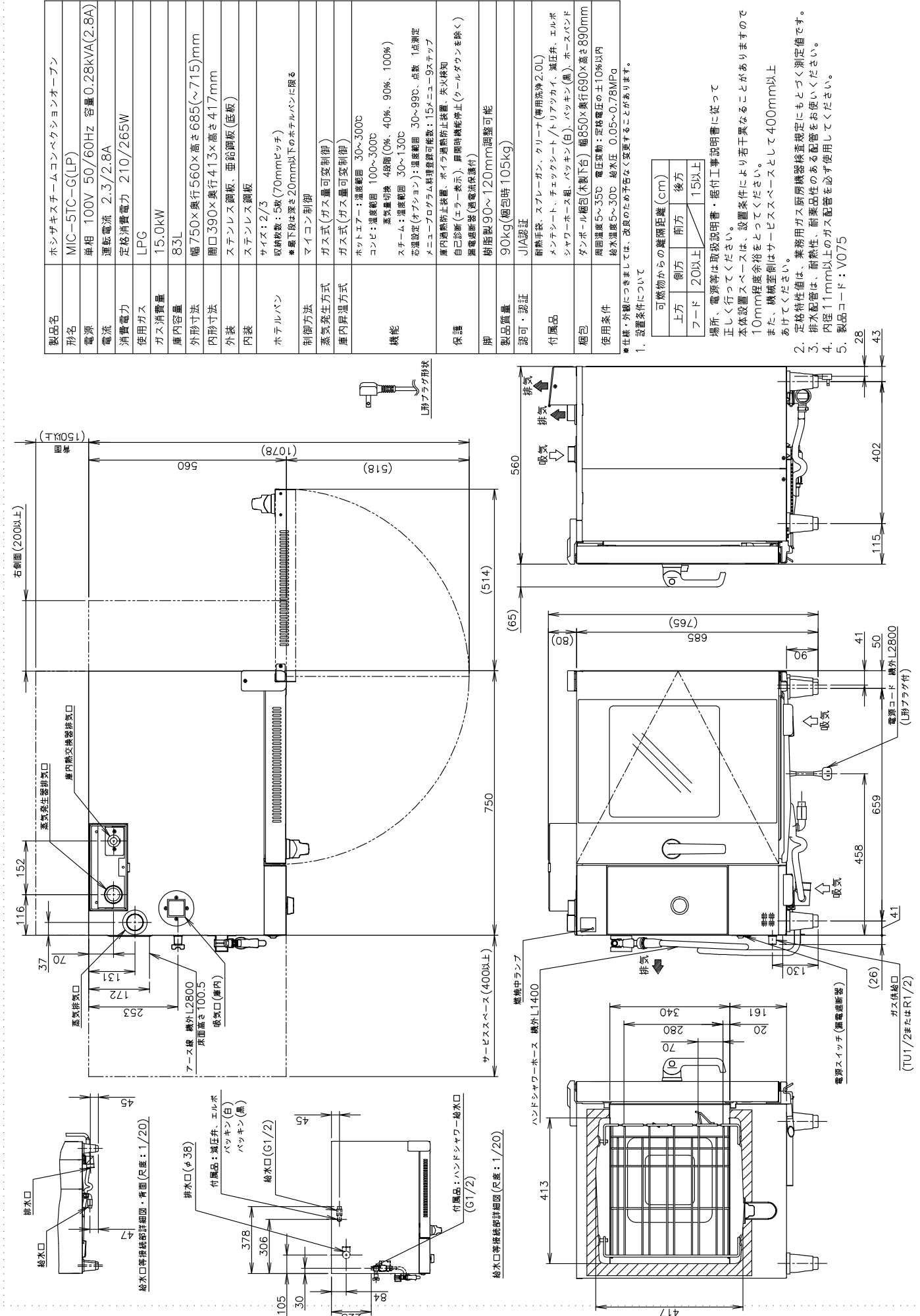


厨房 平面図(改修後) 1:50

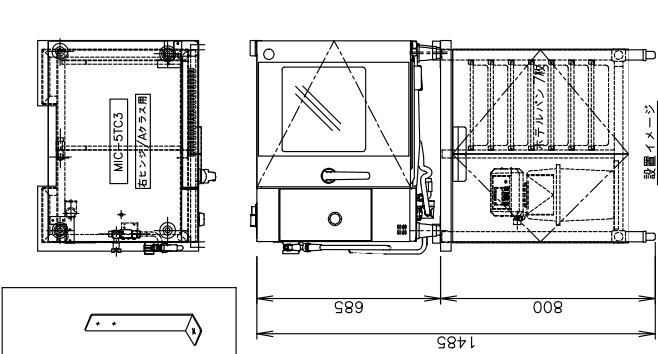
厨房機器表(特記なき限り取外し、再取付)

NO	品名	台数	寸法	配管	寸法	配管	寸法	電圧	備 考
1	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970					1P100V 850W	撤去
2	食器棚	1	1700 600 1800					3P100V 300W 1P100V 100W	撤去
3	食器洗浄機	1	540 530 1800					3P100V 300W 1P100V 100W	撤去
4	食器乾燥機	1	540 600 200					3P100V 300W 1P100V 100W	撤去
5	食器乾燥機	1	1700 600 200					3P100V 300W 1P100V 100W	撤去
6	水切台	1	600 600 800					20A 1P100V 300W	撤去
7	湯沸器	1	875 377 1040					20A 1P100V 300W	撤去
8	3槽シンク	1	1200 600 200					20A 1P100V 300W	撤去
9	コールドテーブル	1	1500 600 800					1P100V 100W 1P100V 300W	撤去
10	アイスメーカー	1	503 656 850					1P100V 300W 1P100V 300W	撤去
11	2槽シンク	1	1700 600 800					20A 1P100V 300W	撤去
12	ガスレンジ	1	1700 600 800					20A 1P100V 300W	撤去
13	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
14	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
15	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
16	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
17	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
18	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
19	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
20	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
21	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
22	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
23	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
24	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
25	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
26	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
27	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
28	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
29	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
30	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
31	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
32	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
33	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
34	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
35	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
36	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
37	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
38	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
39	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
40	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
41	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
42	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
43	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
44	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
45	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
46	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
47	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
48	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
49	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
50	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
51	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
52	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
53	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
54	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
55	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
56	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
57	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
58	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
59	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
60	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
61	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
62	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
63	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
64	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
65	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
66	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
67	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
68	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
69	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
70	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
71	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
72	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
73	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
74	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
75	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
76	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
77	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
78	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
79	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
80	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
81	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
82	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
83	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
84	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
85	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
86	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
87	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
88	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
89	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
90	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
91	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
92	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
93	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
94	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
95	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
96	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
97	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
98	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
99	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去
100	ガスレンジ	1	600 600 650					20A 1P100V 300W	撤去

新設・移設機器									
A	スチームコンロ	1	750	560	685	15A×1	40A×1 ^{φ4.5 又はφ13}	1P100V 265W	80℃湯温保持 専用器具
B	コンロ台	1	600	600	800				ﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ付
C	ﾅｰﾌﾞﾙ形冷蔵庫	1	1800	600	800		40A×1	1P100V 350W、H500	移設品
D	コンロ台	1	600	600	800				ﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ付
E	作業台	1	1200	600	800				
F	冷蔵庫	1	600	800	1900		50A×1	1P100V 642W	移設品



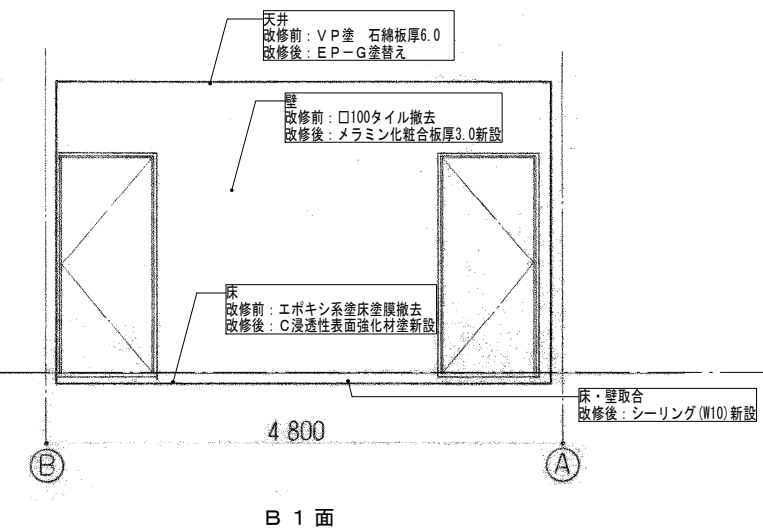
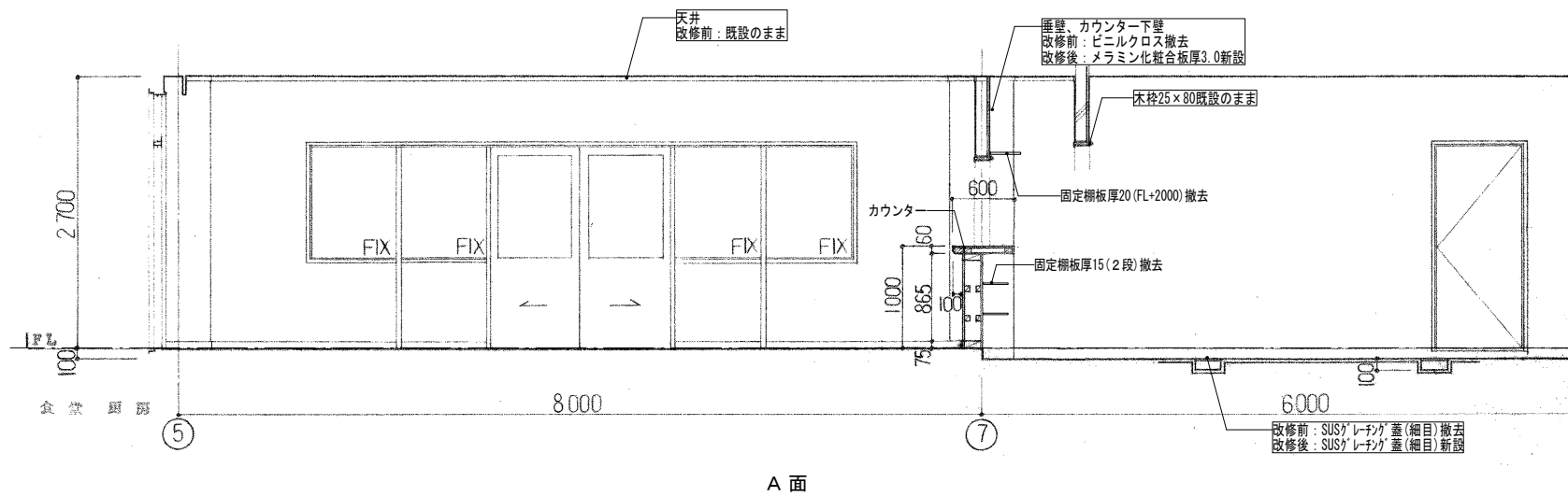
1	天板	SUS430	厚さ1.0mm	No.4仕上
2	本体フレーム	SUS430	Lアングル	30×30×厚さ3mm
3	脚	SUS430	丸パイプ	φ38mm No.4仕上
4	スノコ	SUS430	厚さ1.0mm	No.4仕上 脱着式平棚
5	脚枠	SUS430	丸パイプ	φ32mm No.4仕上
6	脚先	SUS304	アジャスト	
7	前柱	SUS430	厚さ1.0mm	No.4仕上
8	後柱	SUS430	厚さ1.0mm	No.4仕上
9	ホテルバンレール	SUS430	厚さ1.2mm	No.4仕上 7段
10	扉	SUS430	厚さ0.8mm	No.4仕上
11	折り取り手	SUS430	厚さ0.8mm	No.4仕上
12	化粧パネル	SUS430	厚さ0.8mm	No.4仕上
スレ止め金具		SUS430	t1.2mm	※付属品 強力型面テープ
奥左		部品番号	A5-BL-B	手前右 部品番号 A5-BR-B



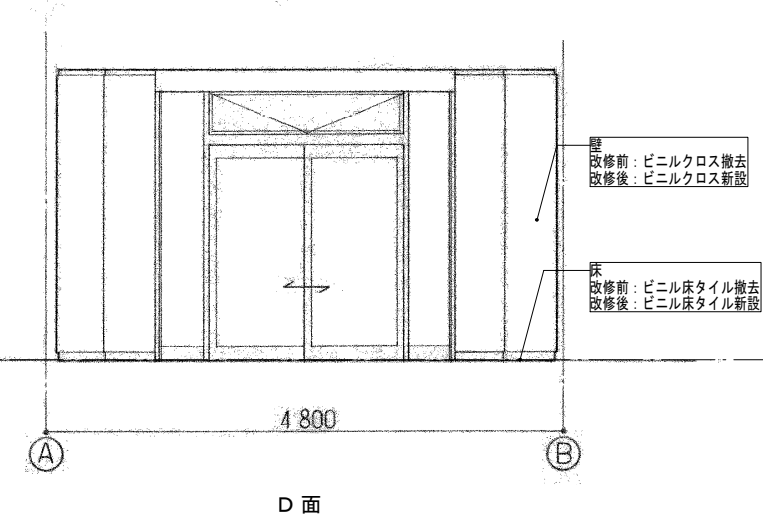
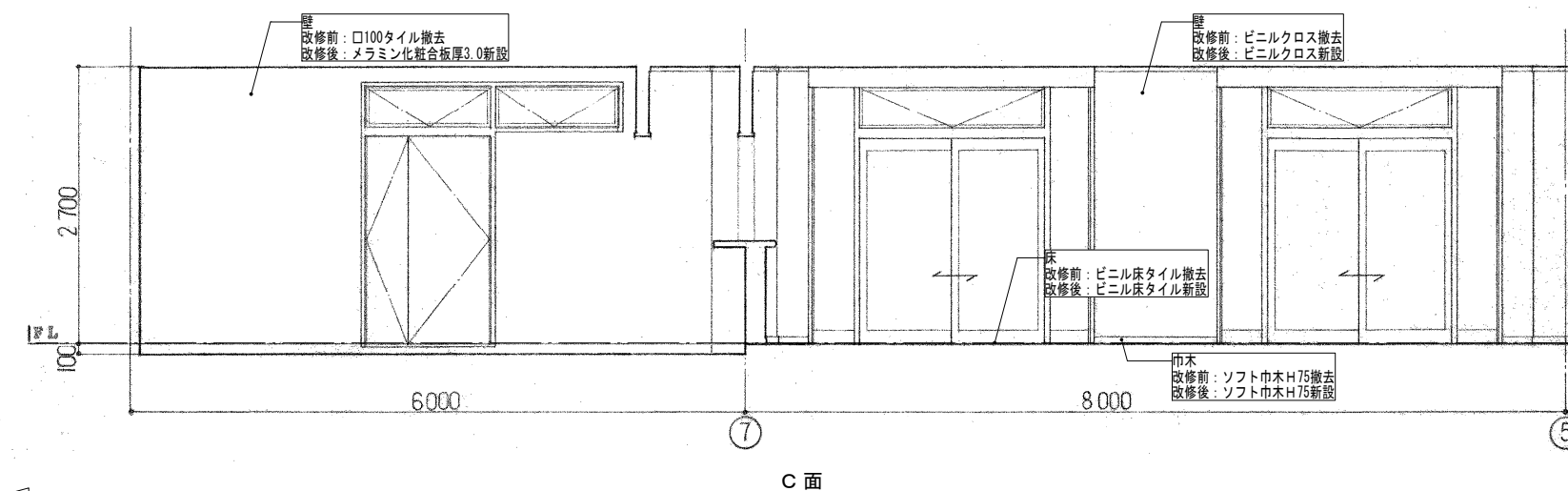
5段用（扉付仕様）、ホテルバン1列

※スチームコンベクションオープン型の背面に40mmのクリアランスが取れるようにサイズを設定しています。

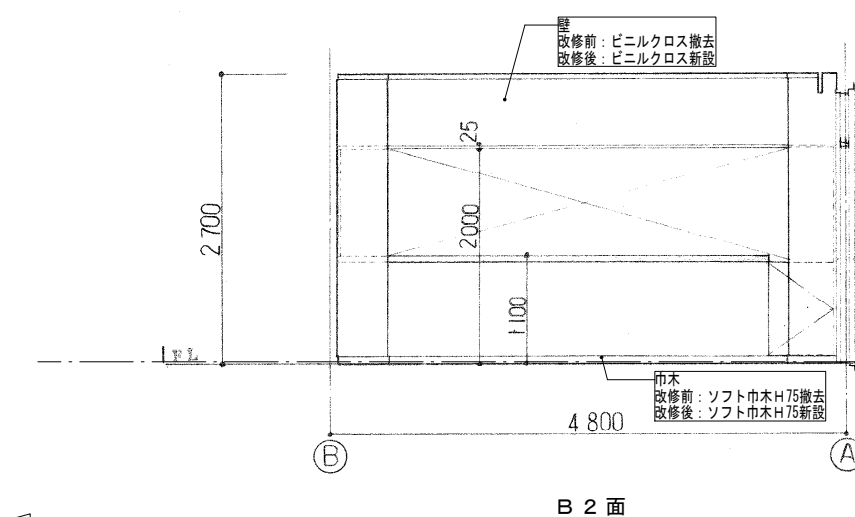
	縮尺 1/20			品名 5段用 スチコン架台（扉付仕様）	形式 HMC-5D-ASC	寸法 W: 785 D: 600 H: 800 ※W:750≧785に統一して幅を減らした	



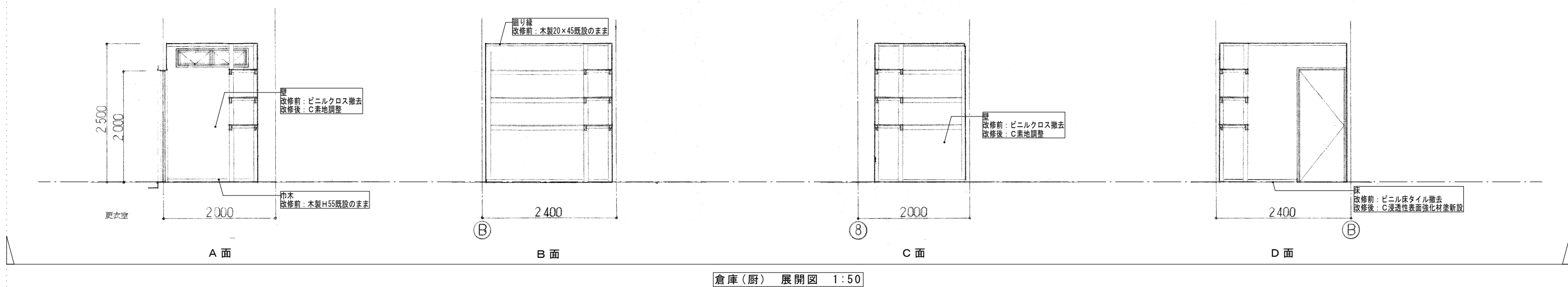
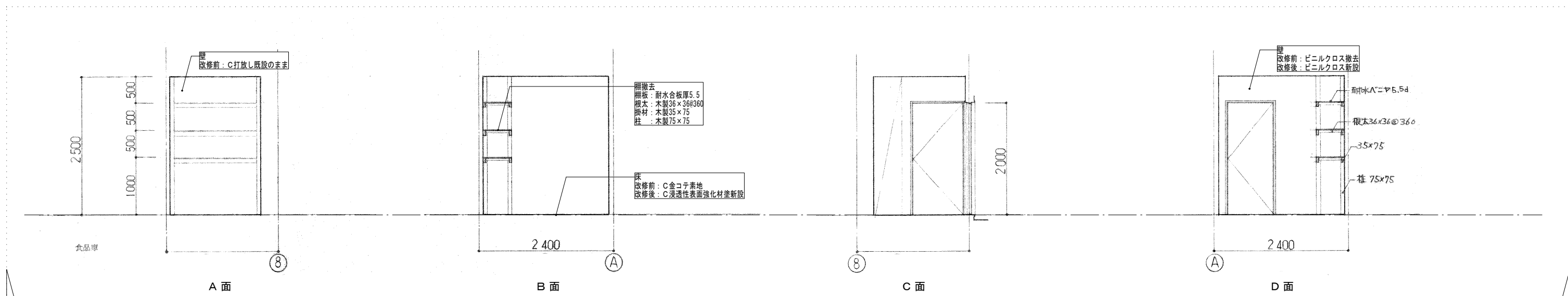
食堂・厨房 展開図 1:50

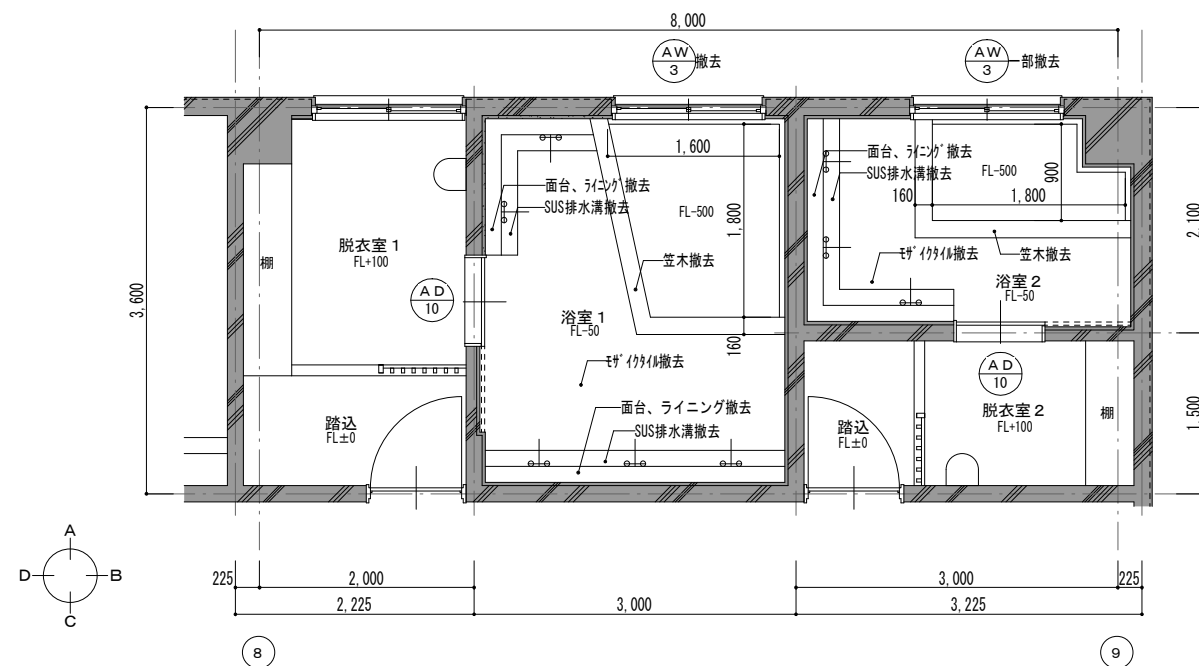


食堂・厨房 展開図 1:50

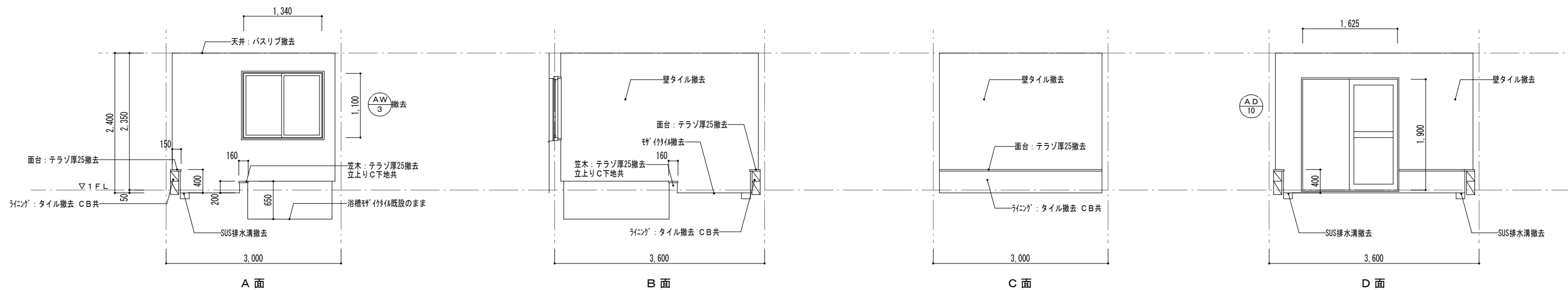


食堂・厨房 展開図 1:50

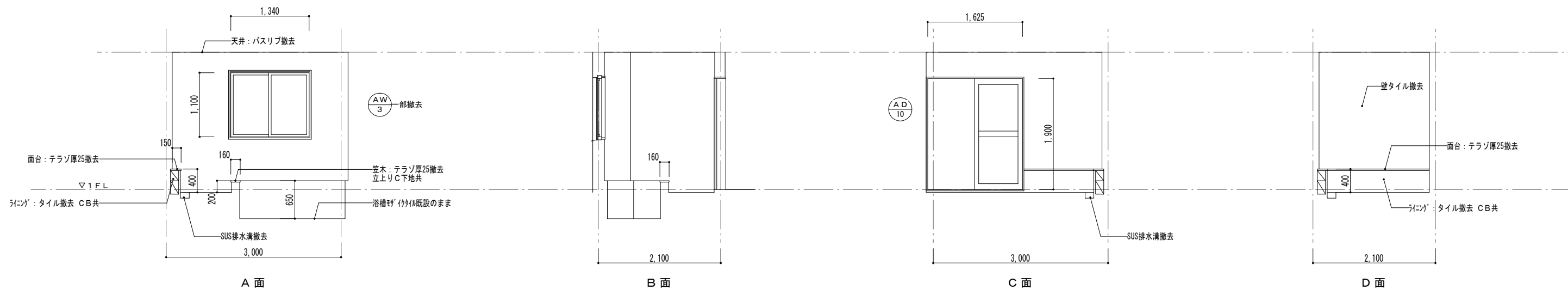




平面図(改修前) 1:50

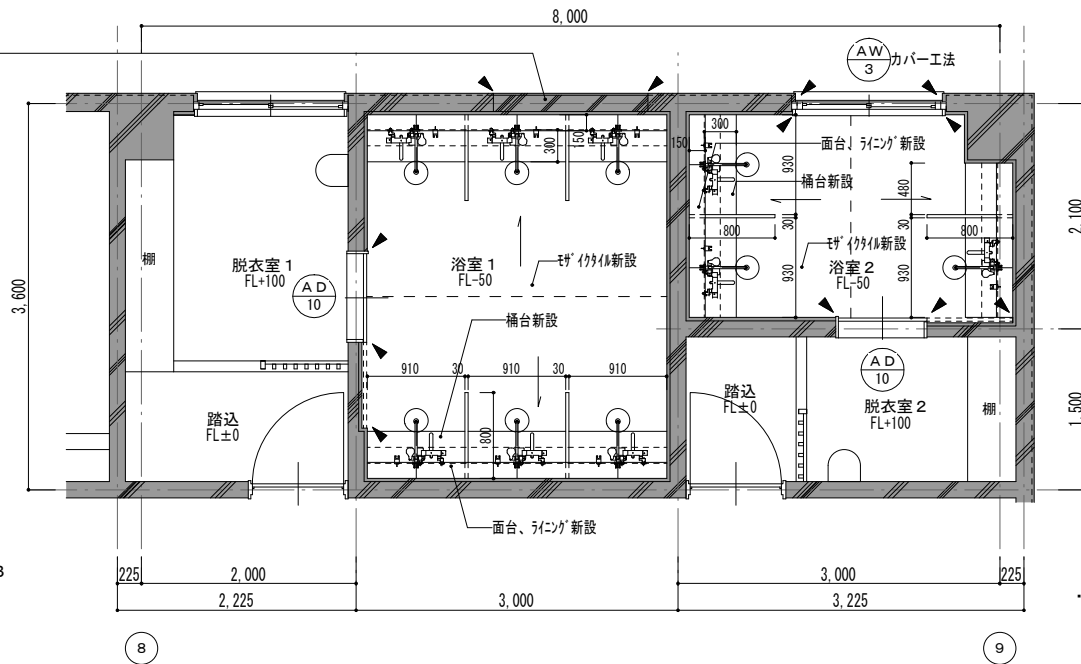
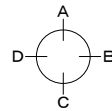


浴室1展開図(改修前) 1:50



浴室2展開図(改修前) 1:50

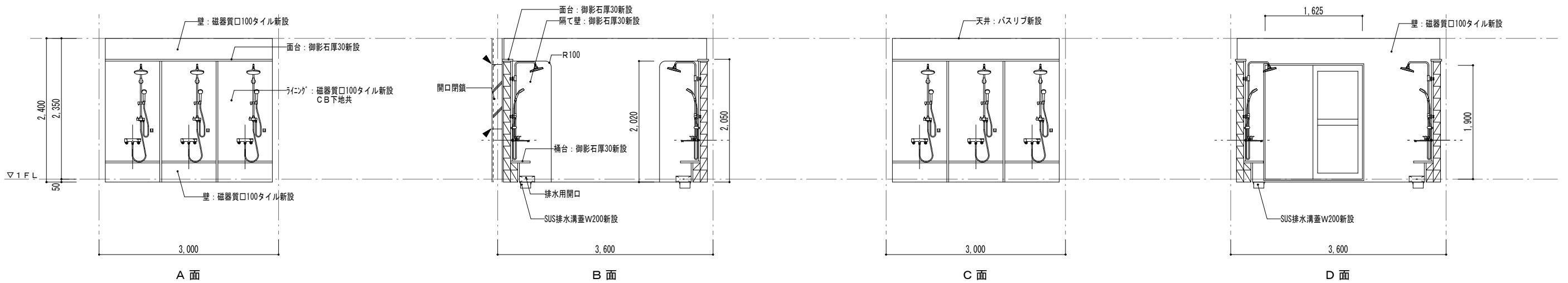
開口閉鎖
あと施工アンカー(接着系) D10@300
D10@200タテヨコシングル
外部側: 複層塗材E C打放し



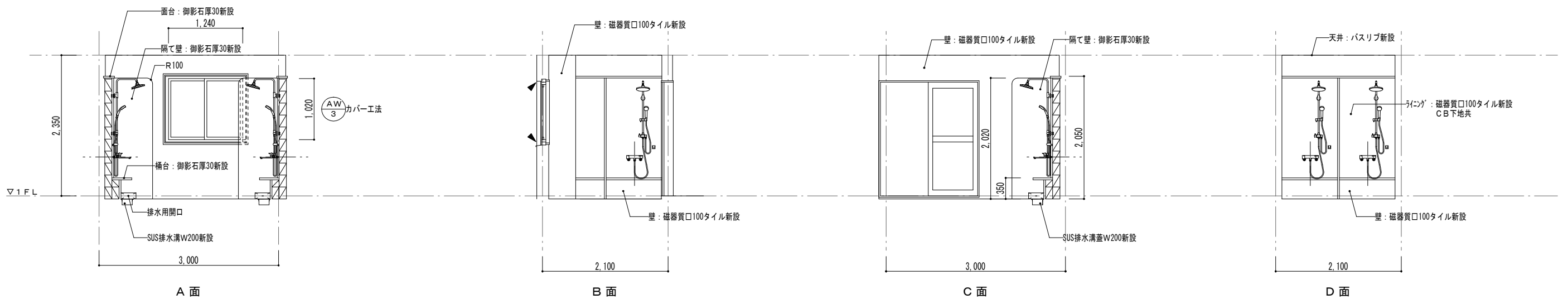
建具表

記号・場所・数量	AW3カバー工法 浴室2	1
見込・形式	70 アルミ製引違い窓	
材質・塗装	アルミ	
ガラス部	複層(フロート厚3.0+A12+型ガラス厚4.0)	
金物	付属金物一式	
備考	スリガラス調シート	

平面図(改修後) 1:50

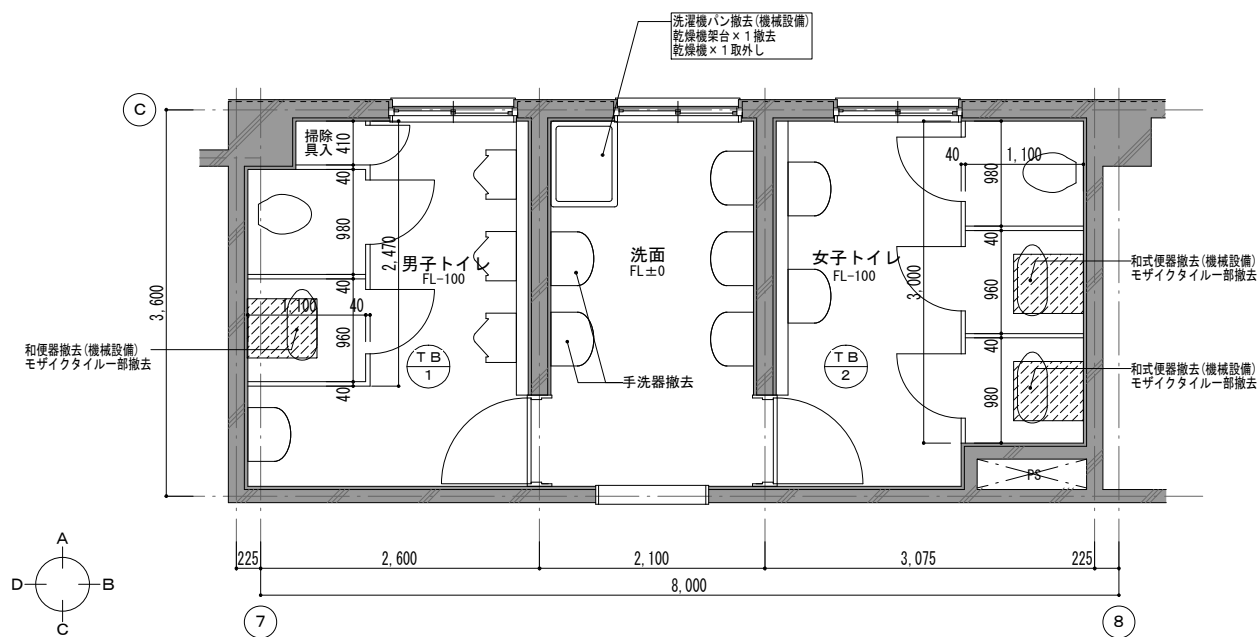


浴室1展開図(改修後) 1:50



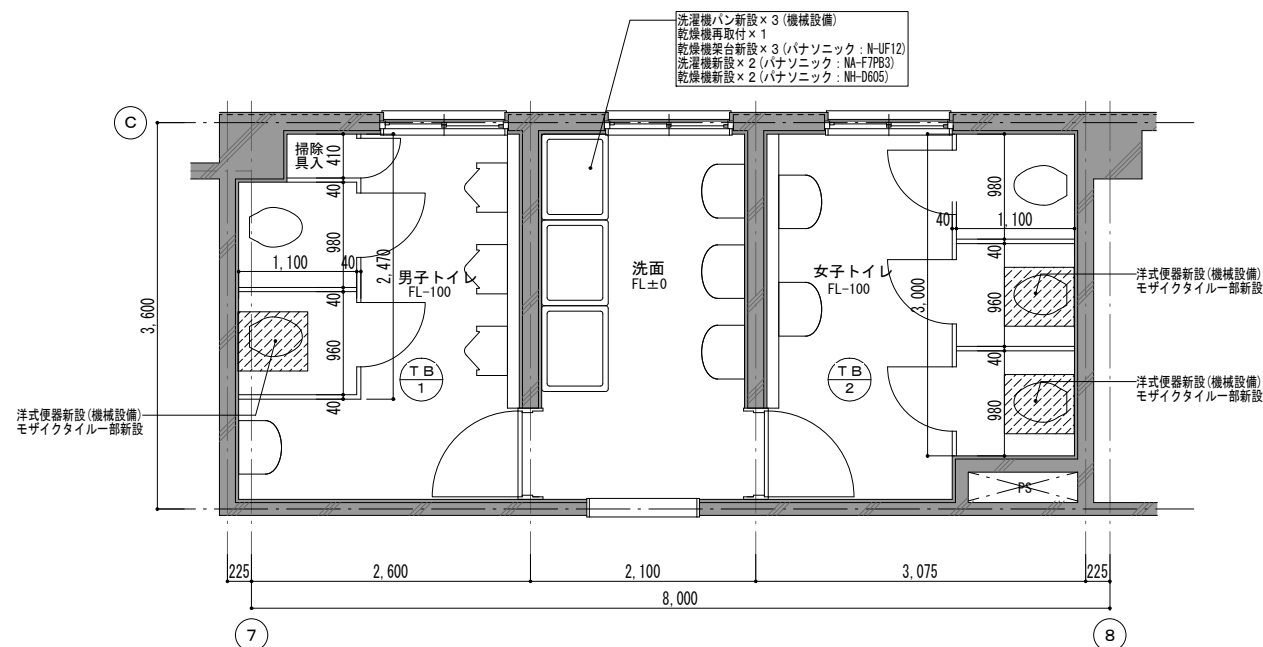
浴室2展開図(改修後) 1:50



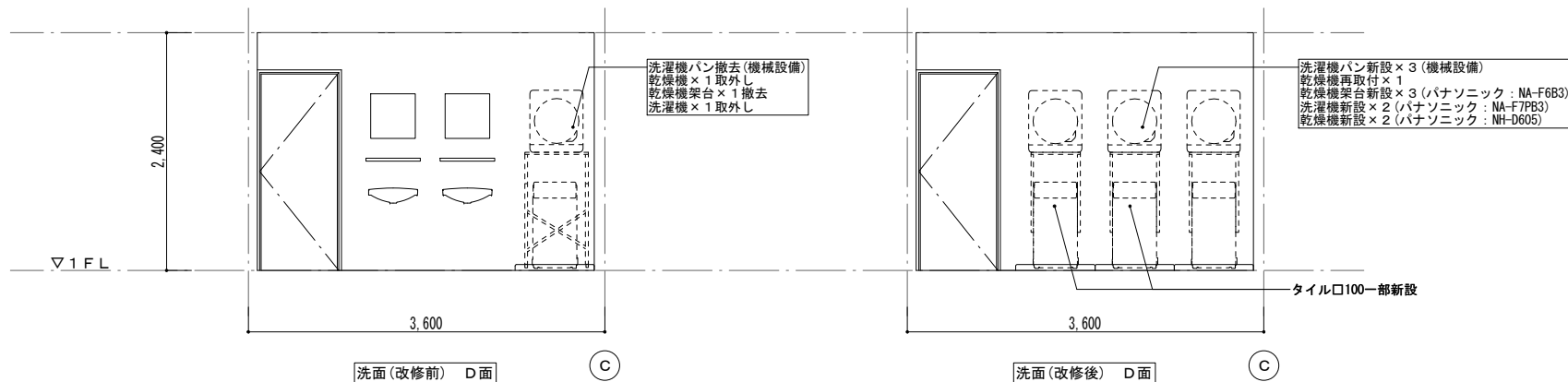
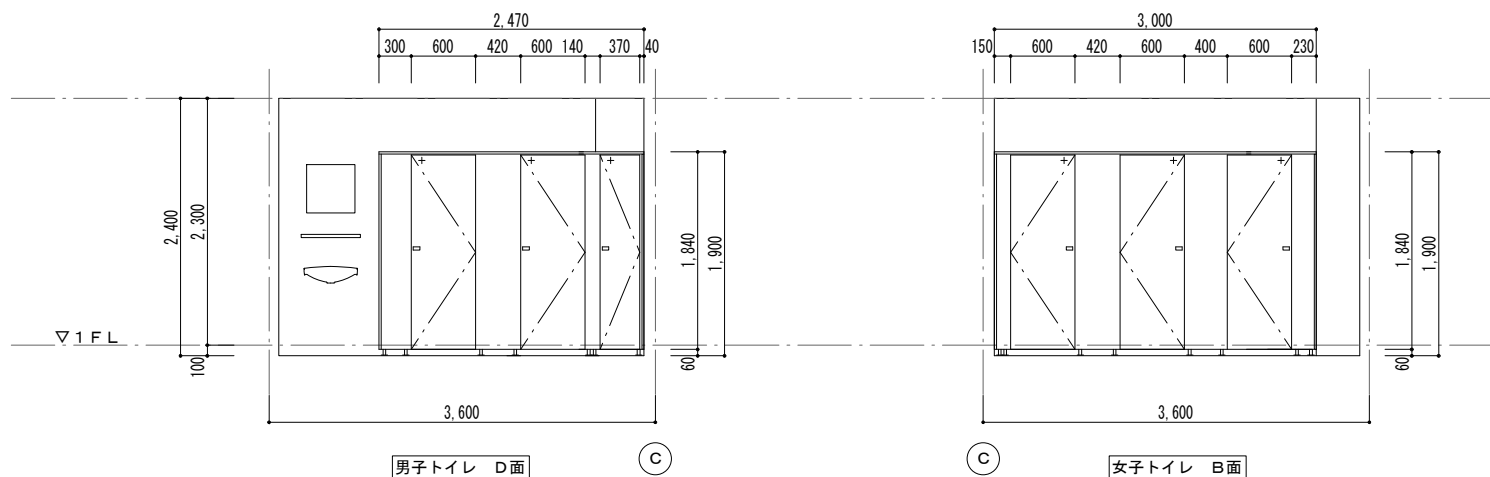


1、2階平面図(改修前) 1:50

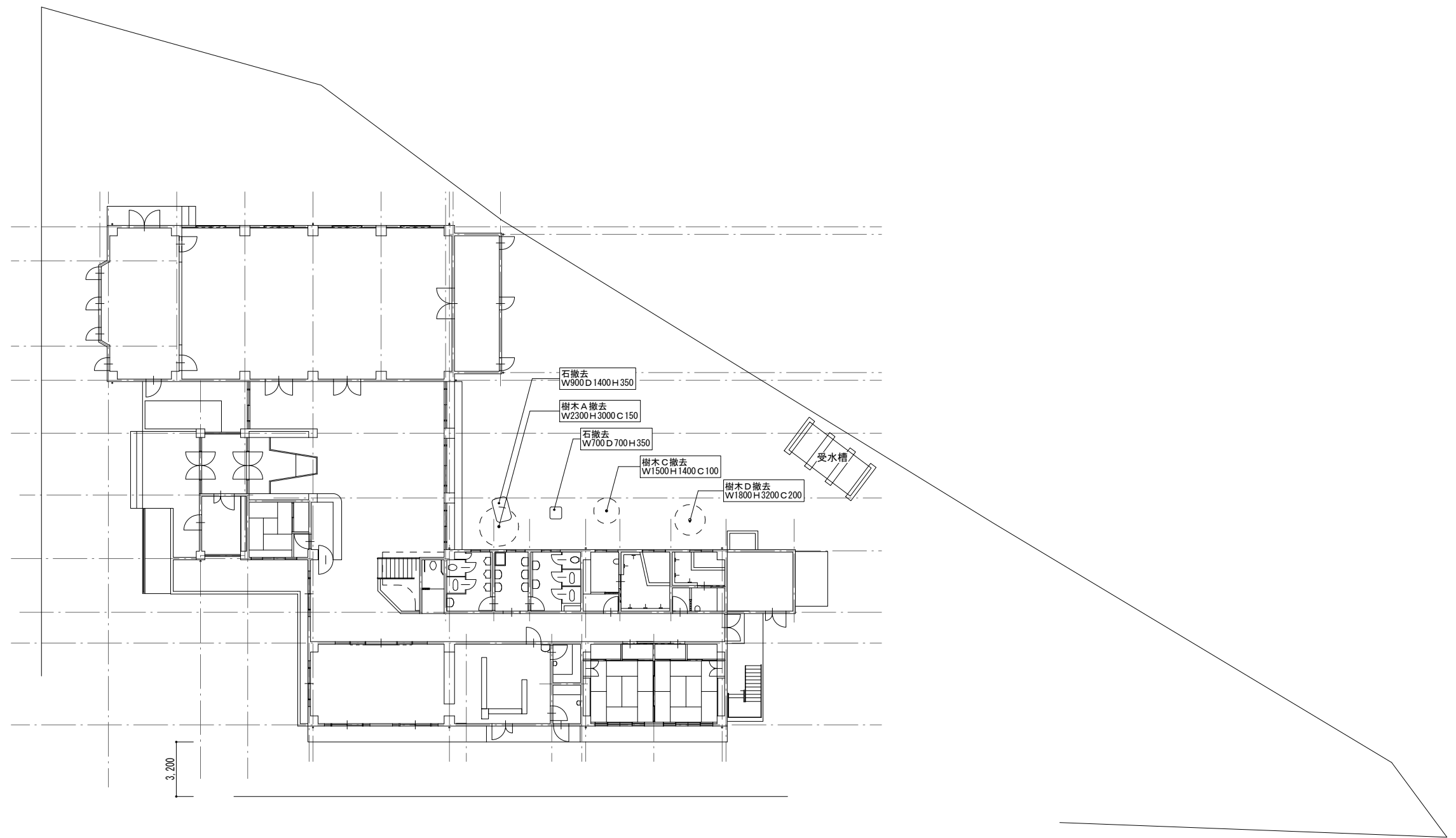
※1階と2階で洋式便器・和式便器の配置が異なる(別紙全体平面図を参照)



1、2階平面図(改修後) 1:50

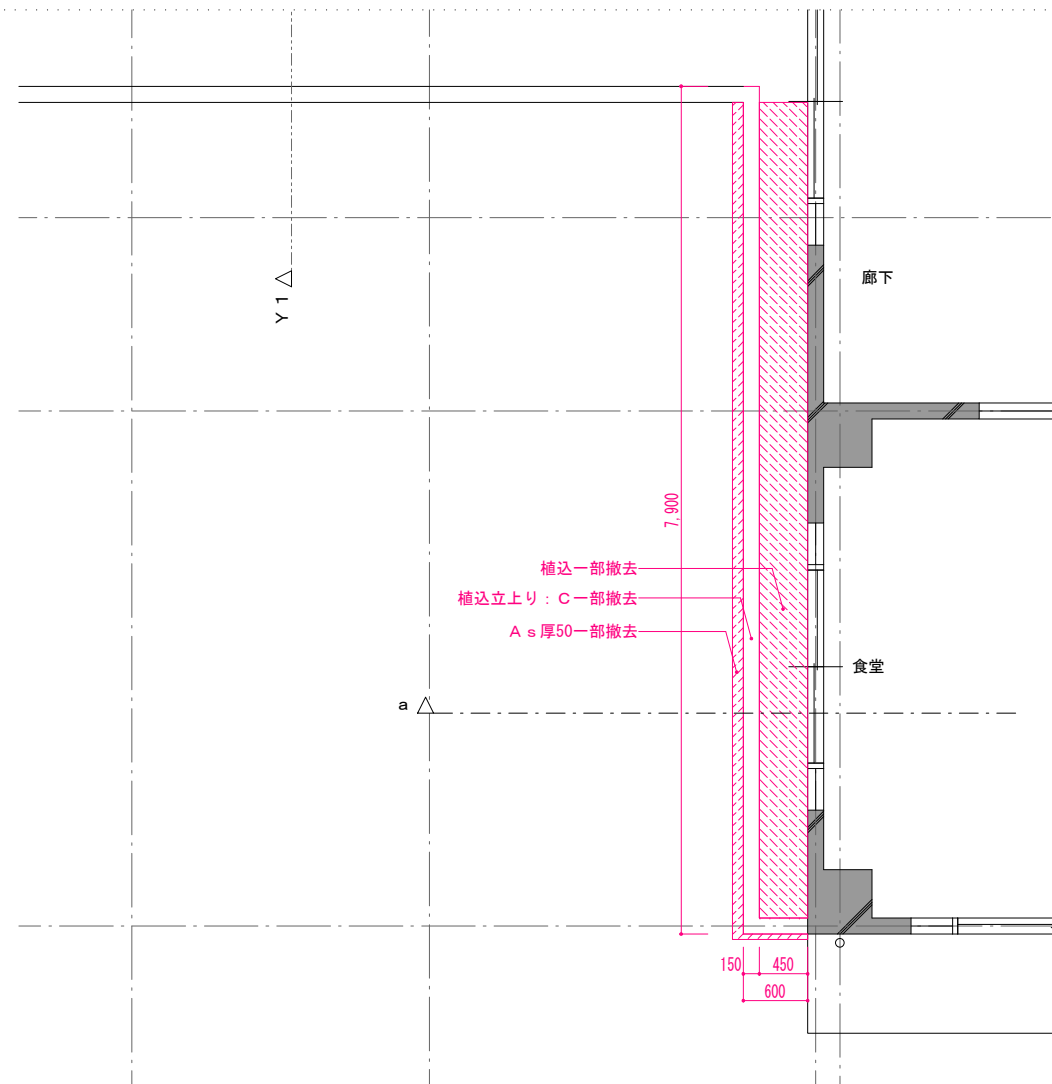


展開図 1:50

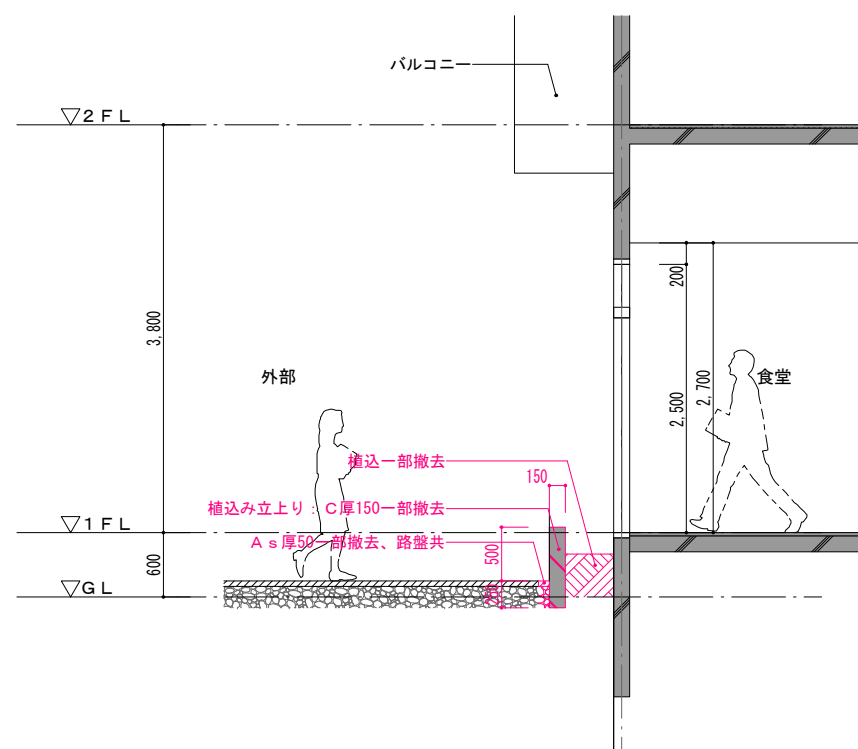


配置図 1:200

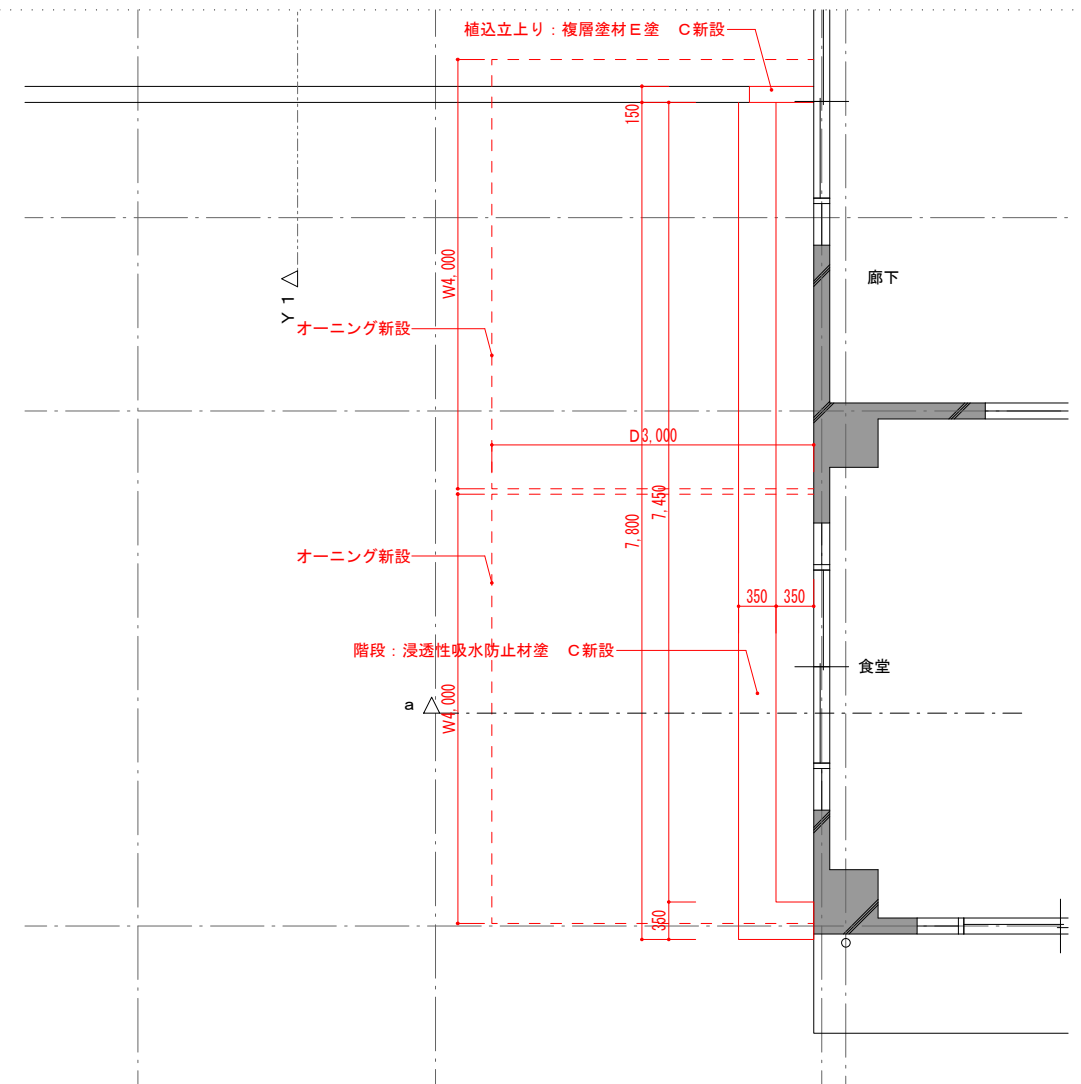




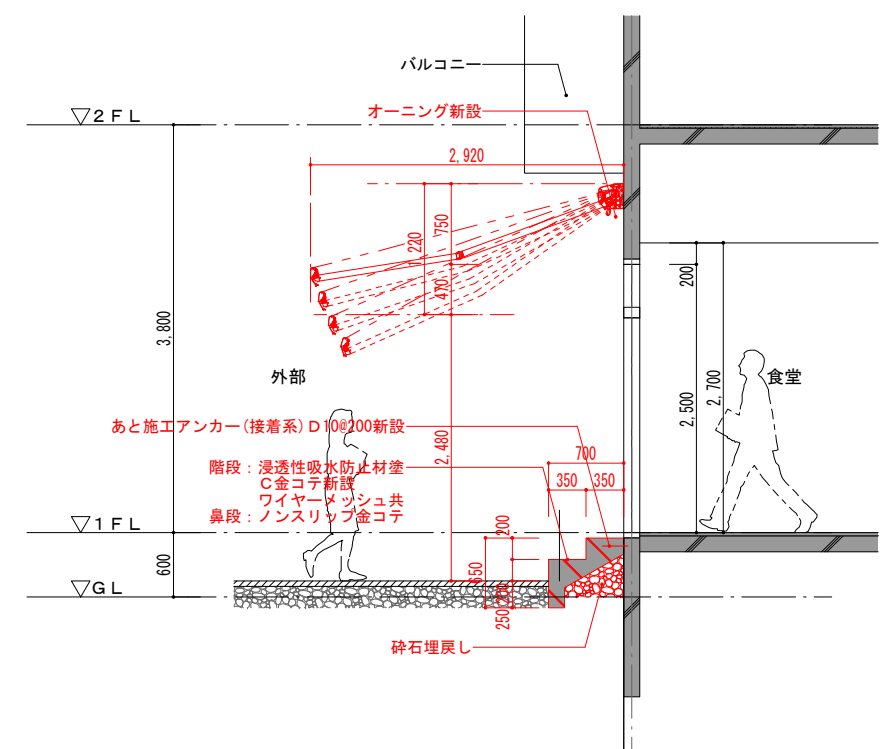
外構 平面図(改修前) 1:50



a断面図(改修前) 1:50



外構 平面図(改修後) 1:50



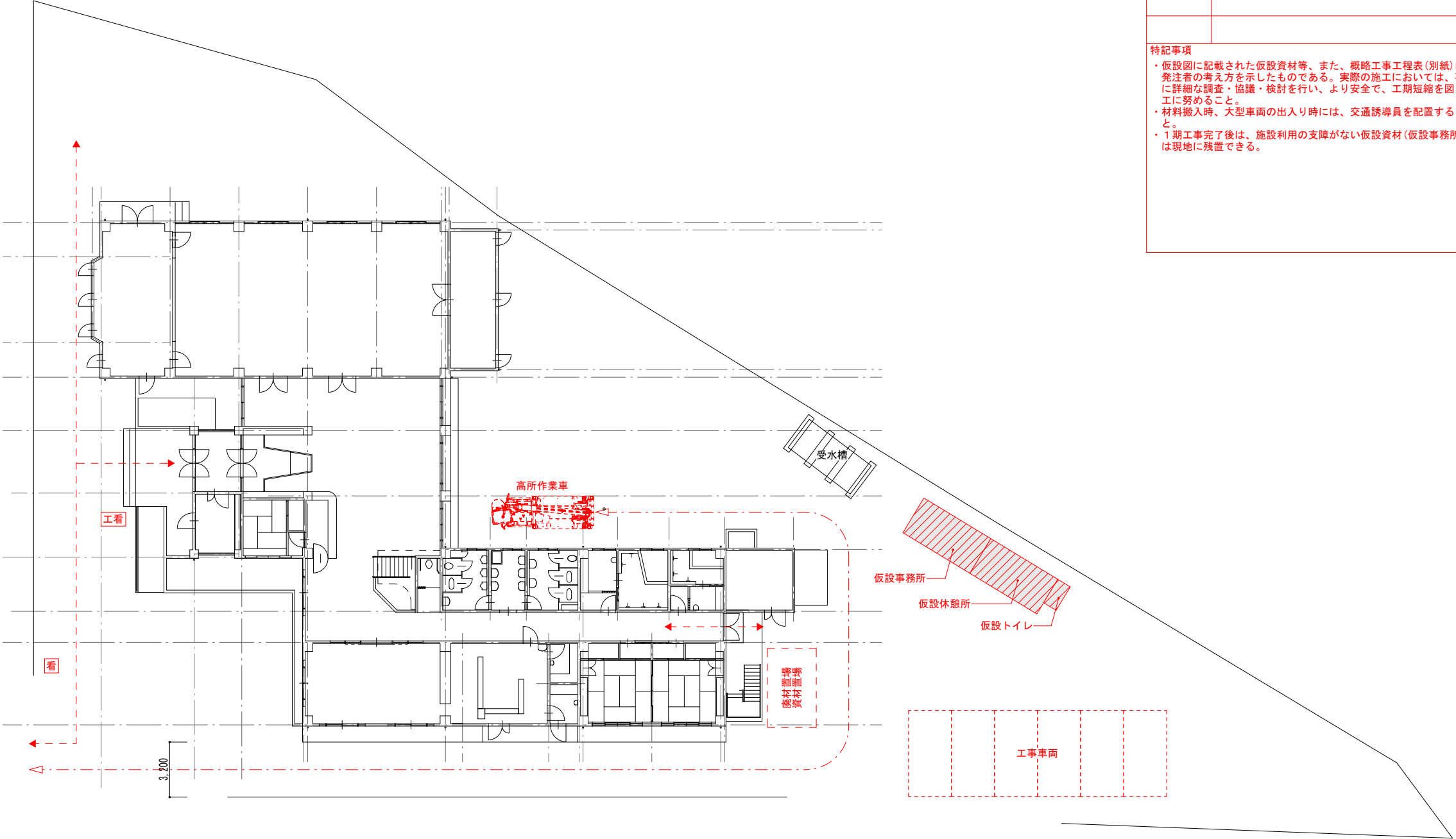
a断面図(改修後) 1:50

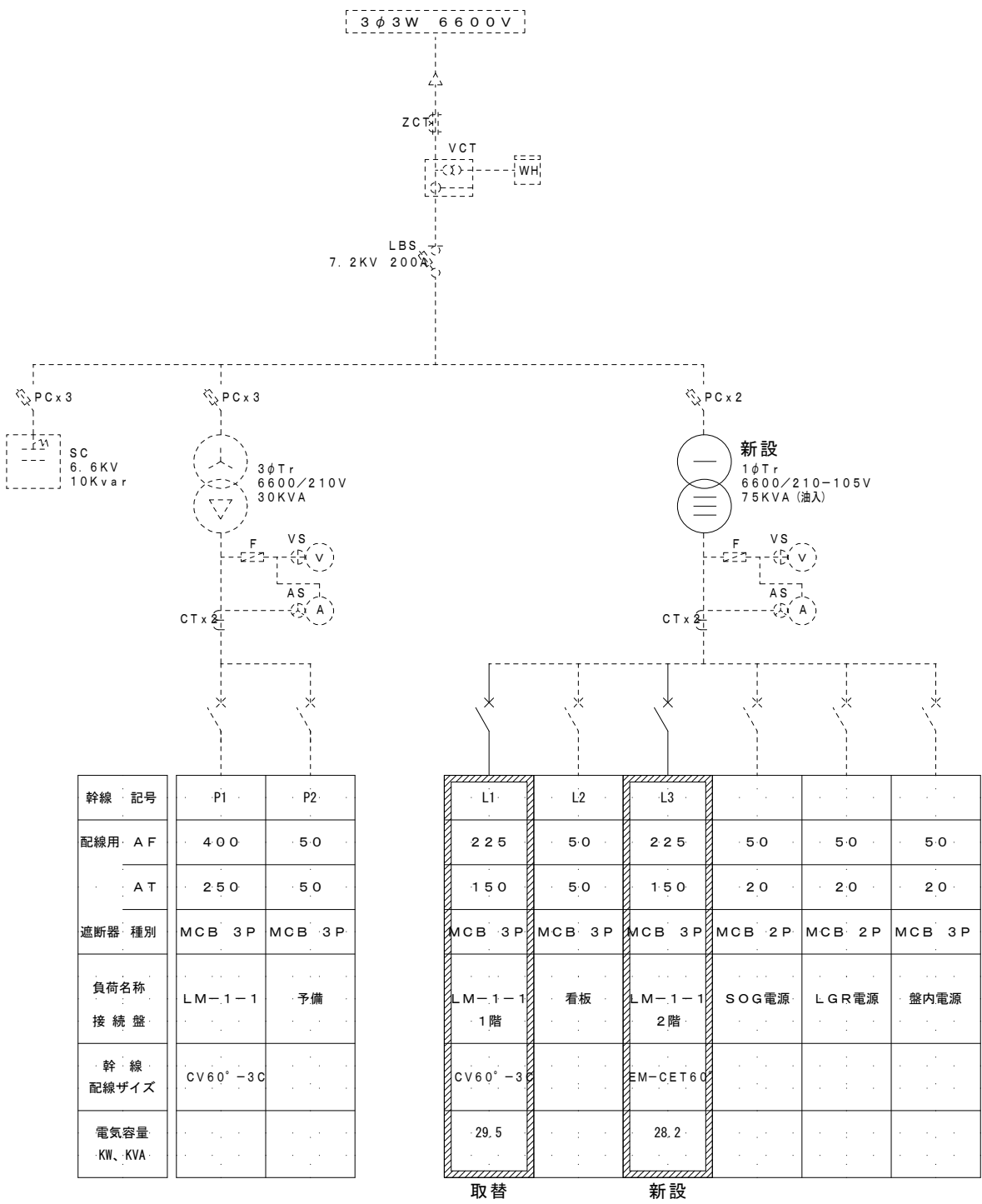
凡例

⇐ - - -	動線：工事関係進入経路
← - - -	動線：施設利用者
—仮—	バリケードH1800程度
———	カラーコーン、コーンバー
⑧	誘導員(臨時)
看	工事中協力用看板
工看	工事用看板

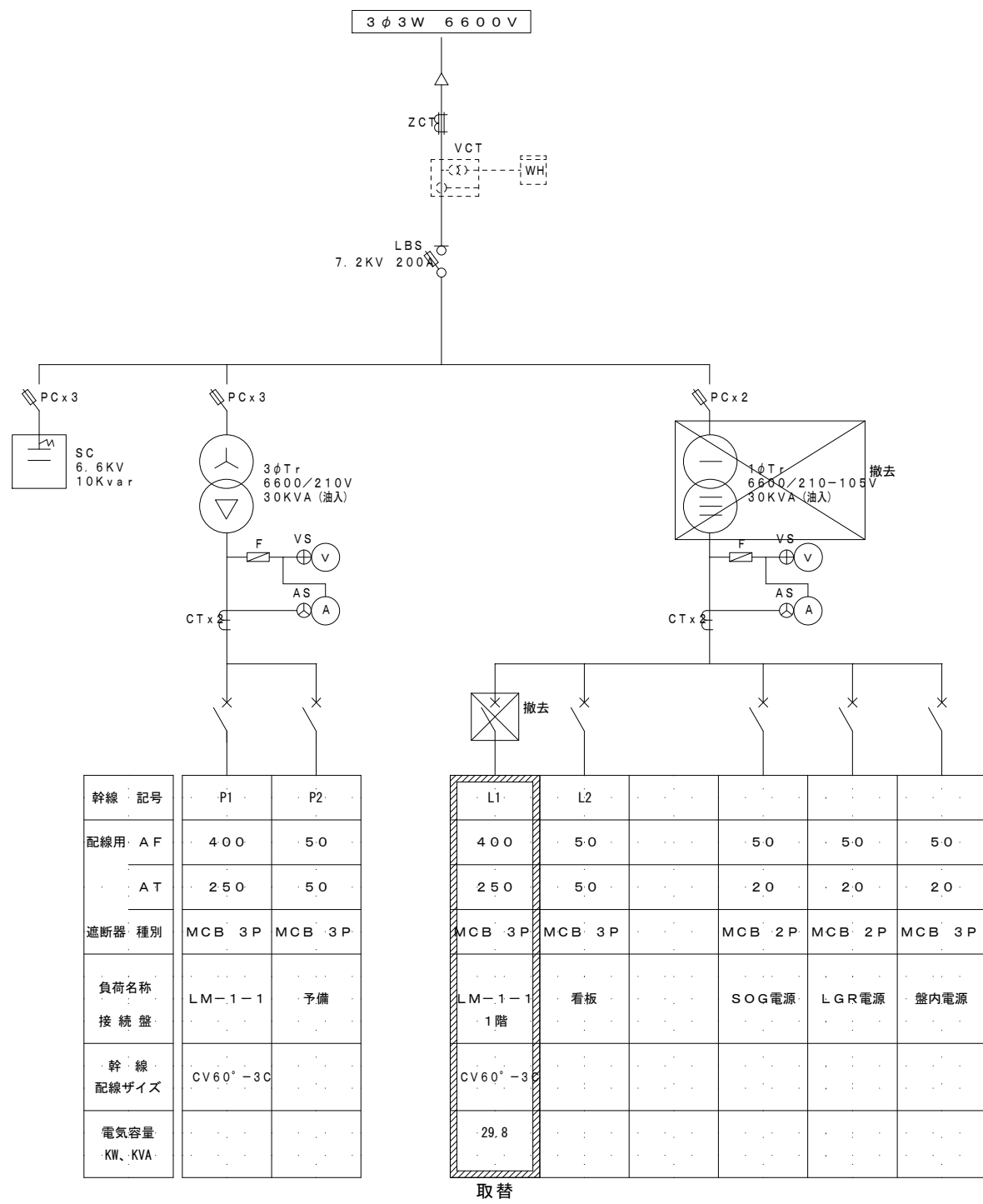
特記事項

- ・仮設図に記載された仮設資材等、また、概略工事工程表(別紙)は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全で、工期短縮を図る施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- ・1期工事完了後は、施設利用の支障がない仮設資材(仮設事務所等)は現地に残置できる。

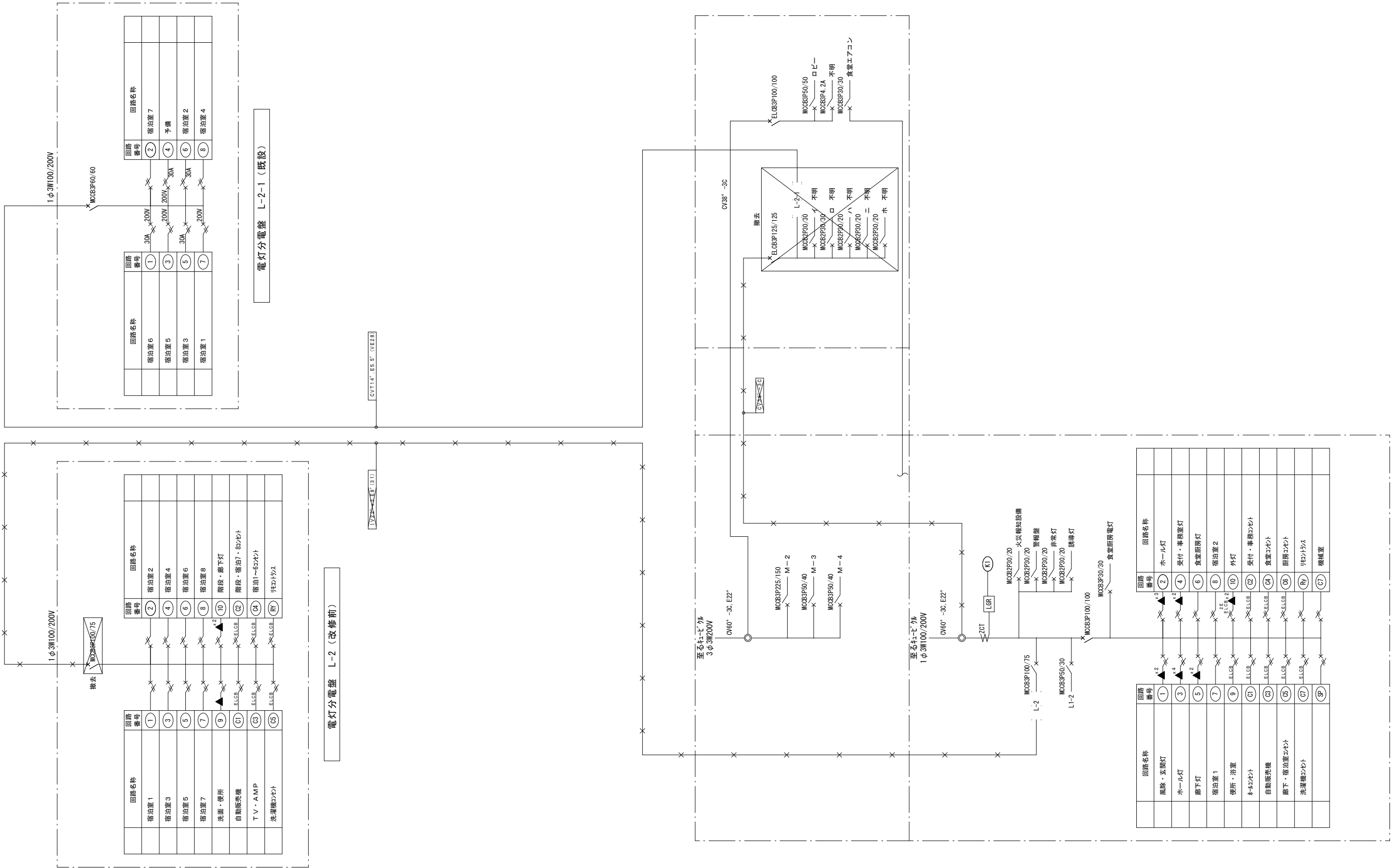


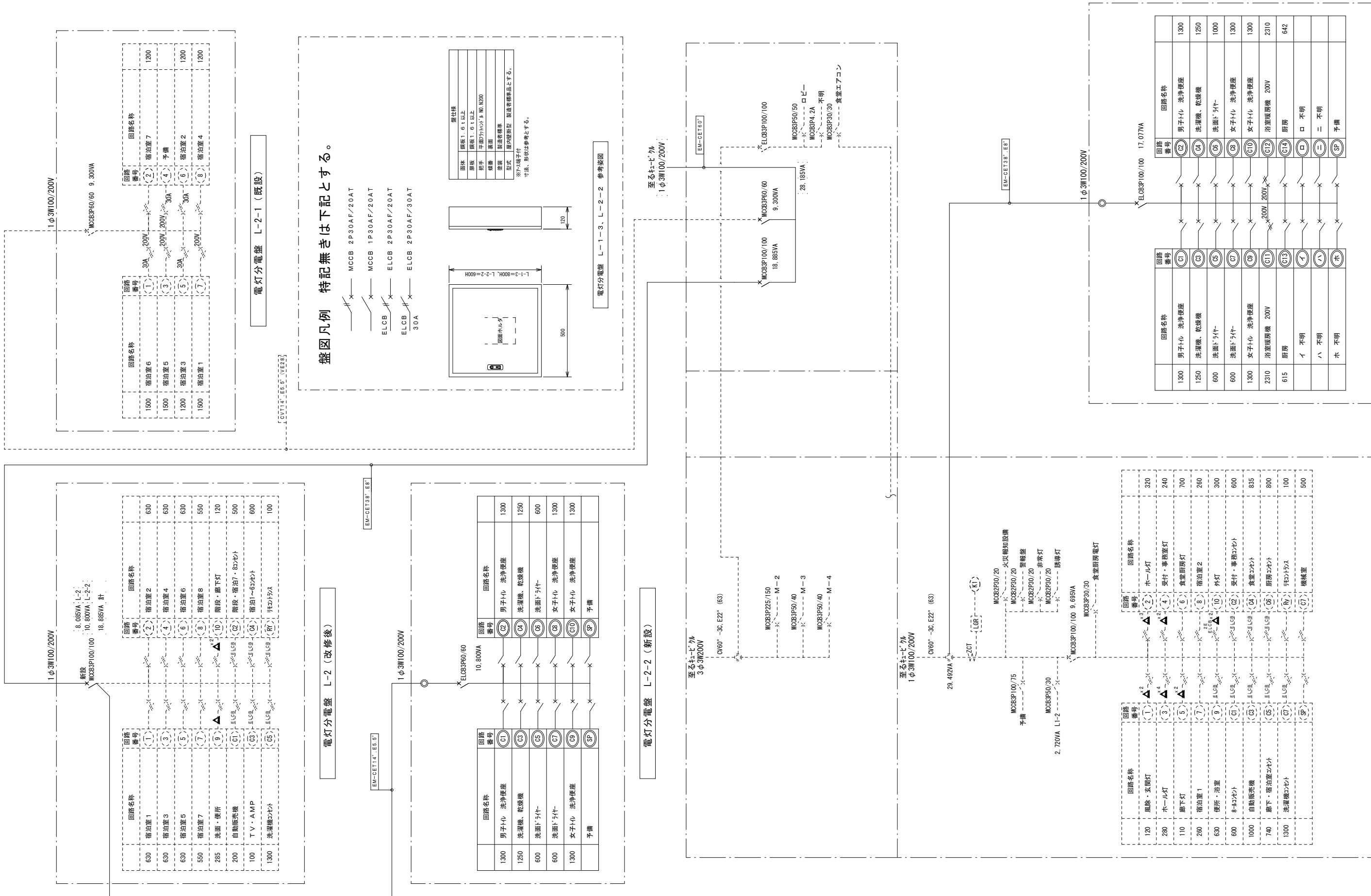


高圧受電設備 結線図(改修後)



高圧受電設備 結線図(改修前)

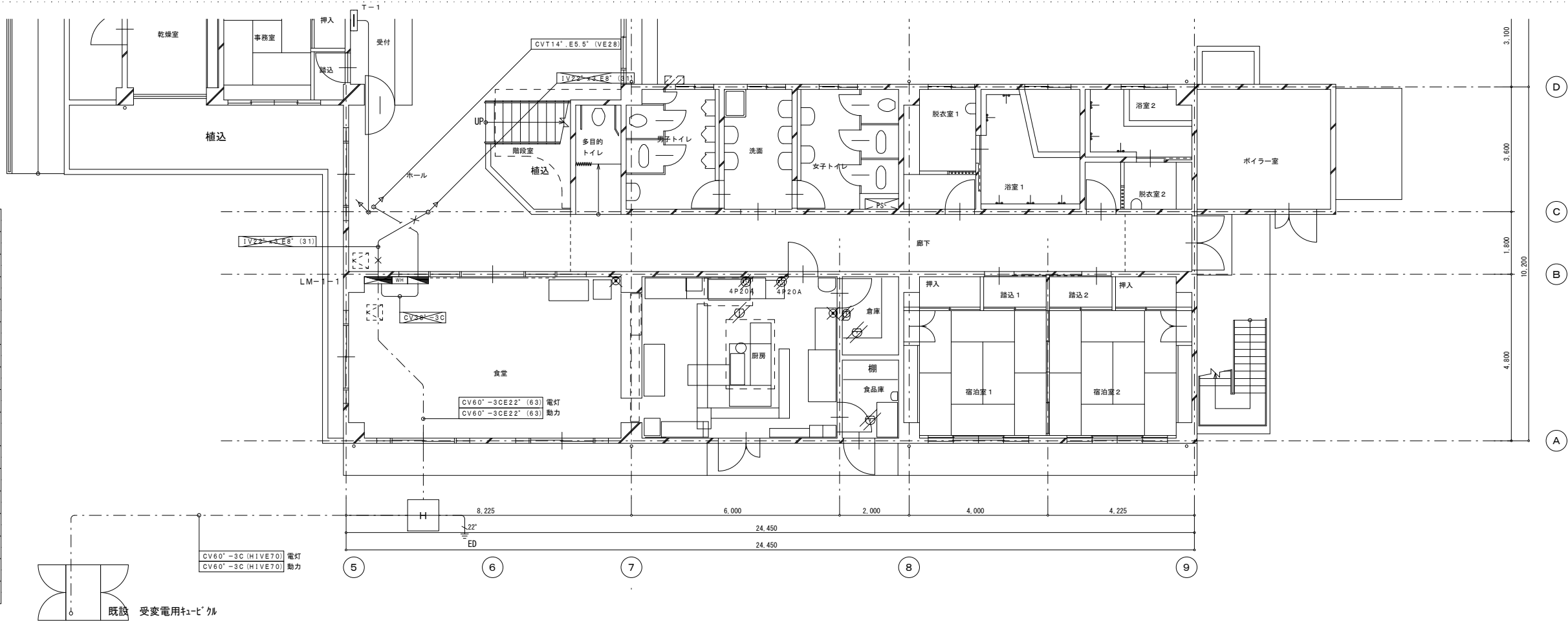




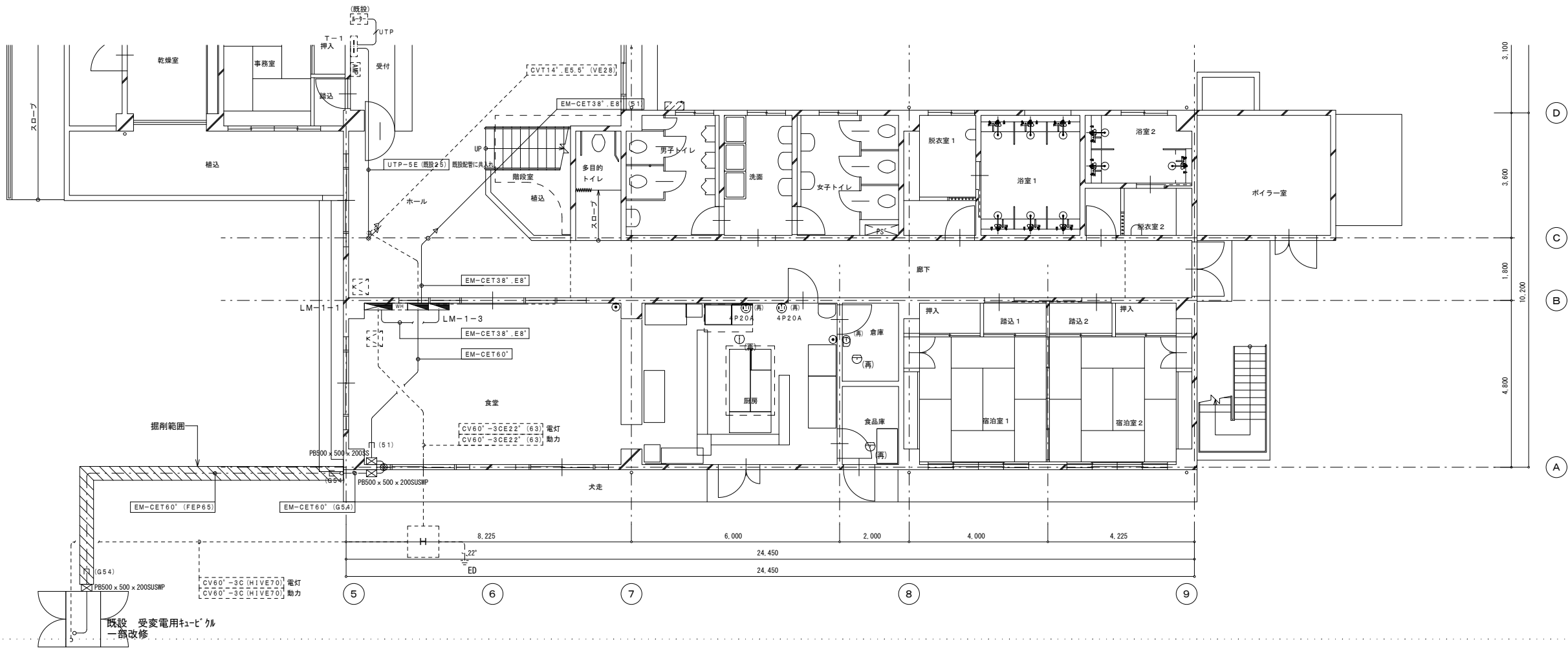
凡 例

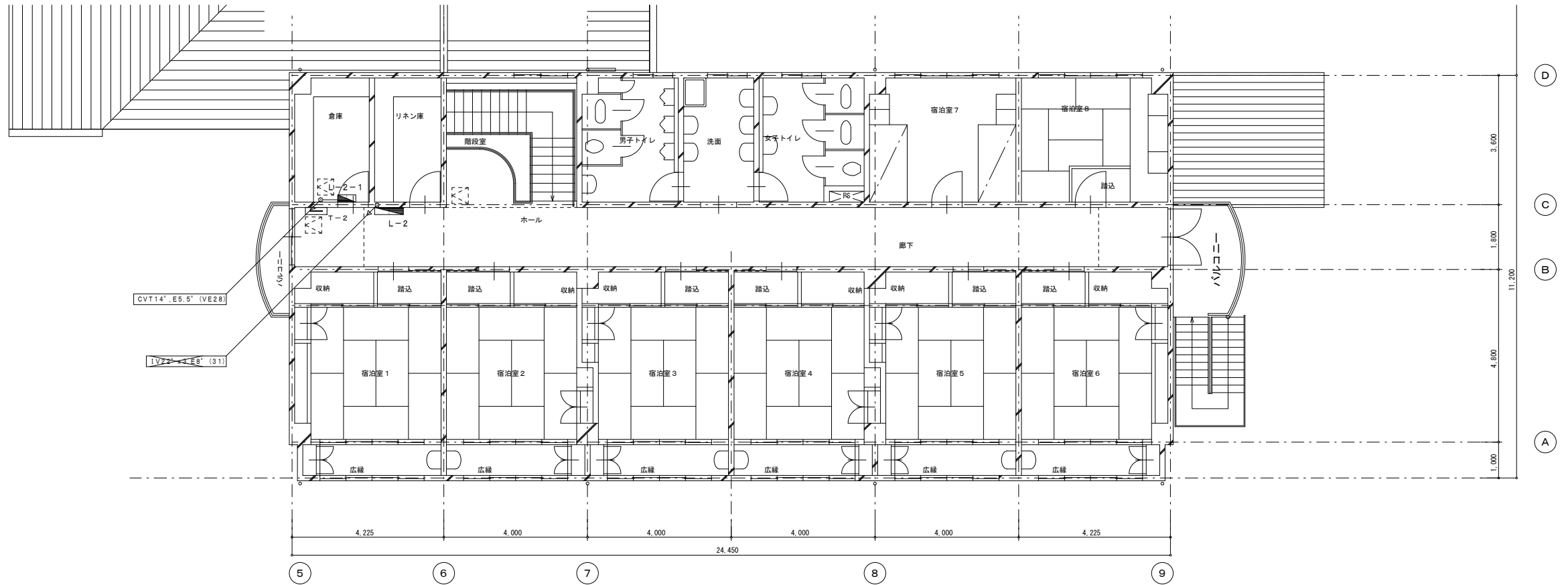
記 号	品 名
	電灯分電盤
	電灯動力分電盤
	コンレト 4P20A
	電話設備
	電話受け口
	電話機
	情報設備
	既設ルーター
	Wi-Fiアクセシビリティ 参考：パナソニック WAPS-1266
	放送設備
	スポット型感知器 差動式 2種 露出型
	スポット型感知器 定温式 1種 露出型 防水型
	取外しを示す。(再使用あり)
	撤去を示す。(再使用なし)
	取外し品再取付を示す。
※改修後の図中点線は既設を示す。	

1階平面図(改修前) 1:100

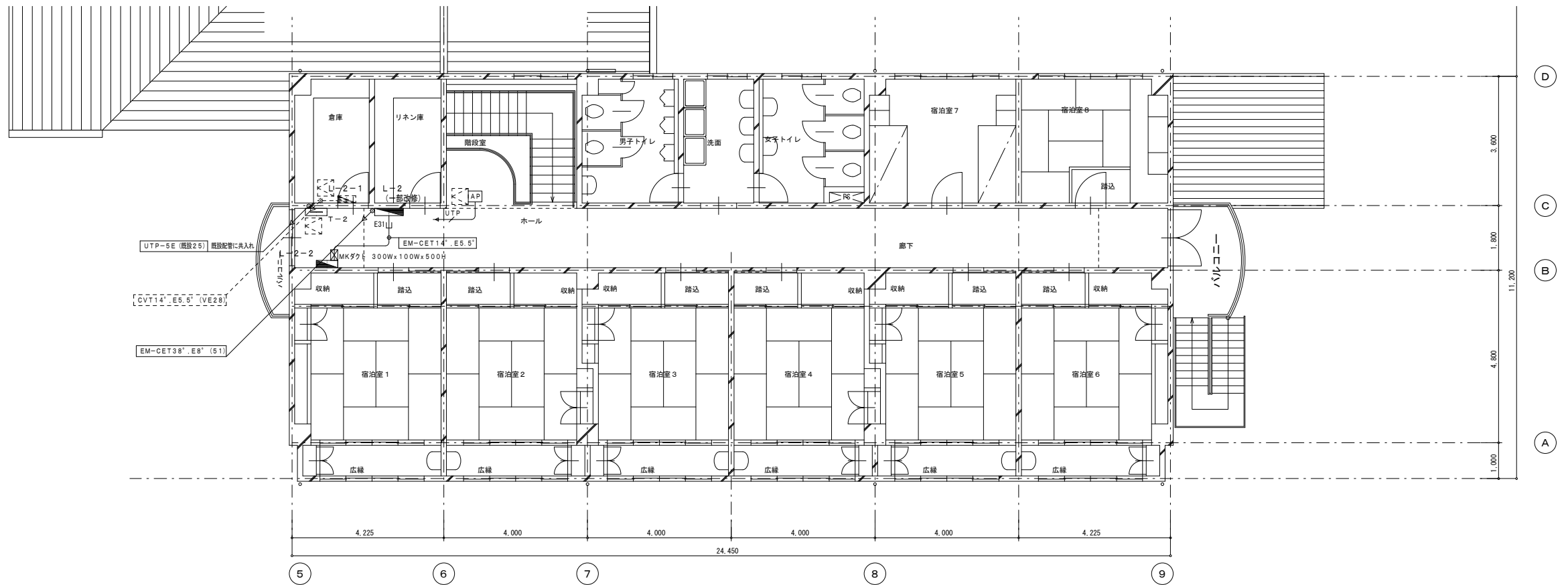


1階平面図(改修後) 1:100





2階平面図(改修前) 1:100



2階平面図(改修後) 1:100

凡 例

洗面		
LED灯1260x200未満 天井直付	1	取外
LED7'ラケット390x320未満	2	取外、保管

脱衣室 1		
LED灯1260x200未満 天井直付	1	取外

浴室 2		
LED灯1260x200以上 天井直付	1	取外
LED7'ラケット390x320未満	2	取外、保管

男子トイレ		
LED灯1260x200以上 天井直付	1	取外

女子トイレ		
LED灯1260x200以上 天井直付	1	取外

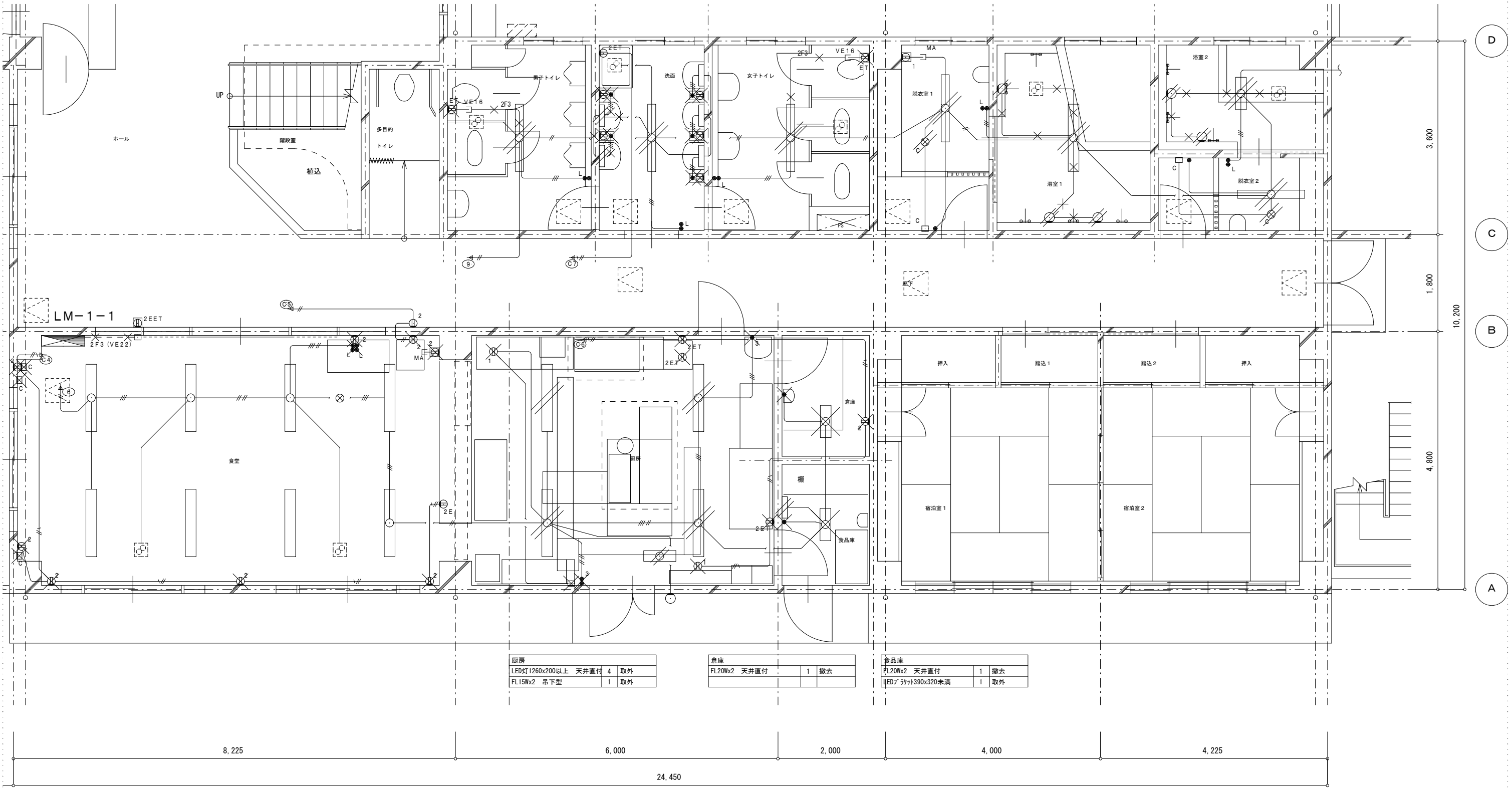
浴室 1		
LED灯1260x200以上 天井直付	1	取外
LED7'ラケット390x320未満	3	取外、保管

脱衣室 2		
LED灯1260x200未満 天井直付	1	取外

厨房		
LED灯1260x200以上 天井直付	4	取外
FL15Wx2 吊下型	1	取外

倉庫		
FL20Wx2 天井直付	1	撤去

食品庫		
FL20Wx2 天井直付	1	撤去
LED7'ラケット390x320未満	1	取外



5 6 7 8 9

1階平面図(改修前) 1:50

洗面			
LED灯1260x200未満	天井直付	1	再取付

脱衣室1			
LED灯1260x200未満	天井直付	1	再取付

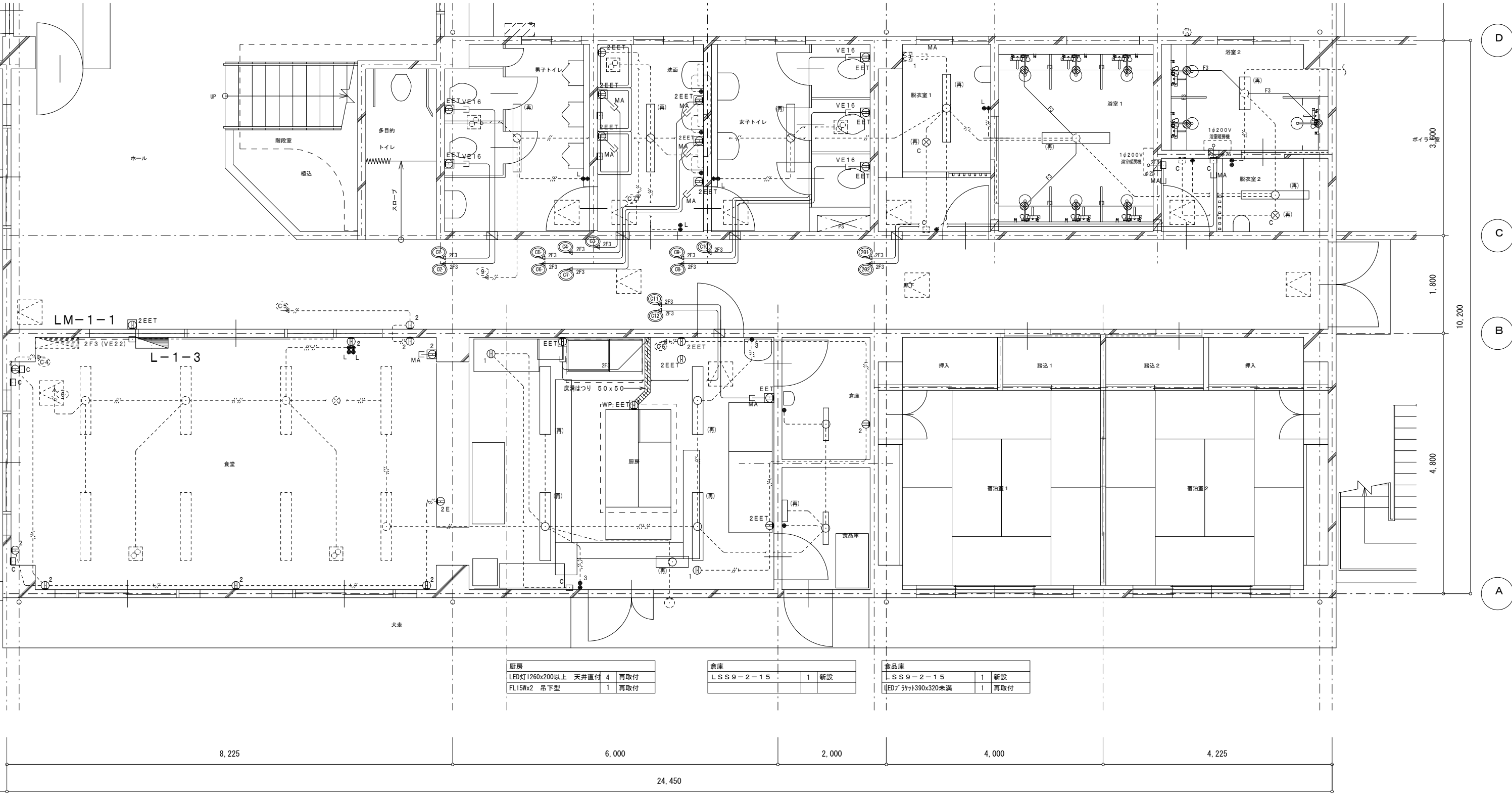
浴室2			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付
SP-1		3	新設

男子トイレ			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付

女子トイレ			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付

浴室1			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付
SP-1		6	新設

脱衣室2			
LED灯1260x200未満	天井直付	1	再取付



厨房			
LED灯1260x200以上	天井直付	4	再取付
FL15Wx2	吊下型	1	再取付

倉庫			
LSS9-2-15		1	新設

食品庫			
LSS9-2-15		1	新設
LED7' 390x320未満		1	再取付

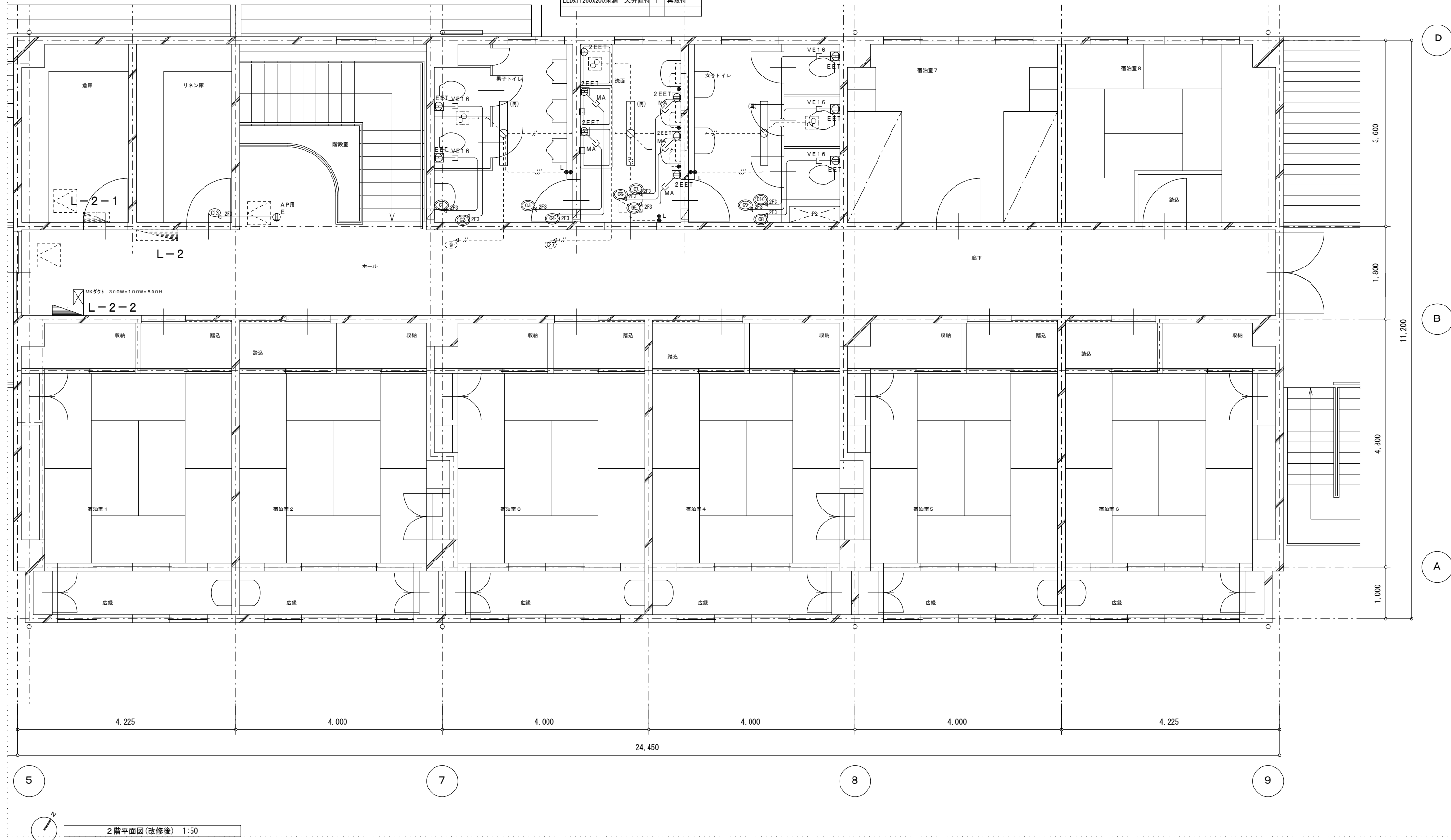
5 6 7 8 9

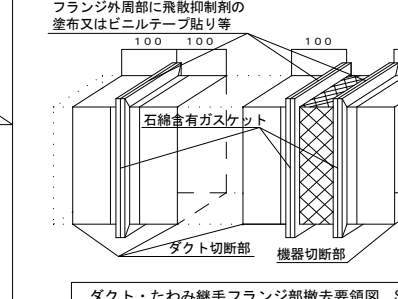
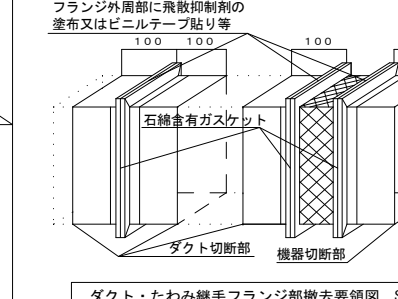
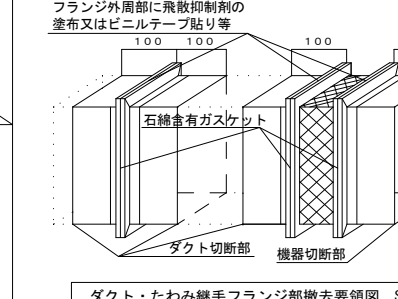
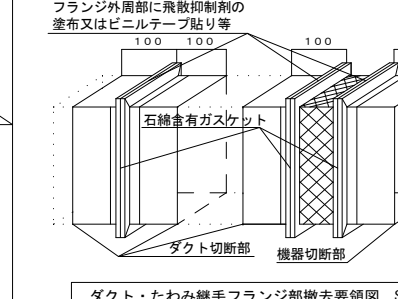
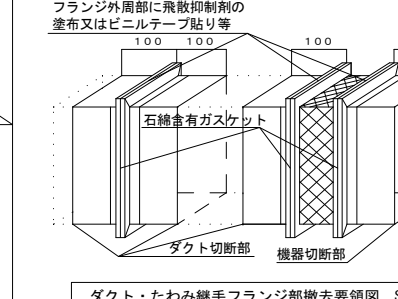
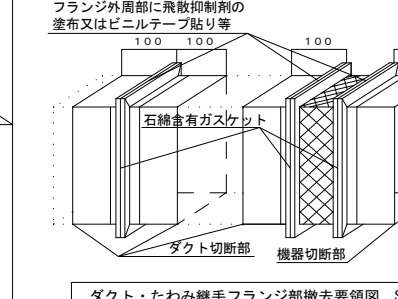
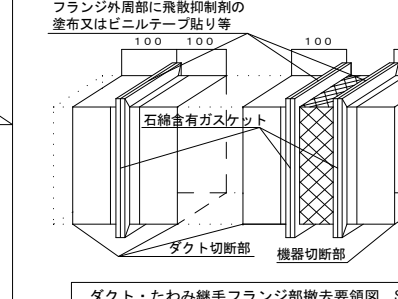
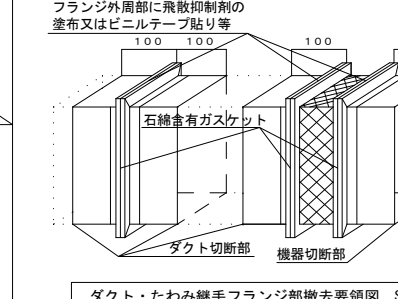
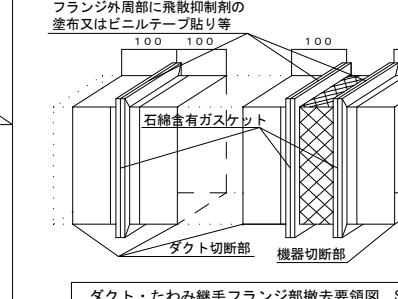
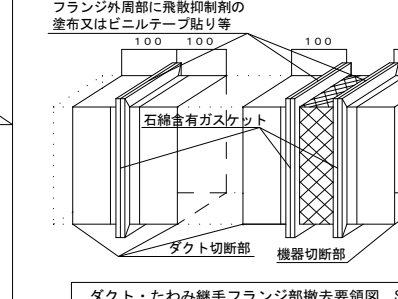
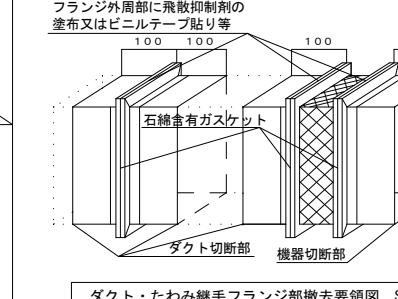
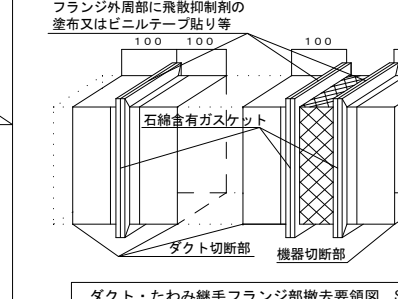
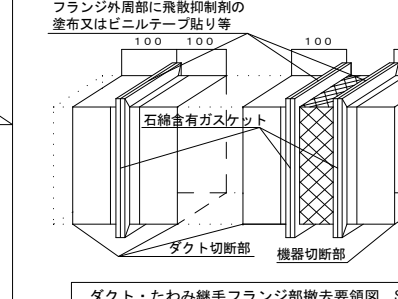
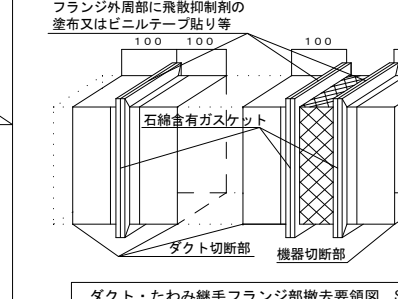
1階平面図(改修後) 1:50

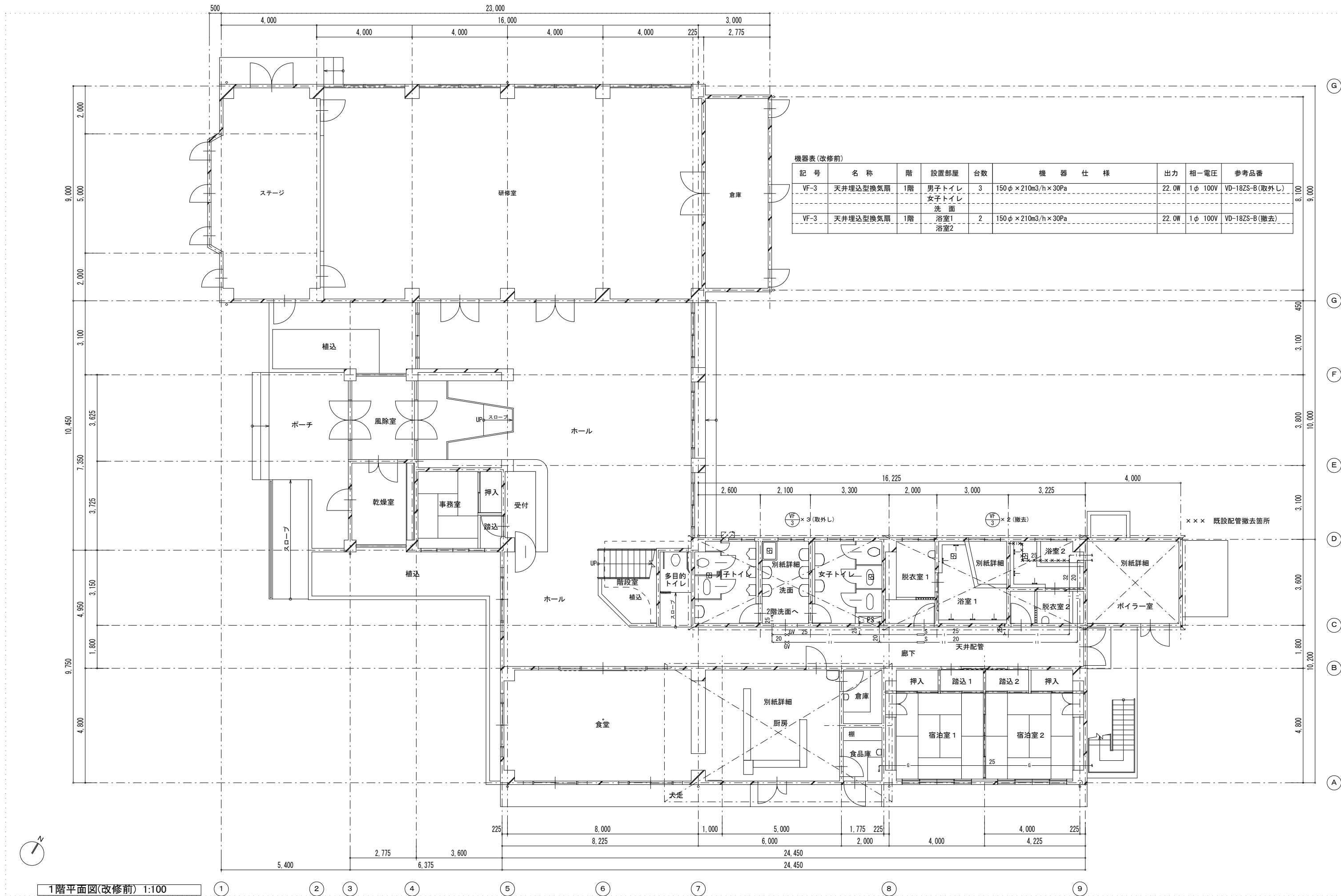
男子トイレ			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付

女子トイレ			
LED灯1260x200以上	天井直付	1	再取付

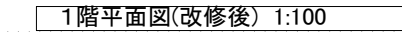
洗面		
LED灯1260x200未満 天井直付	1	再取付



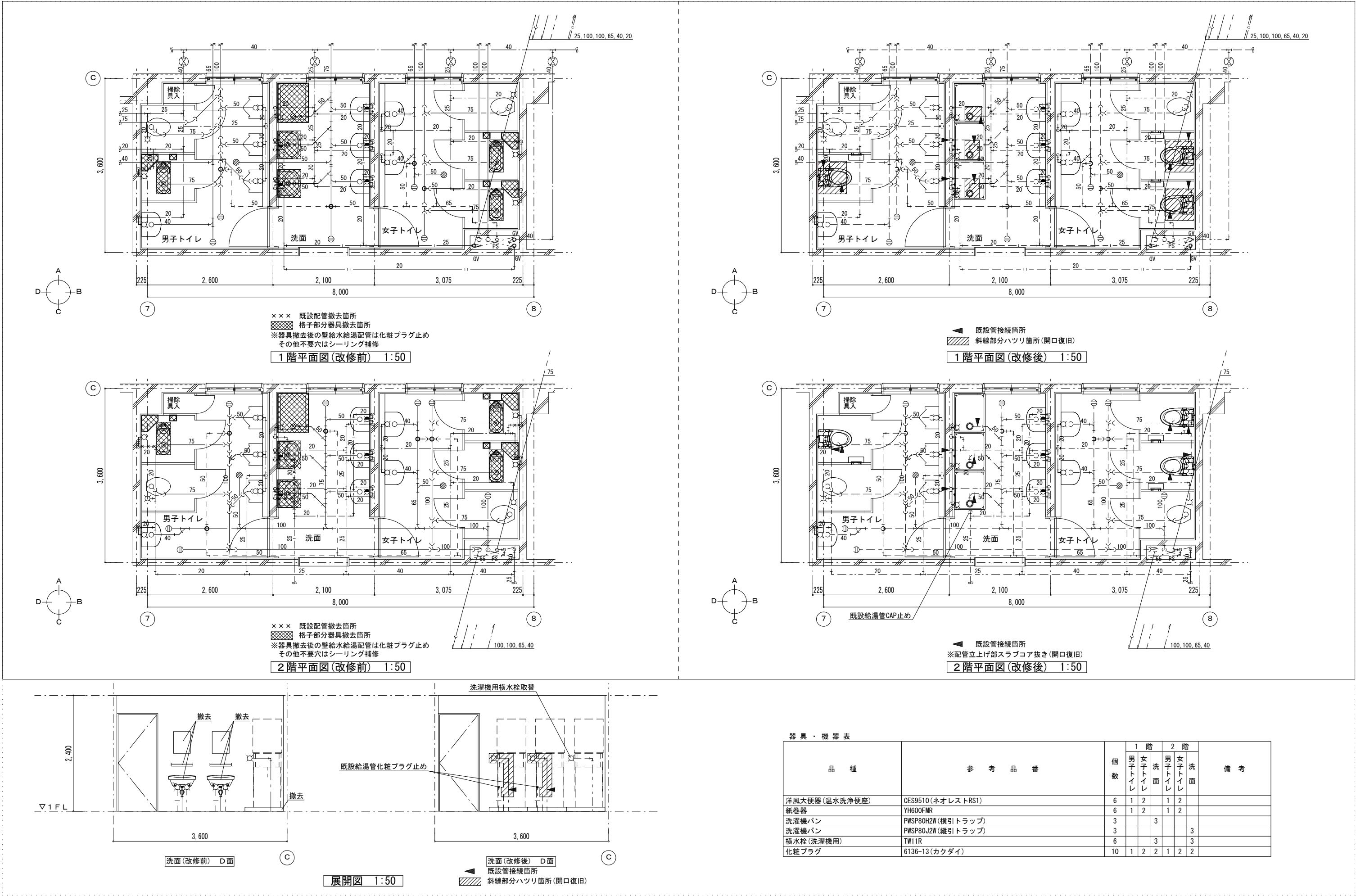
空 調 機 の 設 置 方 法	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="2">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th>温度(℃)</th><th>湿度</th><th>温度(℃)</th><th>湿度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>34.9℃</td><td>51.0%</td><td>28.0℃</td><td>50%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>-0.2℃</td><td>69.9%</td><td>19.0℃</td><td>40%</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)		温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度	夏季	34.9℃	51.0%	28.0℃	50%	冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%	28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。	排水設備	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部）	石綿含有設備資材の処理について
	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)																						
温度(℃)	湿度	温度(℃)	湿度																						
夏季	34.9℃	51.0%	28.0℃	50%																					
冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																					
2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 5) 配管還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370Sch40） 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 9) 空調用排水・硬質ポリ塩化ビニル管（VP）・結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式（床置型）※FRP製保温型 1) 厚さ ※3.2mm・4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付け可 ・ 取付け不可 ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口（80φ×2）※取付け可 ・ 取付け不可 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに錆じる表面結露対策は ※不要 ・ 図示による。 風量30,000m ³ /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付け可 ・ カートリッジオリフィス形 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空気調和機の記載による。	29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	給湯設備	記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。 水中三相誘導電動機は、（※ 乾式 ・ 油封式 ）とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径例等はコンクリート巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）																					
3. 弁類 4. 空調機用トラップ 5. 銅板製煙道	3) ばいじん量測定口（80φ×2）※取付け可 ・ 取付け不可 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに錆じる表面結露対策は ※不要 ・ 図示による。 風量30,000m ³ /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付け可 ・ カートリッジオリフィス形 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空気調和機の記載による。	1. ダクト 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定	給湯設備	1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 2) ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 3) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水箇の隠え箇所は保温、断熱を行う。																				
6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔	10. パッケージ形空気調和機 11. マルチパッケージ形空気調和機 12. 集中管理リモコン・個別リモコン	1. システム構成・機能 2. 自動制御機器 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線	給湯設備	2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 3) 一般配管用 ・ 一般配管用 ※10K・16K 1) 呼水タンクの保温 ※施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 （屋外露出、寒冷地は保温種別Ⅱ・Ⅲによる） 1) 屋内消火栓 ※施工しない ・ 施工する 2) スプリンクラー ※施工しない ・ 施工する 3) 連結送水管 ※施工しない ・ 施工する 4) 連結散水管 ※施工しない ・ 施工する ※広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼板製（要部青銅製） ・ ステンレス鋼板製 箱の材質は ※鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	Ⅰ 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。 2. 各部材の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にかならない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。																			
8. ユニット形空気調和機 9. ファンコイルユニット	13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下 オイルタンク	2. 自動制御機器 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線	給湯設備	4. 屋内消火栓 5. 屋外消火栓	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 3) 一般配管用 ・ 一般配管用 ※10K・16K 1) 呼水タンクの保温 ※施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 （屋外露出、寒冷地は保温種別Ⅱ・Ⅲによる） 1) 屋内消火栓 ※施工しない ・ 施工する 2) スプリンクラー ※施工しない ・ 施工する 3) 連結送水管 ※施工しない ・ 施工する 4) 連結散水管 ※施工しない ・ 施工する ※広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼板製（要部青銅製） ・ ステンレス鋼板製 箱の材質は ※鋼板製 ・ ステンレス鋼板製		Ⅱ 石綿を含有する設備資材の処理方法（※撤出費・運搬費・処分費は別途） 1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書提出する。 4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。																		
10. パッケージ形空気調和機 11. マルチパッケージ形空気調和機 12. 集中管理リモコン・個別リモコン	17. オイルサービスタンク 18. ダクト	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下 オイルタンク	19. チャンパー等	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）		 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																	
17. オイルサービスタンク 18. ダクト	19. チャンパー等	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	衛生器具	ガス設備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） ※不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ※10kg・20kg・50kg ____本 ※借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____kg ※借用 ※買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（直読・遠隔表示） 施工方法は標準図（施工73）の（a）（b）（c） 施工方法は標準図（施工74）の（a）（b）	 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS																		
20. 吹出口・吸込口のボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計																									

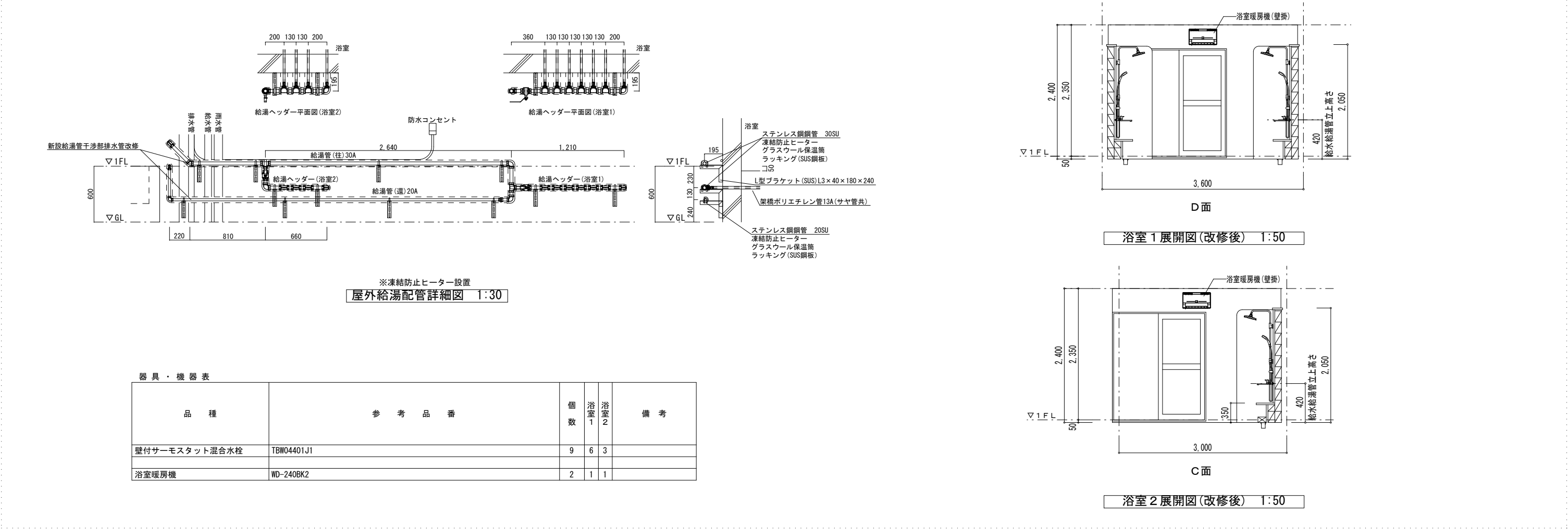
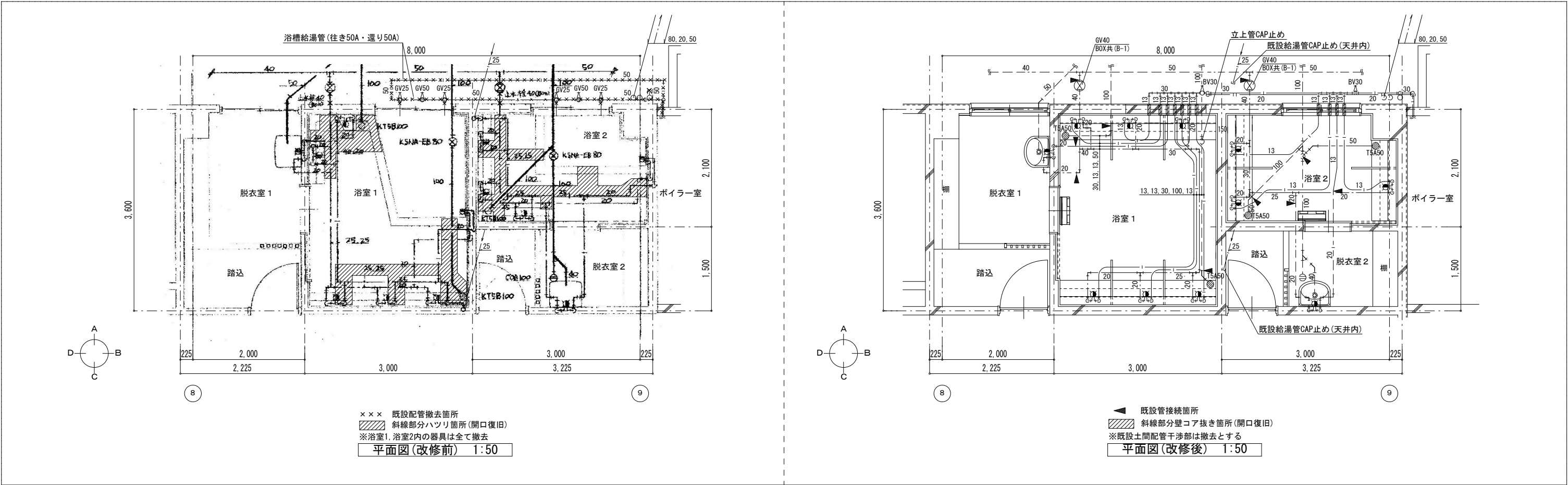


1階平面図(改修前) 1:100

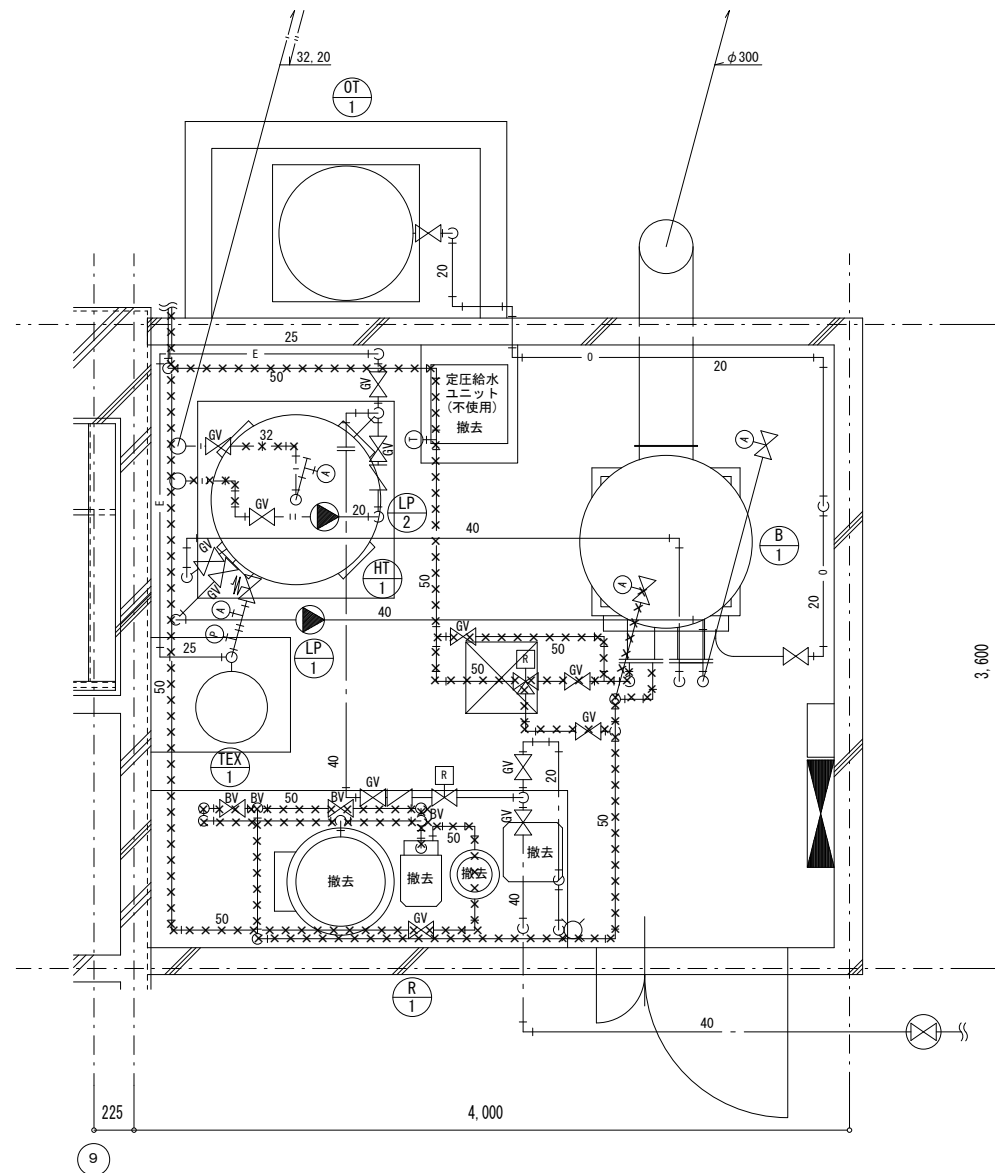








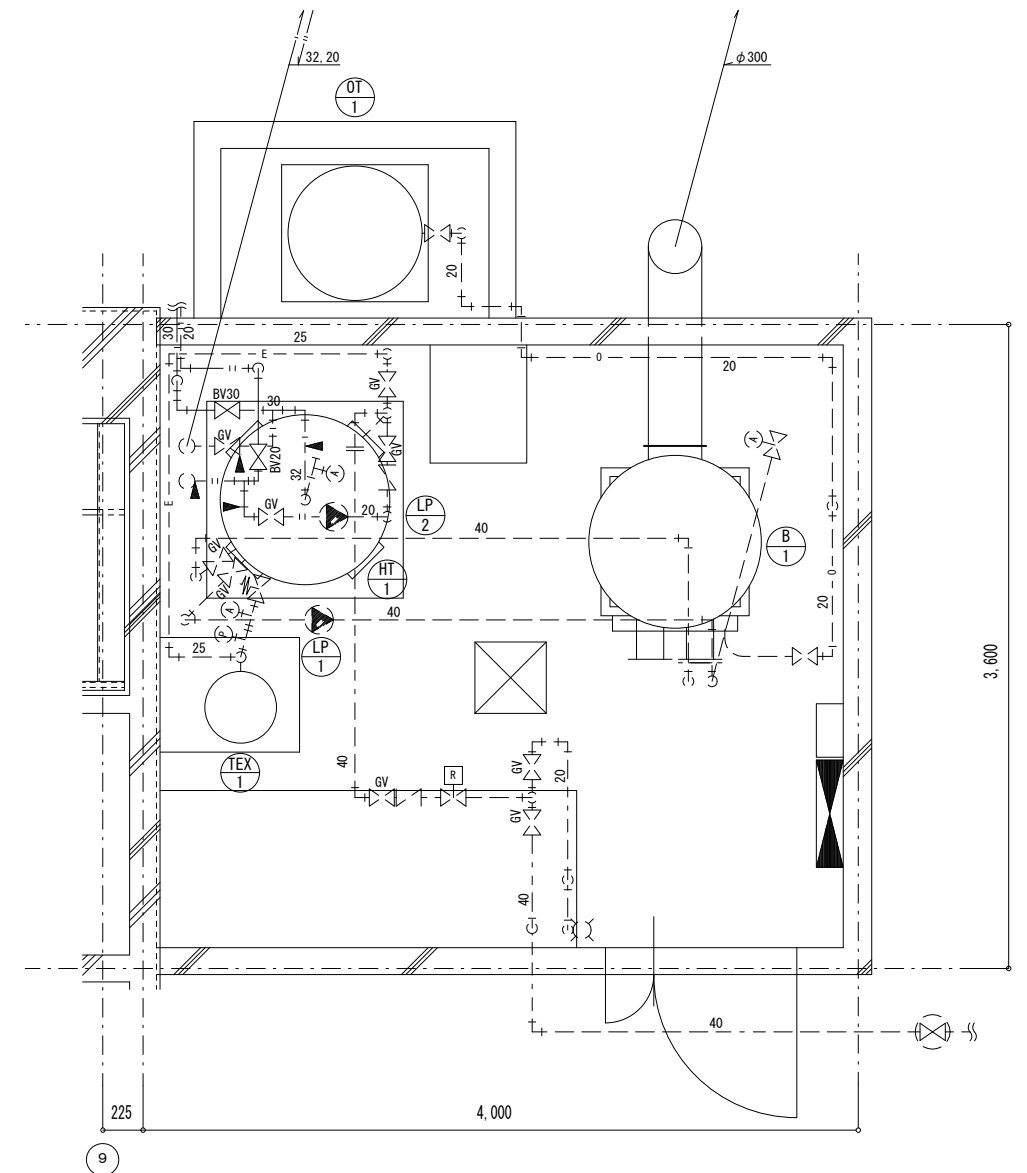
器具・機器表				
品 種	参 考 品 番	個 数	浴 室 1	浴 室 2
壁付サーモスタット混合水栓	TBW04401J1	9	6	3
浴室暖房機	WD-240BK2	2	1	1



××× 既設配管撤去箇所
※浴槽循環ろ過装置は全て撤去(配管共)
平面図(改修前) 1:30

機器表(改修前)

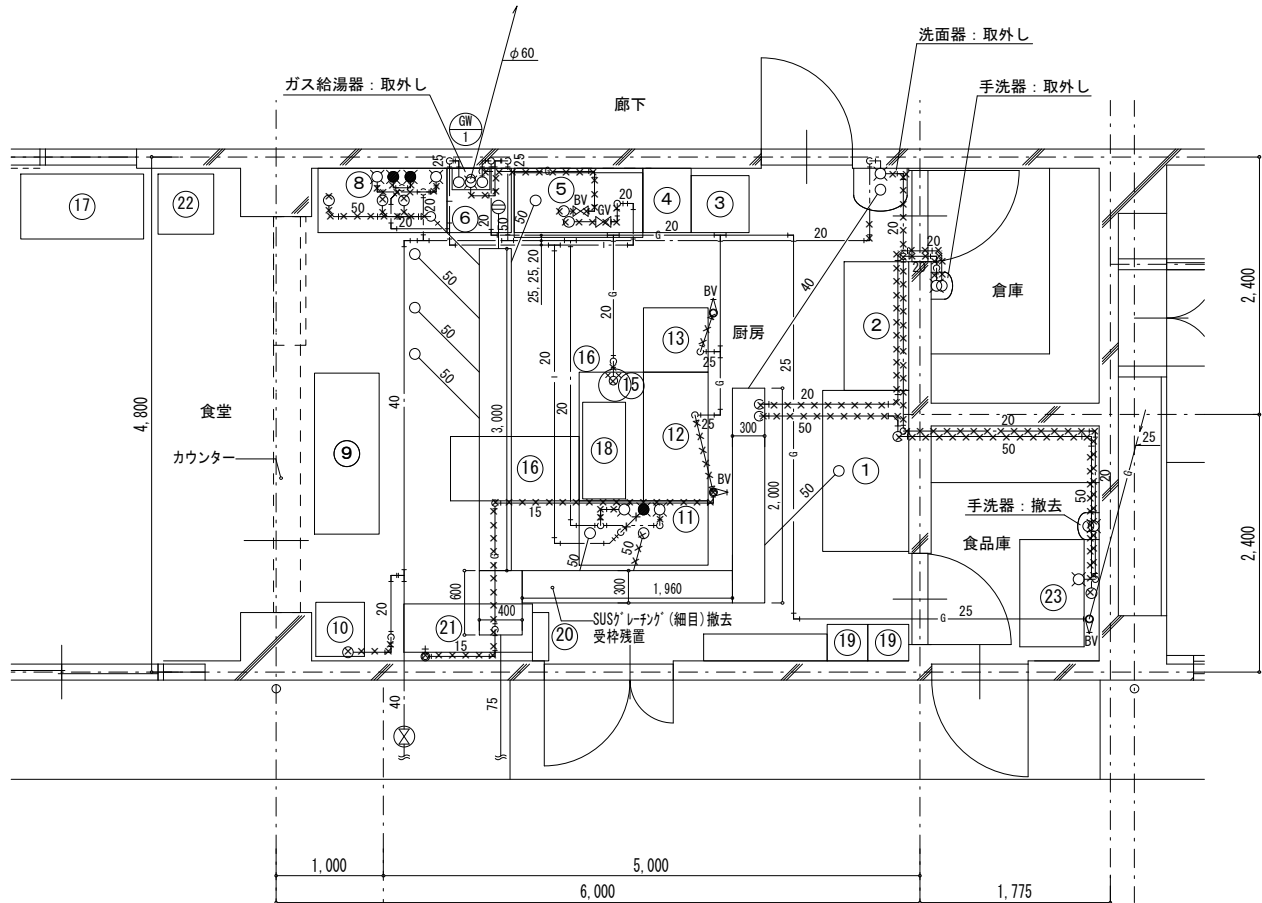
記 号	名 称	機 器 仕 様	台数	備 考
HT-1	貯湯槽	SUS製 1000ℓ	1	既設のまま
B-1	温水発生機	真空式 2回路 缶体出力：233kW 最高使用圧力：0.49MPa	1	
TEX-1	密閉形膨張タンク	銅板製 給湯用 タンク総容量：150ℓ 最高使用圧力：0.59MPa	1	
LP-1	給湯循環ポンプ	40口径 (貯湯槽～温水発生機)	1	
LP-2	給湯循環ポンプ	20口径	1	
OT-1	オイルタンク	銅板製 容量：476ℓ	1	撤去
R-1	浴槽循環ろ過装置	ろ過タンク：SUS製 600φ×1200H 250ℓ	1	
		ヘアークャッチャー：樹脂製 50口径		
		循環ポンプ：40×32FSED 6.75A		
		薬液注入ユニット：PTU-25 25ℓ		



▲ 既設管接続箇所
平面図(改修後) 1:30

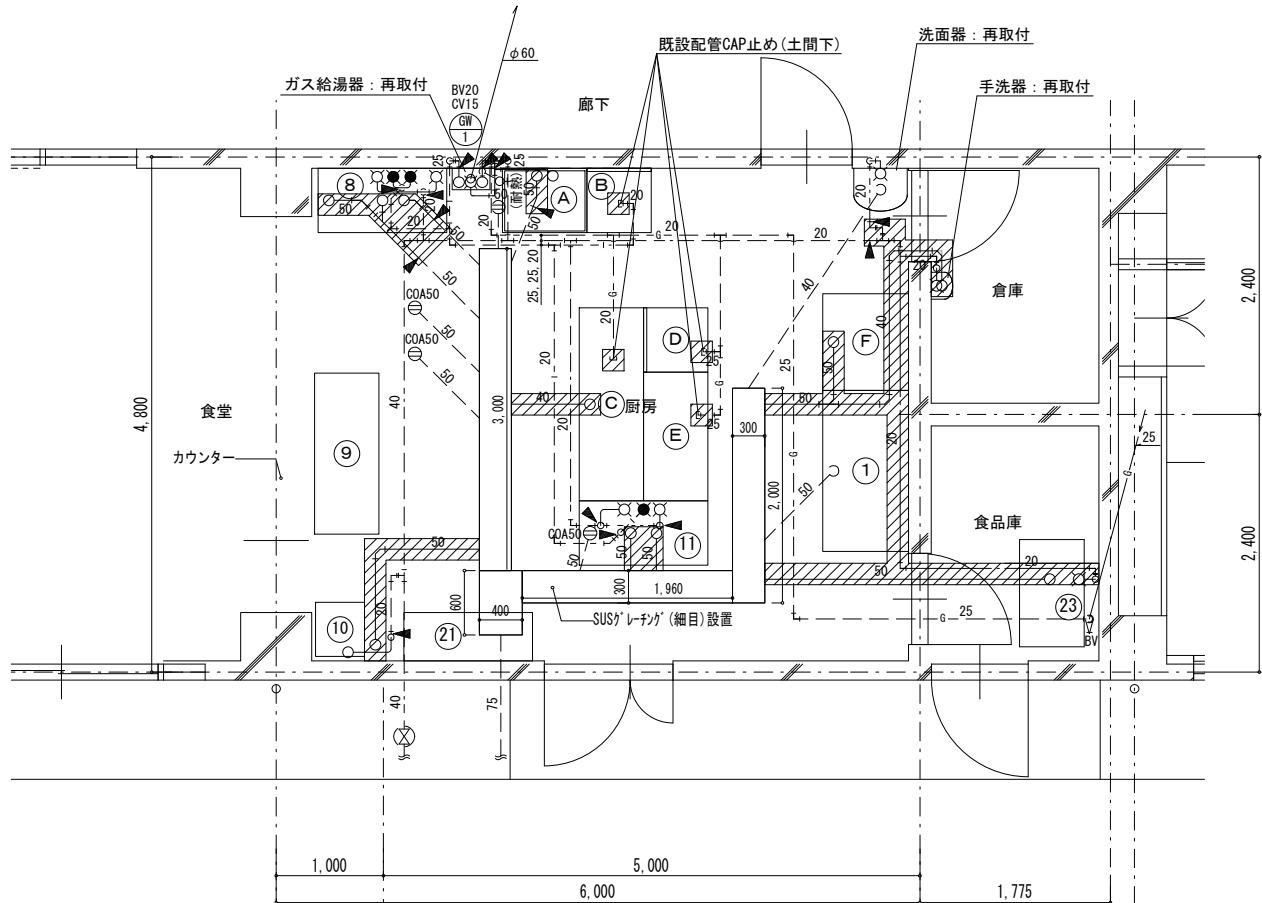
機器表(改修後)

記 号	名 称	機 器 仕 様	台数	備 考
HT-1	貯湯槽	SUS製 1000ℓ	1	
B-1	温水発生機	真空式 2回路 缶体出力：233kW 最高使用圧力：0.49MPa	1	
TEX-1	密閉形膨張タンク	銅板製 給湯用 タンク総容量：150ℓ 最高使用圧力：0.59MPa	1	
LP-1	給湯循環ポンプ	40口径 (貯湯槽～温水発生機)	1	
LP-2	給湯循環ポンプ	20口径	1	
OT-1	オイルタンク	銅板製 容量：476ℓ	1	



××× 既設配管撤去箇所
※シンクの水栓は取外し、再取付
※厨房機器への給排水接続は撤去
※露出配管(壁・土間)は全て撤去、止水

厨房 平面図(改修前) 1:50



◀ 既設管接続箇所
斜線部分ハツリ箇所(開口復旧)
※厨房機器、シンクの水栓への接続(フレキ接続)
※配管立上位置は厨房業者と最終確認のうえ決定する事

厨房 平面図(改修後) 1:50

厨房機器表(厨房機器の取外し、再取付、撤去は建築工事)

No	品名	台数	寸法	取付	配管	寸法	取付	電気	備考
1	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970		給水	給水	排水	1P100V 550W	
2	食器棚	1	1700 600 1800						撤去
3	食器洗浄機	1	540 530 1800					3P100V 1P100V 150W	撤去
4	食器乾燥機	1	540 530 1800					3P100V 2.2kW	撤去
5	食器洗浄機	1	1700 600 800		15A ×1	50A ×1			撤去
6	水切台	1	600 600 800		25A ×1	25A ×1	20A ×1	3.76	20号 FE式
7	冷蔵庫	1	1800 600 800		15A ×1	50A ×1		1P100V 100W	撤去
8	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970		15A ×1	50A ×1		1P100V 550W	撤去
9	食器棚	1	1700 600 1800						撤去
10	食器洗浄機	1	540 530 1800						撤去
11	食器乾燥機	1	540 530 1800						撤去
12	食器洗浄機	1	1700 600 800		15A ×1	50A ×1		1P100V 100W	撤去
13	水切台	1	600 600 800		25A ×1	25A ×1	20A ×1	3.76	20号 FE式
14	冷蔵庫	1	1800 600 800		15A ×1	50A ×1		1P100V 100W	撤去
15	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970		15A ×1	50A ×1		1P100V 550W	撤去
16	食器棚	1	1700 600 1800						撤去
17	食器洗浄機	1	540 530 1800						撤去
18	食器乾燥機	1	540 530 1800						撤去
19	食器洗浄機	1	1700 600 800		15A ×1	50A ×1		1P100V 100W	撤去
20	水切台	1	600 600 800		25A ×1	25A ×1	20A ×1	3.76	20号 FE式
21	冷蔵庫	1	1800 600 800		15A ×1	50A ×1		1P100V 100W	撤去
22	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970		15A ×1	50A ×1		1P100V 550W	撤去
23	食器棚	1	1700 600 1800						撤去

厨房機器表(新設・移設)

No	品名	台数	寸法	配管寸法	ガス消費量	電気	備考
A	冷凍冷蔵庫	1	1500 800 1970	給水 給水 排水	15A×1 40A×1	1P100V 550W	90℃湯沸し専用器具
B	食器棚	1	1700 600 1800				パナソニック付
C	食器洗浄機	1	540 530 1800		40A×1	1P100V 350W、1500W	移設品
D	食器乾燥機	1	540 530 1800				パナソニック付
E	作業台	1	1200 600 800				
F	冷凍庫	1	600 800 1900		50A×1	1P100V 642W	移設品